

平成28年度 医療技術・サービス拠点化促進事業

**新興国等におけるヘルスケア市場環境の詳細調査
報告書**

フィリピン編

2017年3月

経済産業省

目次

Executive Summary	p.2
1. 保健省および関連機関の概要	p.7
2. 保健医療政策・施策・予算	p.18
3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等	p.41
4. 調達プロセス	p.80
5. 各種制度・規制	p.89
6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況	p.107
7. 日本企業のビジネスチャンスと課題	p.116
参考	p.131

Executive Summary (1/5)

大項目	中項目	概要
1. 保健省 および関係 機関の概 要	保健省の組織概 要、組織図	<ul style="list-style-type: none"> フィリピンの行政機関は大統領府を中心に構成されており、保健省も一省庁に位置付けられている。 保健省は、保健大臣を筆頭に、各部門に担当時間が配置されている。
	重要関連部局	<ul style="list-style-type: none"> 保健政策開発計画局 (Health Policy Development & Planning Bureau: HPDPB)では、保健分野の政策策定及び立法、研究開発等を行っている。 国際保健協力局(Bureau of International Health Cooperation: BIHC)では、国際保健協力のための基準、体系及び手順を作成する。 機器規則・放射線医療研究センター(Center for Device Regulation Radiation Health and Research: DRRHR)では、医療機器の計画策定や許認可を行っている。 保健施設・サービス規制局(Health Facilities & Service Regulatory Bureau: HFSRB)は、保健施設に関する各種許可の認定を行っている。 財務管理サービス(Financial Management Service)は、保健省の予算作成、施策に対する財務計画の作成、財務問題に対する大臣への助言等を行う。 調達サービス(Procurement Service)は、調達に関する政策・活動計画の考案及び、必要書類・手続きの管理(公募から調達まで)を行っている。 保健施設開発局(Health Facility Development Bureau: HFDB)は、保健施設に関する計画や施設強化のための施策を展開している。

Executive Summary (2/5)

大項目	中項目	概要
2. 保健医療政策・施策・予算	保健省の予算	<ul style="list-style-type: none"> 保健省の予算は、2010年から2017年までの6年間で5倍程度に増加している。 その中でも、PhilHealth(フィリピンの健康保険公社)の予算(主に、医療機関に対して償還金を支払う形式で国民の医療費を負担)は2011年以降増加傾向にある。 保健省の予算のうち、8~9割が運営費である。 運営費のうち、8割が人材育成や地方行政へ割り当てられている。
	医療費支出	<ul style="list-style-type: none"> 医療費支出は民間(家計支出、民間企業・教育機関、民間保険)による負担が半数以上を占めており、公的負担は2割弱にとどまる。
	これまでの保険医療政策	<ul style="list-style-type: none"> 2011年から2016年の間に国民に対して高品質の医療を受ける機会を平等に提供することを目標に掲げている。 特に、医療機関の施設増強に関しては、保健省の優先的計画にも位置付けられている。 ユニバーサルヘルスケアに資する成果は見られるものの、特に地方部、貧困層においては、その恩恵を享受しきれていないのが現状。
	今後の保健医療政策上の優先課題	<ul style="list-style-type: none"> ドゥテルテ政権下においては、戦略目標である“ACHIEVE”の実行によって、医療サービス提供環境の向上と国内における主な病気のケアを推進する。 保健施設開発局(HFDB)では、2017年から2022年までの次期計画を策定中。計画の中では、特に地方医療施設の拡充に重点を置いている。 保健施設強化計画(HFEP)にかかる予算は2011年の約71億ペソから、2016年には約270億ペソへと増加した。

Executive Summary (3/5)

大項目	中項目	概要
3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等	保健省の直轄公立医療機関の構成・位置づけ、政府の関与度合	<ul style="list-style-type: none"> フィリピンの公的病院は、保健省直轄病院、地方政府直轄病院に大別される。 医療サービスの提供主体である各種医療機関に対しては、その属性に応じて国(保健省・地方行政)やフィリピン健康保険公社、民間保険会社から資金供給される。
	医療インフラ整備状況	<ul style="list-style-type: none"> 保健省直轄病院がLevel3、州や都市が管轄している病院がLevel2、それ以外の臨床サービスを提供する医療機関をLevel1と定めている。また、全体の6割が私立病院で占められている。 病院は統廃合を繰り返しており、病院数及び病床数共に減少している。 Level3病院は、マニラやセブ、ダバオといった都市部に集中しており、地方では高い品質の医療サービスを受けられる環境が整備されていない。
	主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力	<ul style="list-style-type: none"> フィリピンにおける医学会等は非営利の独立団体(政府機関による認証等はない)である。 医療機器分野においては、フィリピン医療機器規制協会が存在する。
4. 調達プロセス	医療機器等の調達プロセスの実態、意思決定プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 公的医療機関の機器調達に係る予算は、各医療機関の要望に基づき決定される。 調達予算の確定後は、実際に調達を実施する各医療機関や、地方保健事務所の入札委員会(BAC: Bid and Award Committee)が中心となり入札を行い、落札者が決定される。 民間医療機関の調達プロセスは医療機関によって異なるが、公的医療機関と比較して、実際に機器等を使用するエンドユーザー(医師、看護師、技師等)の好みの影響も受ける。
	現地代理店との連携	<ul style="list-style-type: none"> 外資企業がフィリピンで医療機器を販売する際には、現地代理店との連携が必須である。しかし、連携環境は整備されておらず、代理店も未成熟な事業者が多い。
	調達時に重視すべきこと	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器の調達において、公的医療機関はより價格的制約が強いものの、入札時に留意すべき事項は公民問わず共通である。

Executive Summary (4/5)

大項目	中項目	概要
5. 各種制度・規制	医療保険制度の整備状況と今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> フィリピンでは、人口の9割は公的医療保険でカバーされているが、自己負担割合が高く、償還手続きも複雑で包括的ではない。 PhilHealth(フィリピン健康保険公社)が提供する国民健康保険プログラムでは、4つの重点プログラムとして、貧困層への費用サポート、長期入院や高額治療費のカバー、一次医療における医薬品の無償提供、血液透析患者支援等を実施している。しかし、カバー範囲は依然として狭く、十分なサポートが受けられない状況である。
	医療機器に関する規制のグローバル基準化について	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器を輸入する場合には、原則としてFDA基準に基づき製品登録を行う必要がある。 近年は登録に係るインフラ(電子申請の整備やASEANにおける統一書式への準拠準備等)の整備が進められており、一層の効率化が図られている。
	外資規制や外国企業誘致に関する取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 病院事業や国内市場を対象とした製品販売事業を行う場合、外資企業は直接参入することは出来ない。 事業進出を行う場合には、現地企業とJV契約を締結(外資による出資比率は40%まで)する必要がある。 フィリピンでは、医療分野を含め経済特区等の税制優遇措置が講じられている。
	現地での雇用・人材確保に関する制度・課題	<ul style="list-style-type: none"> 外国人医師、看護師が国内労働するためには特別臨時許可証が必要となる。 フィリピンの法定賞与は基本給の1カ月相当である。 法定福利厚生は社会保障費の負担が挙げられる。 フィリピン国内において、労働争議は少ない。

Executive Summary (5/5)

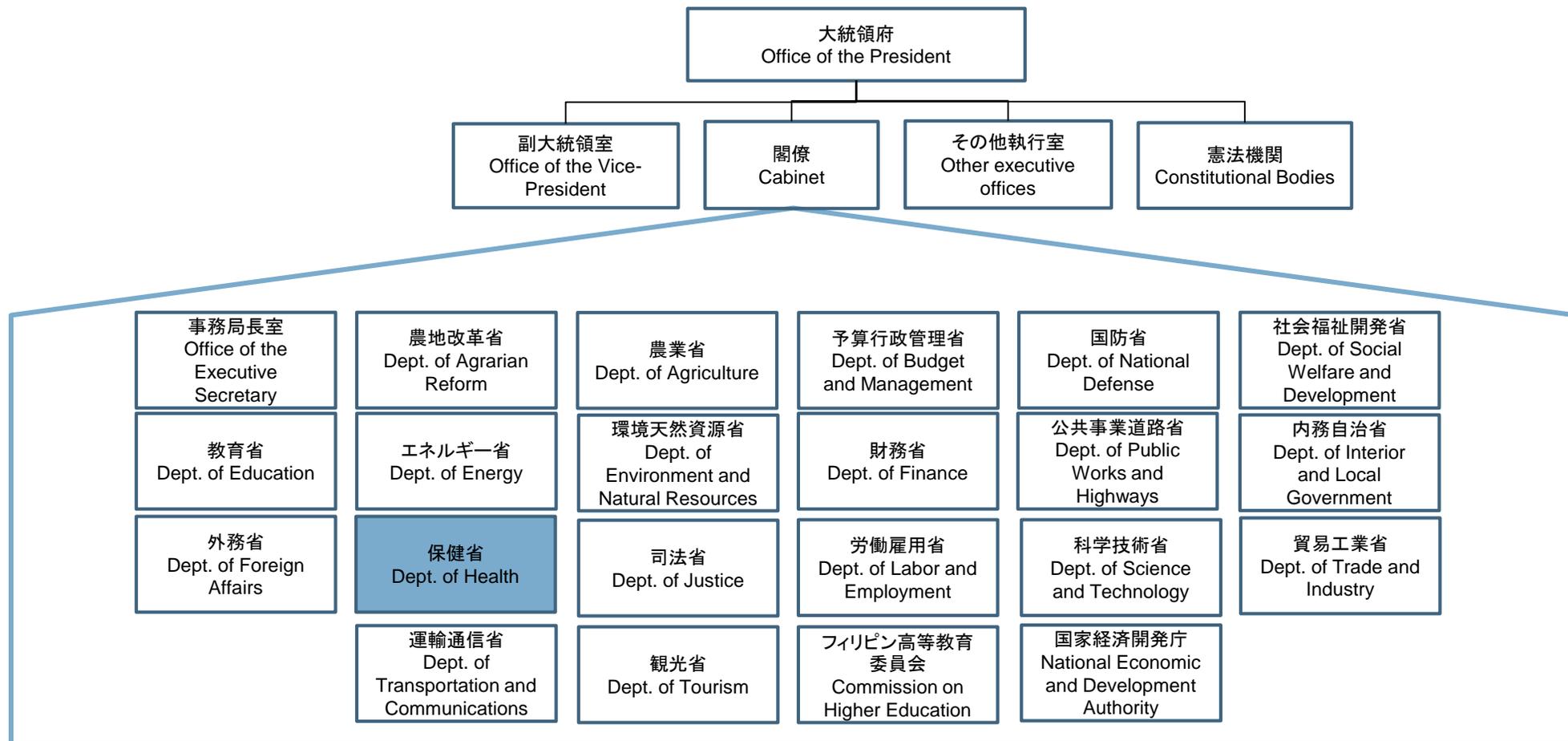
大項目	中項目	概要
6. 日本・欧米企業の進出状況、ODA等の状況	企業参入・競争状況	<ul style="list-style-type: none"> フィリピンの医療機器市場は、欧米系ブランドが浸透している。 依然として欧米ブランドの認知度が相対的に高い状態である。 欧米ブランドの認知度が高いため、日本製品が市場に浸透するためには時間がかかる。 日本製品は耐久性でも知られているが、耐久性については欧州ブランドの方がもっと認知度が高い。 ビジネスを行うならば民間病院へのアプローチが中心になるが、多くの民間病院には既に欧米系の企業が入り込んでおり、牙城を崩すのは容易ではない。 一方、消耗品に近い製品は中国や韓国企業との価格競争は避けられない。
	JICAによる支援	<ul style="list-style-type: none"> 日本政府によるフィリピン保健セクターへの支援は1960年代から開始され、これまで約40件（うち、無償資金協力20件、技術協力20件程度）の支援実績を有する。
7. 日本企業のビジネスチャンスと課題	医療機器市場	<ul style="list-style-type: none"> フィリピンの医療機器市場は成長ポテンシャルはあるが、現場で医療機器活用実態やニーズを把握していく必要があると言われている。 アジア主要国では日本製品が浸透しつつあるが、フィリピンでは未だ限定的である。 日本は医療機器の輸出において上位5カ国に含まれるものの、中国や欧米に比べて相対的に低い。
	フィリピン市場全般	<ul style="list-style-type: none"> フィリピンに進出する日系企業からは、インフラの未整備や行政手続の繁雑さが課題として挙げられている。 一方、経年でのアジア各国との比較をみても基本給月額は安定して推移しており、現地日系企業はフィリピンの労働資源の良さを主に掲げている。

1. 保健省および関連機関の概要

1. 保健省および関連機関の概要 | 保健省の組織概要、組織図

フィリピンにおける行政機関(Administrative Agencies)

フィリピンの政府機関と保健省の位置付け



1. 保健省および関連機関の概要 | 保健省の組織概要、組織図

保健政策にも関わる主な行政機関

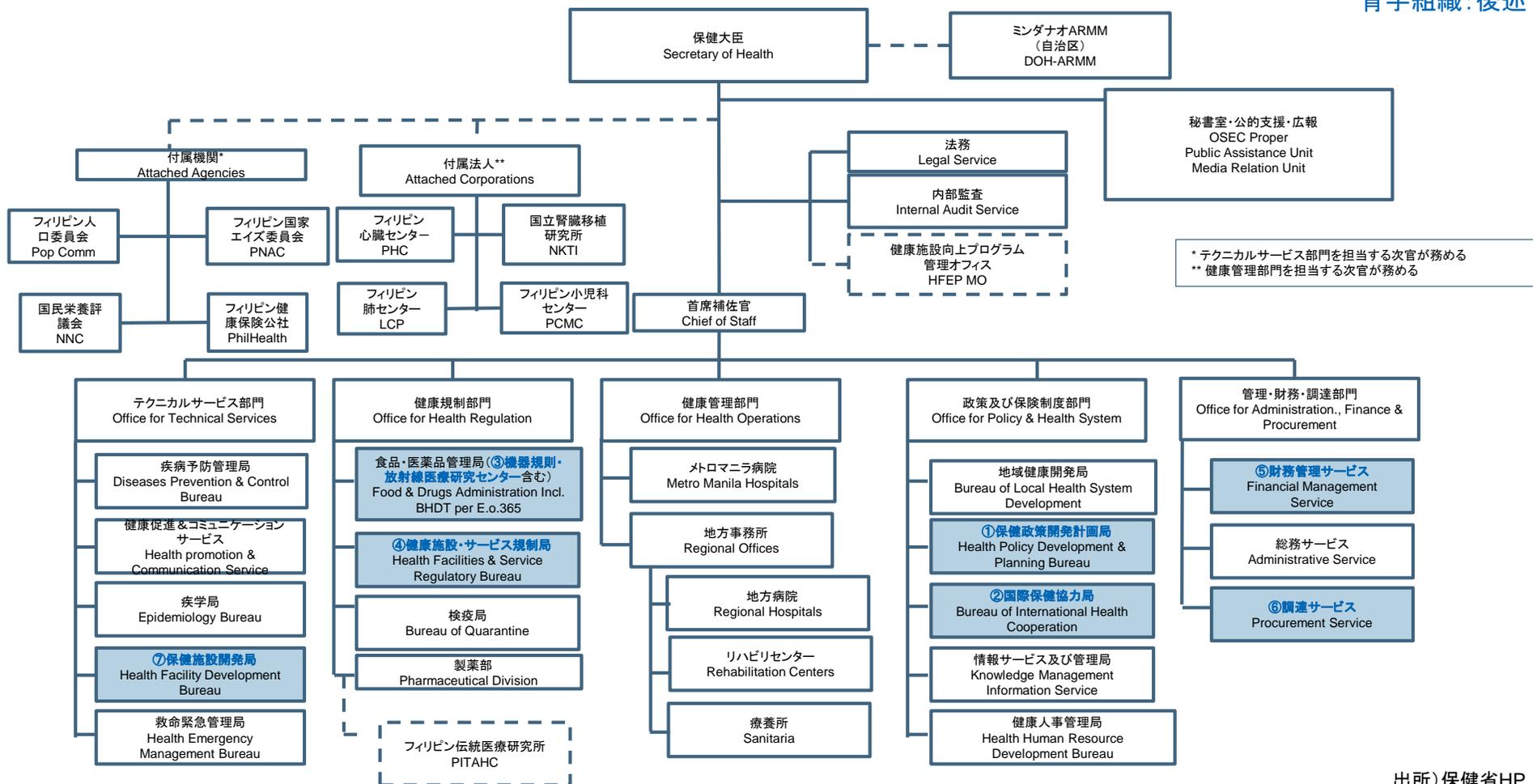
部局	保健政策にも関わる主な役割
国家経済開発庁 National Economic and Development Authority(NEDA)	国家優先計画(National Priority Plan)を策定する。 保健政策に関しても当該計画の中で言及される。
予算行政管理省 Department of Budget and Management (DBM)	政府予算方針の作成や、毎年の予算編成を担当している。 保健省の予算要求も当該部局へ行われる。
財務省 Dept. of Finance	税金の徴収や管理を実施している。
社会福祉開発省 Department of Social Welfare and Development	社会福祉関係施策を担当している。保健政策に関連する取組は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none">• 人間開発プログラム(貧困層家族に対する保健と教育への投資)• 栄養等の補給プログラム• 災害対応
労働雇用省 Department of Labor and Employment	労働法に基づく政策、プログラム、サービスの計画、実施を担当している。 雇用者保険も管轄している。
貿易工業省 Department of Trade and Industry	フィリピン経済圏局(PEZA)による、外国投資誘致を担当している。

1. 保健省および関連機関の概要 | 保健省の組織概要、組織図

フィリピン保健省は保健大臣を筆頭に、各部門に担当次官が配置されている。

フィリピンにおける保健省の組織構造と重要関連部局

青字組織: 後述

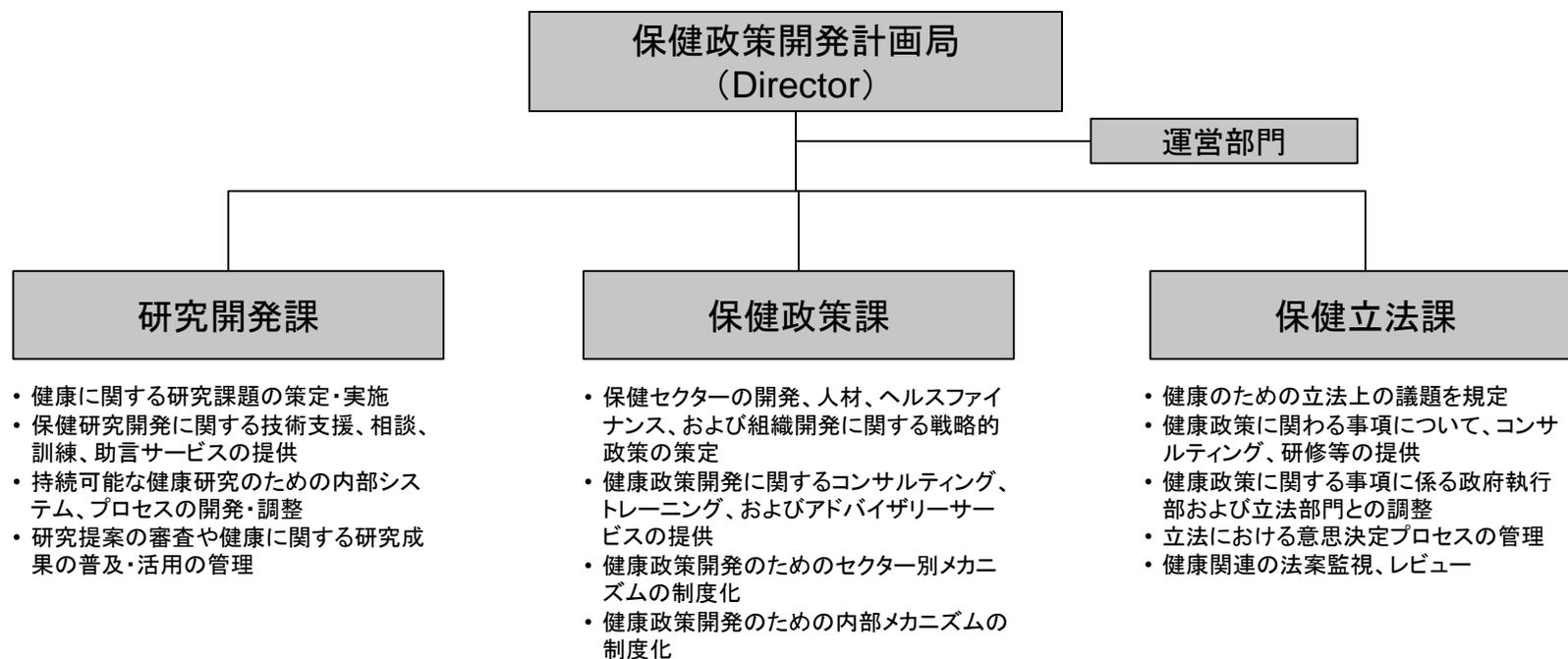


出所) 保健省HP

1. 保健省および関連機関の概要 | 重要関連部局 ①保健政策開発計画局

保健政策開発計画局 (Health Policy Development & Planning Bureau:HPDPB) では、保健分野の政策策定及び立法、研究開発等を行っている。

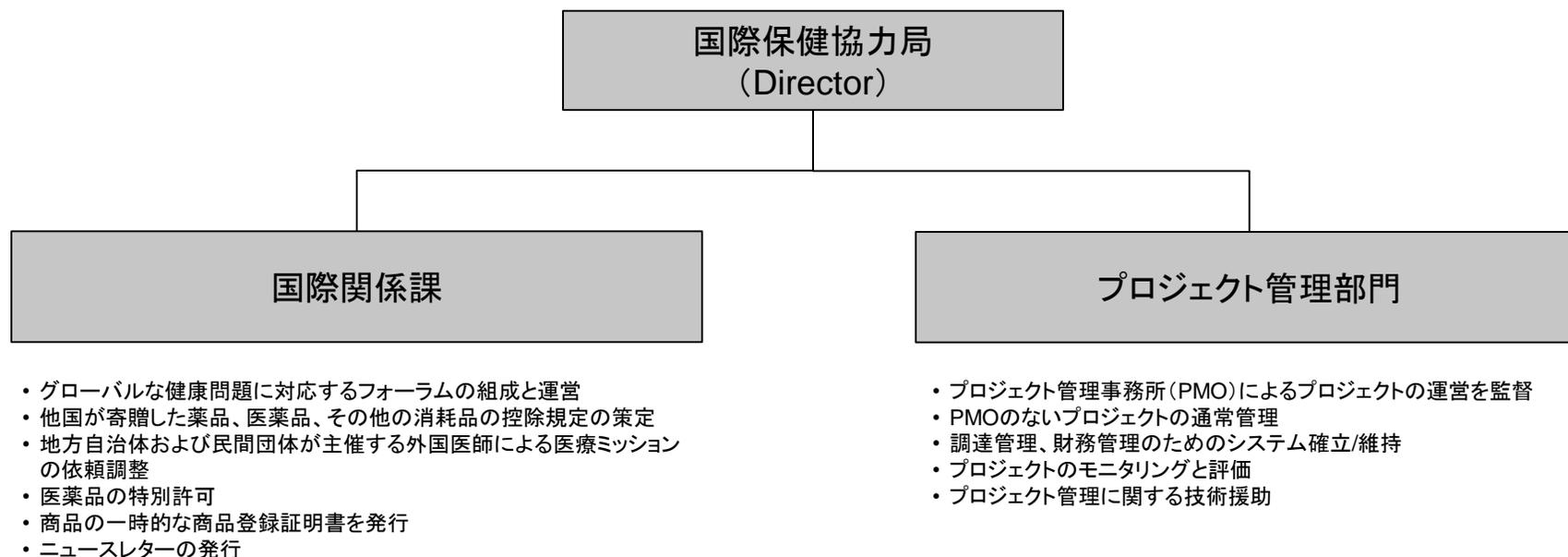
- 当局では保健政策に係る戦略的計画「National Objectives(2011-2016)」等、国家及び保健に関する目標を達成する為の計画を策定している。また、これら目標を達成する為の保健部門の監視と評価を行っている。



1. 保健省および関連機関の概要 | 重要関連部局 ②国際保健協力局

国際保健協力局 (Bureau of International Health Cooperation:BIHC) では、国際保健協力のための基準、体系及び手順を作成する。

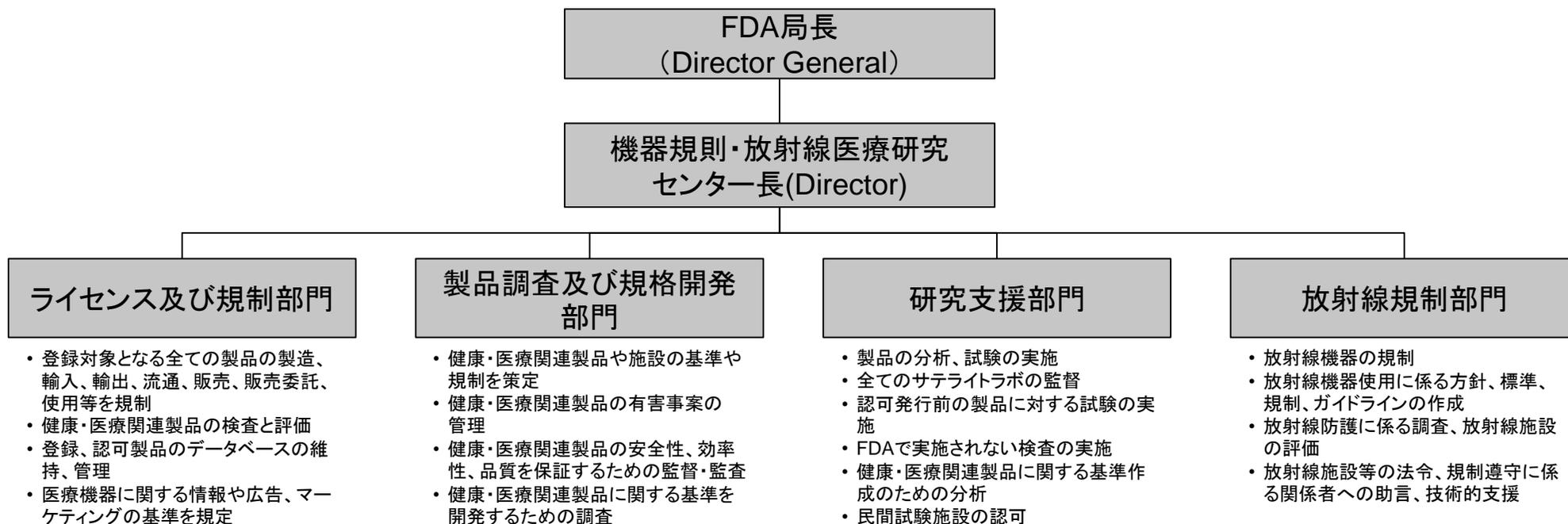
- 外部支援されている保健プロジェクトの調整、推進、準備を行うとともに保健分野における国際的戦略に対する支援を行う。



1. 保健省および関連機関の概要 | 重要関連部局 ③機器規則・放射線医療研究センター

機器規則・放射線医療研究センター (Center for Device Regulation Radiation Health and Research:CDRRHR) では、医療機器の計画策定や許認可を行っている。

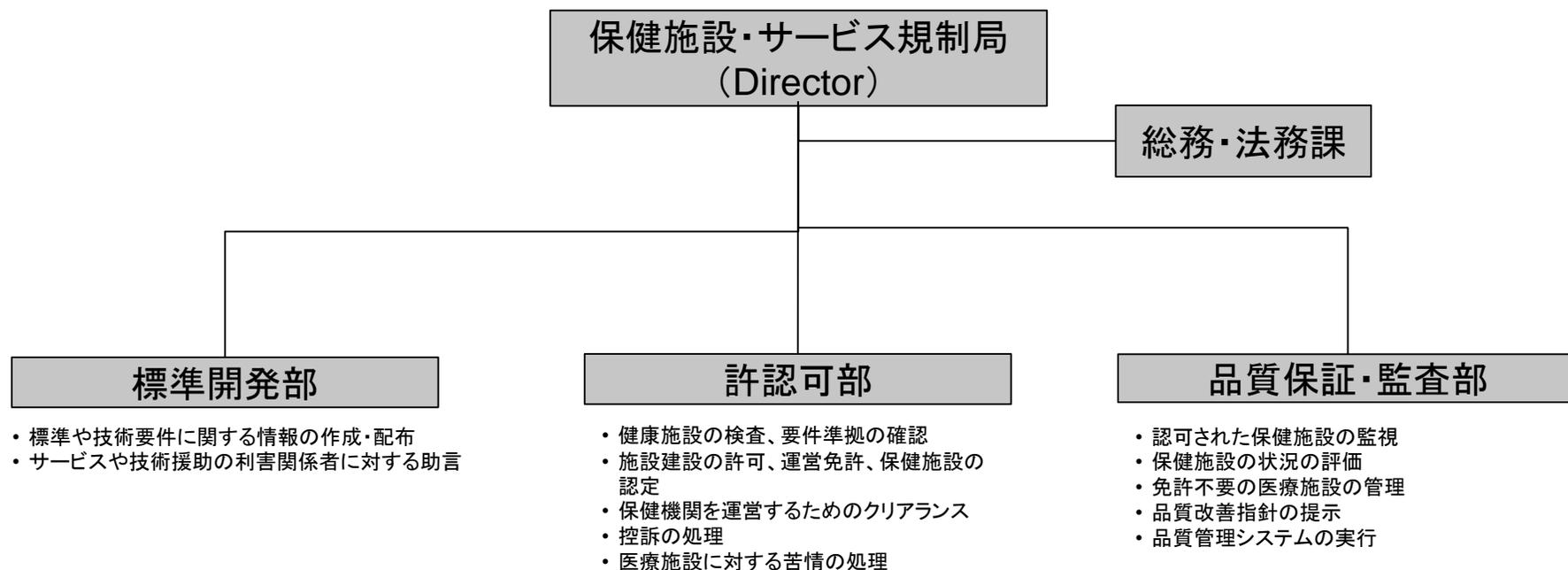
- 機器規則・放射線医療研究センター (CDRRHR: Center for Device Regulation Radiation Health and Research) は、食品・医薬品管理局 (FDA: Food and Drugs Administration) 傘下のセンターである。
- 当局は、医療関連機器の製造業者、流通業者、広告主、及び小売業者の監視や評価を行い、品質基準の遵守を徹底させる役割を担う。



1. 保健省および関連機関の概要 | 重要関連部局 ④健康・施設サービス規制局

保健施設・サービス規制局(Health Facilities & Service Regulatory Bureau:HFSRB)は、保健施設に関する各種許可の認定を行っている。

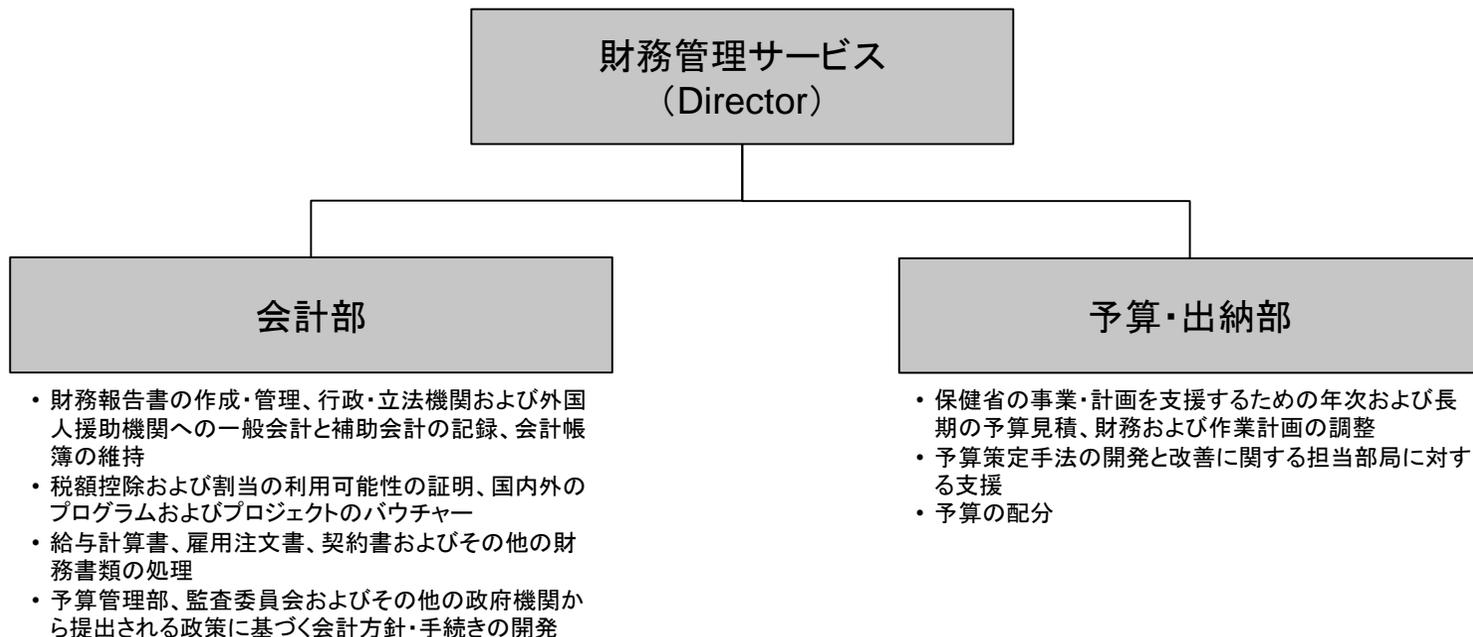
- 保健施設規制に関連するステークホルダーへ助言も行っている。



1. 保健省および関連機関の概要 | 重要関連部局 ⑤財務管理サービス

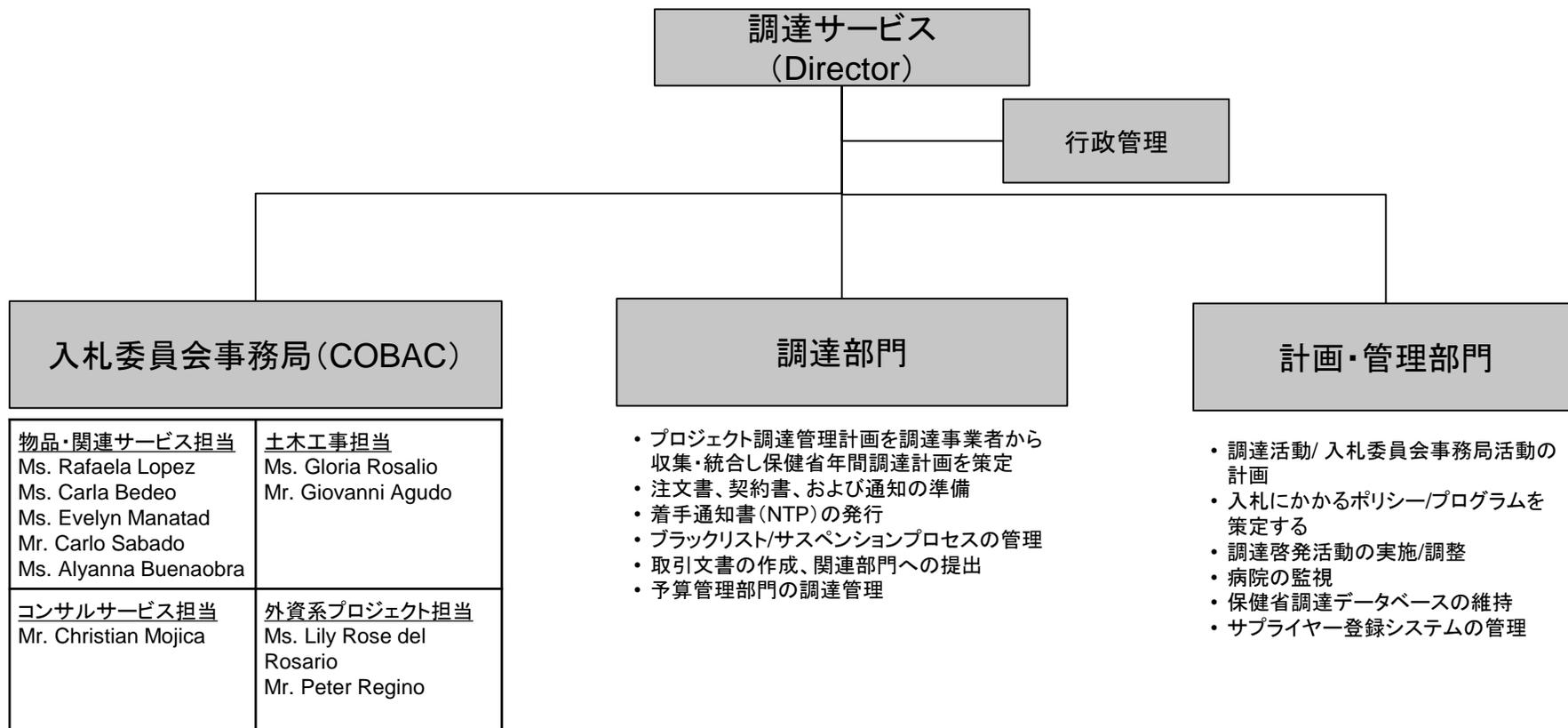
財務管理サービス(Financial Management Service)は、保健省の予算作成、施策に対する財務計画の作成、財務問題に対する大臣への助言等を行う。

- 入札による調達の前算作成にも関与している。



1. 保健省および関連機関の概要 | 重要関連部局 ⑥調達サービス

調達サービス(Procurement Service)は、調達に関する政策・活動計画の考案及び、必要書類・手続きの管理(公募から調達まで)を行っている。



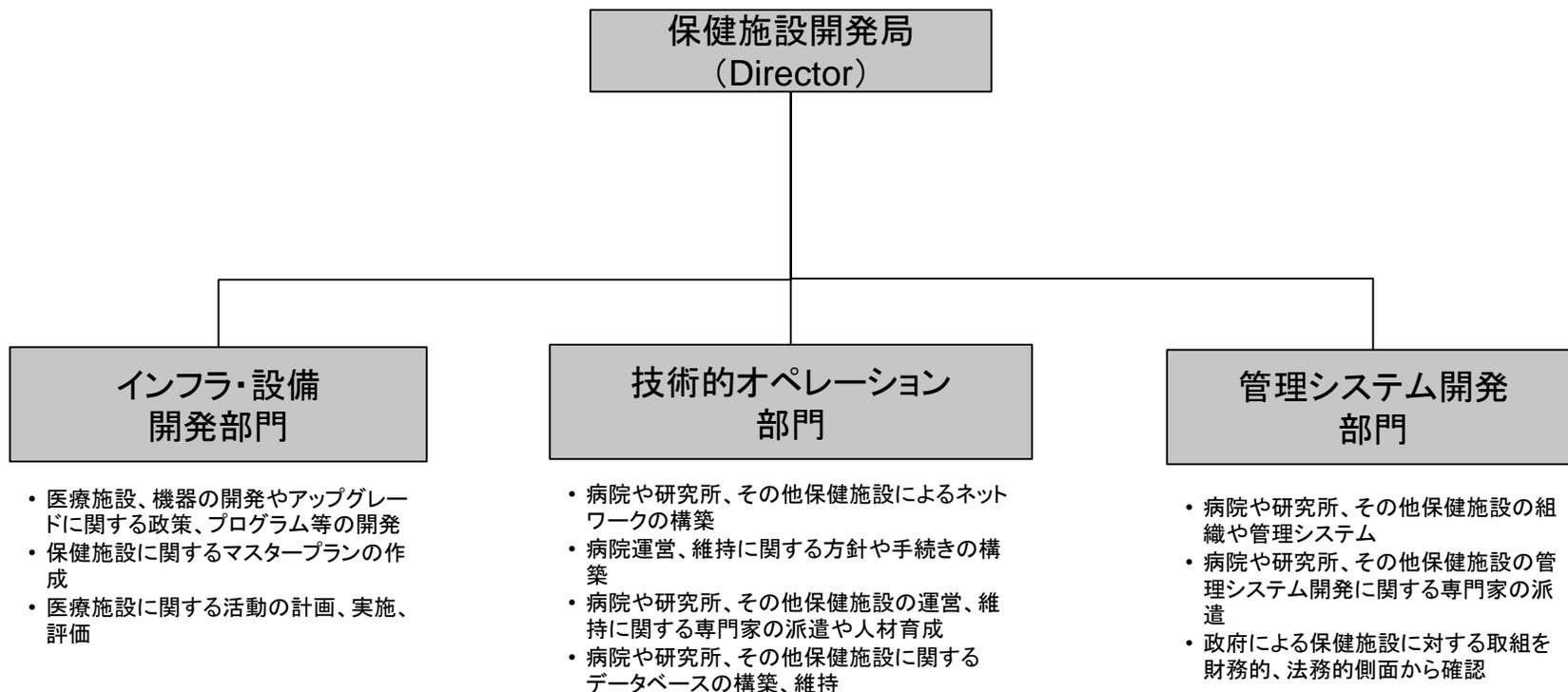
- プロジェクト調達管理計画を調達事業者から収集・統合し保健省年間調達計画を策定
- 注文書、契約書、および通知の準備
- 着手通知書(NTP)の発行
- ブラックリスト/サスペンションプロセスの管理
- 取引文書の作成、関連部門への提出
- 予算管理部門の調達管理

- 調達活動/入札委員会事務局活動の計画
- 入札にかかるポリシー/プログラムを策定する
- 調達啓発活動の実施/調整
- 病院の監視
- 保健省調達データベースの維持
- サプライヤー登録システムの管理

- 商品やサービス/土木/コンサルティングサービスの調達の実施
- 入札委員会の管理サポート
- 調達関連の会議の事務
- 入札、入札書類、説明会への入札者の招待
- 調達機会の宣伝・広告
- 調達プロセスの管理支援

※当該部局は管理部門であり、実際の調達は、公立病院に付随する各BACが実施している。

保健施設開発局(Health Facility Development Bureau:HFDB)は、保健施設に関する計画や施設強化のための施策を展開している。

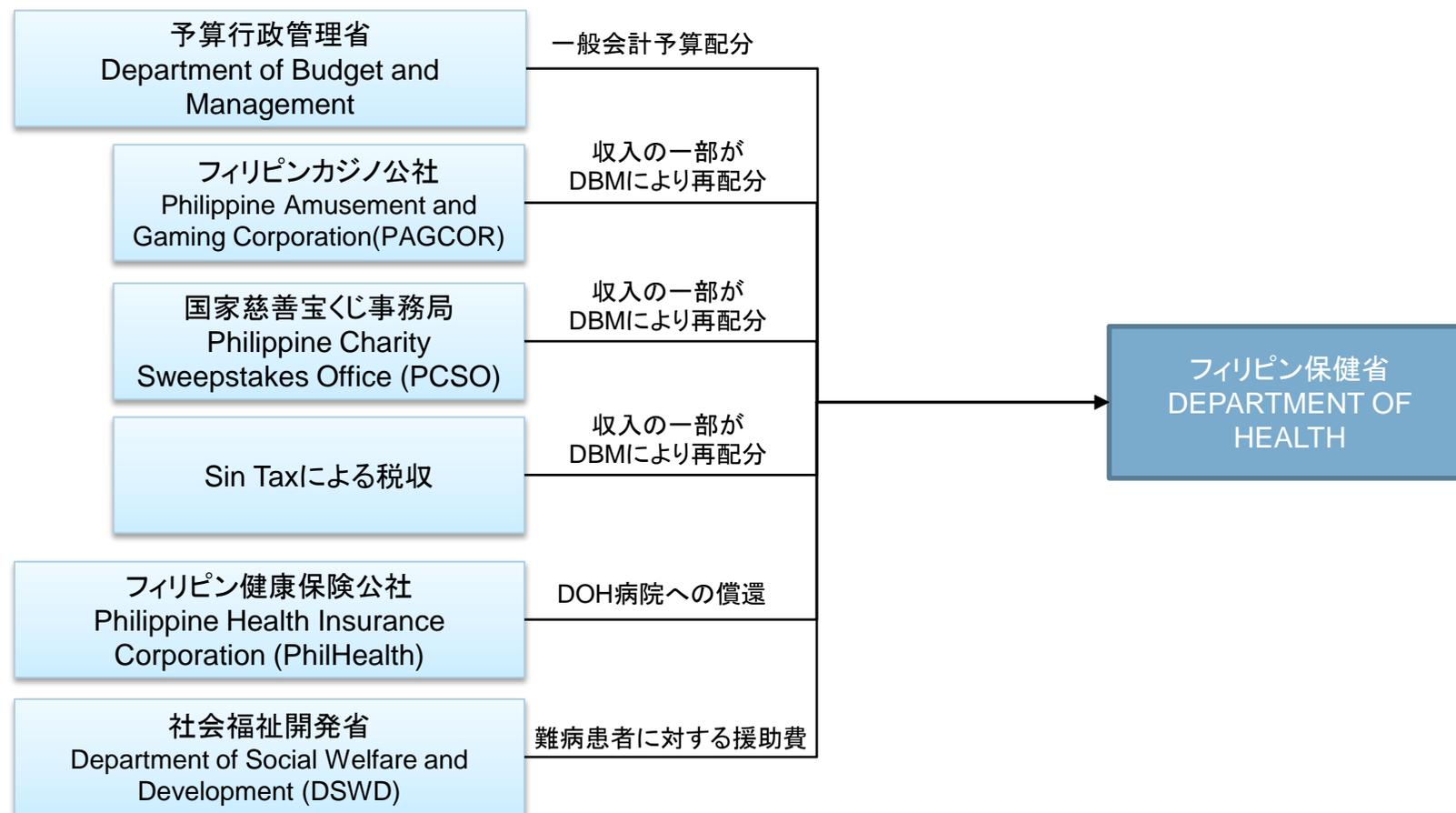


2. 保健医療政策・施策・予算

2. 保健医療政策・施策・予算 | 保健省の予算

フィリピン保健省の予算は予算行政管理省により計画、配分されるが、その財源は様々である。

フィリピン保健省の予算の主な内訳



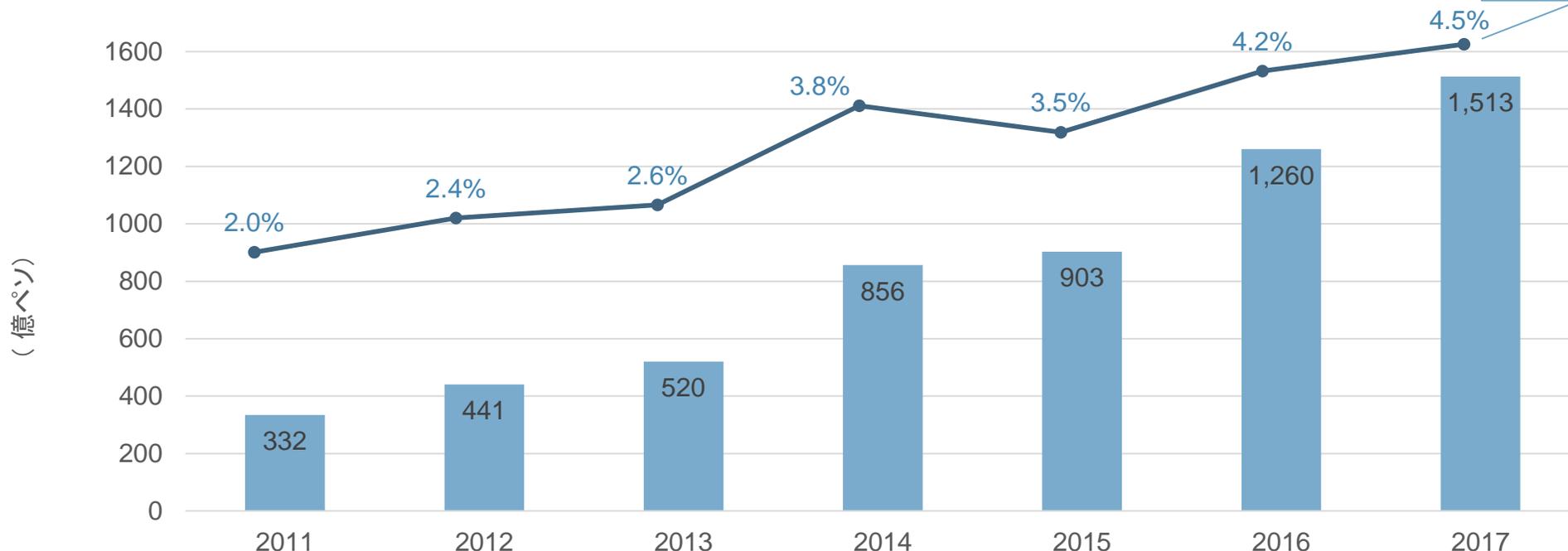
2. 保健医療政策・施策・予算 | 保健省の予算

保健省の予算は2010年から2017年までの6年間で5倍程度に増えている。

保健省予算額とフィリピン政府全体予算に占める割合

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

政府全体予算
に占める割合



注:保健省予算には、中央政府予算(Office of the Secretary, Commission on Population, National Nutrition Council)と保健省傘下の医療機関予算(Lung Center of the Phils, National Kidney and Transplant Institute, Philippine Children's Medical Center, Philippine Heart Center, and Philippine Institute of Traditional & Alternative Health Care)が含まれる。また、2017年からフィリピン健康保険公社(Philippine Health Insurance Corporation (PhilHealth))が保健省傘下組織予算に組み込まれた。それまでは中央政府予算に入っていた。2017年におけるPhilHealthの予算は532.21億ペソ。

2. 保健医療政策・施策・予算 | 保健省の予算

保健省予算の内訳を見ると、PhilHealth(フィリピン健康保険公社)の予算は、2011年以降から増加している。

保健省予算の内訳

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

項目	額(億ペソ)			
	2011年	2016年	2017年	
保健省中央政府(Central Office) 予算(内訳は次頁)	324	1,235	963	
保健省傘下組織(“Other Government Corporations”)の予算	フィリピン肺センター Lung Center of the Philippines	1.6	2.0	2.7
	国立腎臓移植センター National Kidney and Transplant Institute	1.6	5.7	4.6
	フィリピン小児科センター Philippine Children’s Medical Center	3.2	9.3	5.4
	フィリピン心臓センター Philippine Heart Center	1.2	7.2	3.8
	フィリピンヘルスケア研究所 Philippine Institute of Traditional and Alternative Health Care	0.4	0.6	1.2
	PhilHealth フィリピン健康保険公社	(中央政府予算内) 35.00	(中央政府予算内) 438.36	532.21
	計	8.0	24.7	550
合計	332	1,260	1,513	

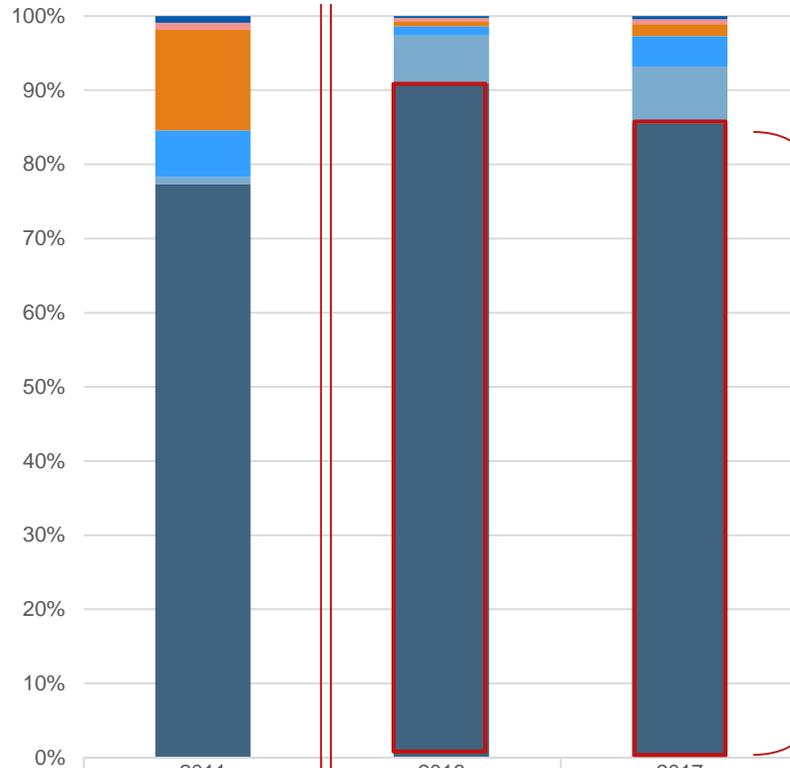
注)2017年からフィリピン健康保険公社(Philippine Health Insurance Corporation (PhilHealth))が保健省傘下組織予算に組み込まれた。それまでは中央政府予算に入っていた。また、端数処理の関係で一部合計値と合致しない値がある。

出所)保健省HP「General Appropriations Act, 2011, 2016, 2017」

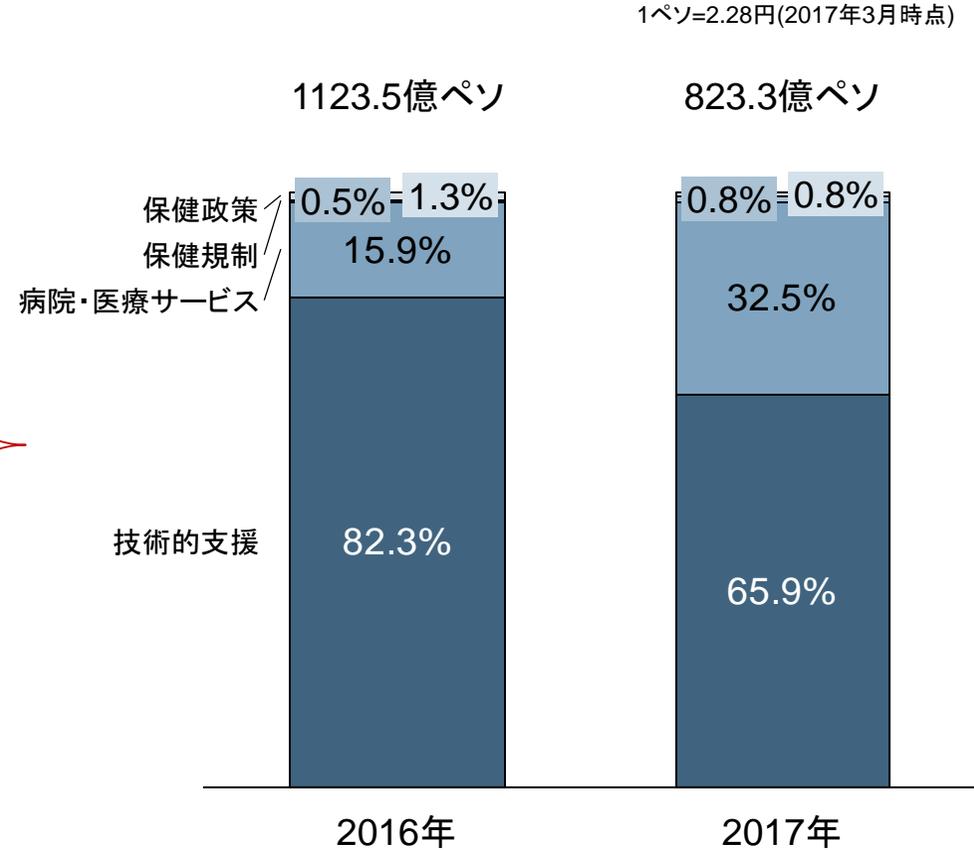
2. 保健医療政策・施策・予算 | 保健省の予算

保健省中央政府予算の8～9割が運営費である。運営費のうち、2016年、2017年にかけて、病院・医療サービスの割合が増加している。

保健省中央政府予算の内訳(2011年, 2016年と2017年の比較)



運営費(Operations)の内訳(2016年と2017年の比較)



注) 技術的支援は地方政府等に対する指導等を含む

2. 保健医療政策・施策・予算 | 保健省の予算

保健省中央政府予算の内訳(2011年、2016年、2017年)

保健省中央予算の内訳

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

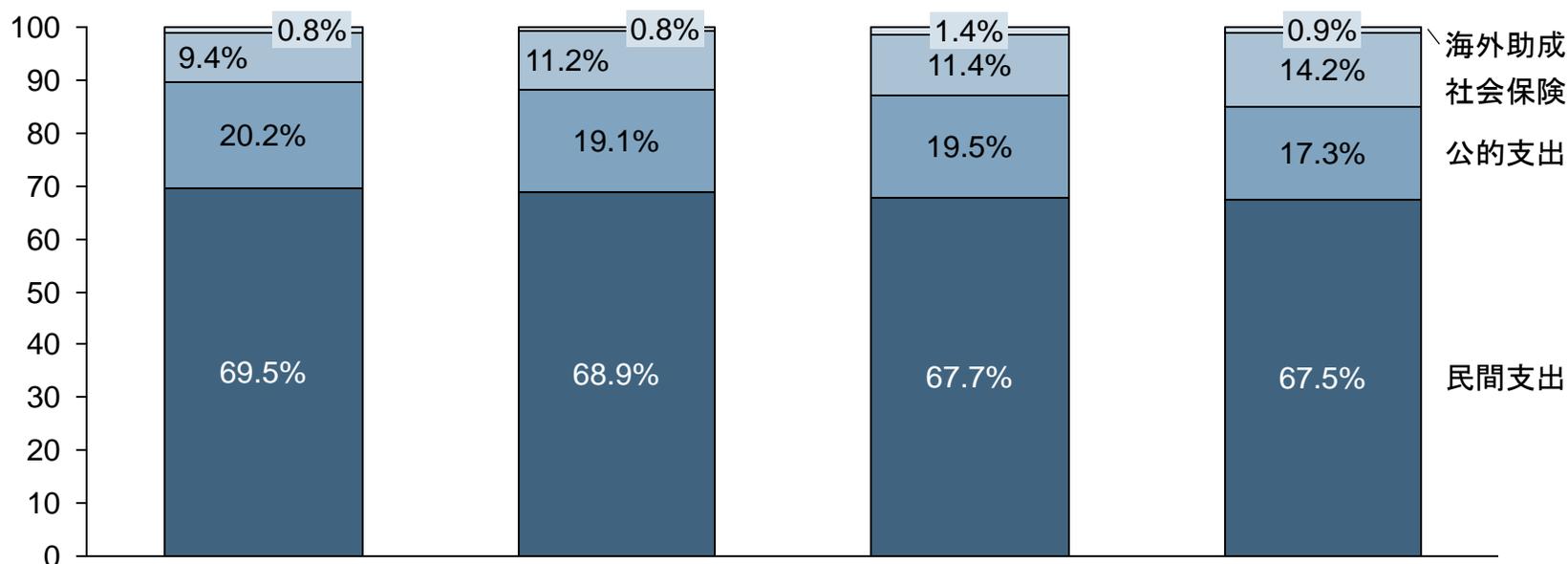
項目	金額(億ペソ)		
	2011年	2016年	2017年
管理費 General Administration and Support	3.1	79.1	74.3
運営支援費 Support to Operations	43.9	8.4	15.3
運営費 Operations	250.8	1123.5	823.3
事業費 Projects	20.5	15.2	39.8
人口委員会 Commission on Population	2.9	3.5	4.2
国家栄養協議会 National Nutrition Council	3.1	5.3	6.4
合計	324.3	1235.1	963.4

2. 保健医療政策・施策・予算 | 医療費支出

医療費支出のうち、民間の医療支出が3分の2を占めている。

医療費支出の内訳(億ペソ)

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)



費目	2011年	2012年	2013年	2014年
海外助成	3	4	7	6
社会保険*	39	53	60	83
公的支出	84	90	103	101
民間支出*	290	325	359	395
合計	416	471	530	585

注: 社会保険にはPhilHealthや従業者保険が含まれる。また、民間支出には、家計支出、民間企業・教育機関、民間保険が含まれる。

端数処理の関係で一部合計値と合致しない値がある。

出所) 関係者ヒアリング及びPhilippine Statistics Authorityに基づき、NRI作成

2. 保健医療政策・施策・予算 | これまでの保険医療政策

フィリピンでは、KALUSUGAN PANGKALAHATANの下、2011年から2016年の間に国民に対して高品質の医療を受ける機会を平等に提供することを目標に掲げている。

- 行政命令2010-0036により発行された前アキノ政権による健康アジェンダ (Aauino Health Agenda : AHA) では、保健政策における重点分野の運用方針としてカルスガンパンカラタン (Kalusugan Pangkalahatan : KP) が導入された。

ユニバーサルヘルスケアのための重点分野とアクション(2011年-2016年)

貧困層に対する健康面での
財務リスクからの保護
(国民健康保険 (NHIP) の加入と給付拡大)

- a. 運営を国と地域への便益改善のために PhilHealth (フィリピン健康保険公社) の運営方針を再検討
- b. 貧困層のNHIPへの加入を拡大
- c. 認定施設における質の高い医療サービスを外来・入院患者に対して提供
- d. IT技術の向上により、国民健康保険のサポート価値を向上
- e. サービスの具体的な適用範囲やトータルコスト等を把握・決定するための継続的調査

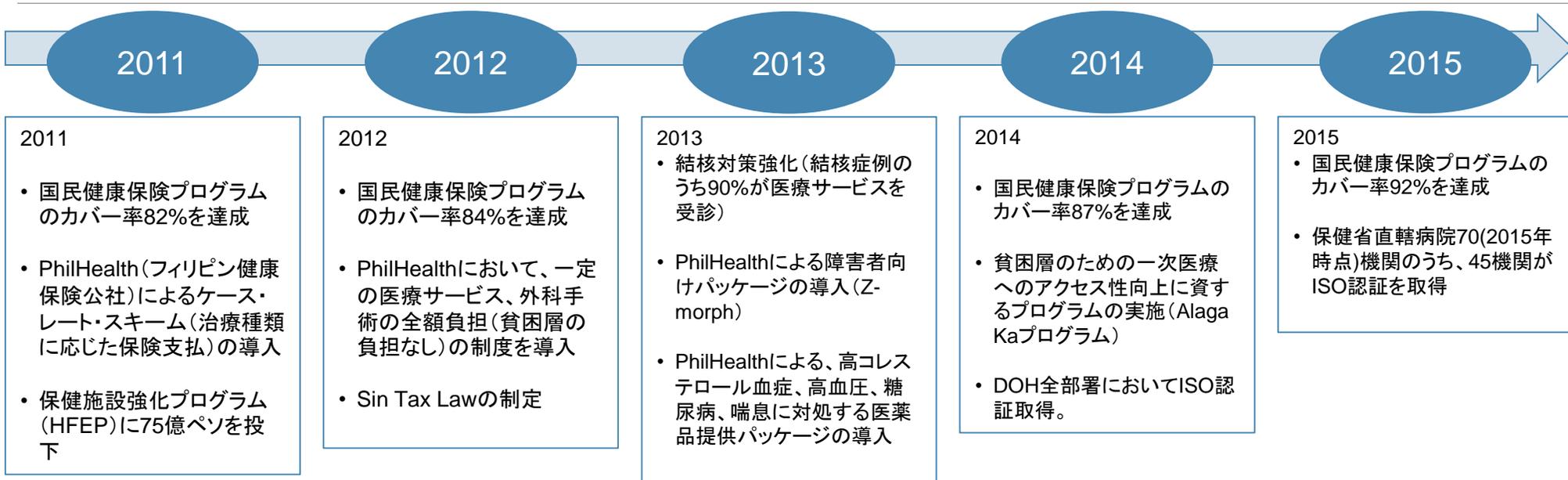
質の高い医療機関・施設
へのアクセス性向上

- a. 最も一般的な死亡・罹患原因に対して適切に対応可能な施設整備 (施設増強・改善)
- b. 優先施設の即時修復等を実施するための官民パートナーシップによる体制づくり (PPPIによる資金メカニズム等)
- c. 公的な病院、その他医療機関の財政健全化
- d. 国民健康保険が適用される病院・施設の統一化・合理化
- e. 地域保健医療のクラスター化
- f. 高品質な医薬品へのアクセス
- g. 医療従事者の配置

健康関連ミレニアム開発
目標 (MDGs) の達成

- a. 家族の健康ニーズに基づいた援助を行う地域支援チーム (CHT) の展開
- b. 家族計画を支援するライフサイクルアプローチ (新生児及び産後ケア等)
- c. 非伝染病を減らすための生活習慣改善支援
- d. 感染症の予防と管理のための公衆衛生措置の実施、新興疾病に対する適切なサーベイランス
- e. 教育省、社会福祉省、内務省、地方自治体等の機関間及び部門間による、健康への取組に係る連携

アキノ政権下における主な保健政策の取組及び成果は以下の通り。



2. 保健医療政策・施策・予算 | これまでの保険医療政策

質の高い医療機関・施設へのアクセス性向上に関する国家目標(2011-2016年)では、医療機関の施設改修やサービスの質の改善で高い目標を掲げている (1/2)

戦略目標	指数	ベースライン (2010年)	目標(2016年)
質の高い医療施設やサービス提供(特に貧困層がよく利用する施設の改善)	保健省指定病院における割合 (医療施設及びリハビリ施設を改修済み)	10%	95%
	州病院(Provincial Hospitals)における割合 (医療施設及びリハビリ施設を改修済み)	25%	95%
	地区病院(District Hospitals)における割合 (医療施設及びリハビリ施設を改修済み)	30%	95%
	町保健所(RHUs)の割合(医療施設及びリハビリ施設を改修済み)	30%	100%
入院患者及び外来患者の治療の質の向上	品質センター/優良認定、またはそれと同等の資格を有する保健省指指定病院の割合	17%*	100%
	品質認定センターと地方自治体(LGU)管理病院(1つ以上)を保有する地区および大都市の数	10箇所	70箇所
	フィリピン健康保険プログラム対応可能な町保健所(RHU)/市保険事務所(CHO)の割合(%)	59%	80%
	フィリピン健康保険プログラム対応可能な公立病院の割合(%)	88%	95%
	フィリピン健康保険プログラム対応可能な保健省に許可された私立病院の割合(%)	91%	93%

注)*部分は2011年時点の値

2. 保健医療政策・施策・予算 | これまでの保険医療政策

質の高い医療機関・施設へのアクセス性向上に関する国家目標(2011-2016年)では、 医療機関の施設改修やサービスの質の改善で高い目標を掲げている (2/2)

戦略目標	指数	ベースライン (2010年)	目標(2016年)
すべてのレベルの政府医療施設で必須の医薬品や医療品の利用を保証	全てのレベルの医療施設における必須医薬品及び医療品の利用可能率(%)	25.3%	80%
地方の保健医療施設における専門サービスへのアクセス強化	心臓、肺、腎臓の専門治療サービスを備えた地方医療施設の数	3箇所	80箇所
	地域血液センターの数	3箇所	5箇所
	がんセンターの数	1箇所	9箇所
政府病院における統括・管理、持続可能性、財政の自立の改善	民間病院に改築された保健省病院の数	4箇所	6箇所
	独立した財源持つ、または民間企業との事業計画を持つLGU(地方)病院の数	1箇所	16箇所
医療施設の顧客対応の向上	顧客満足度(%)	83.2%	90%

2. 保健医療政策・施策・予算 | これまでの保険医療政策

特に、医療機関の施設増強に関しては、保健省の優先的計画にも位置付けられている。

国家経済開発庁による優先的計画の中の保健政策（優先度の高いもの）

計画名	概要
1. 児童健康開発計画 (CHDP)	5歳未満の子供の健康と栄養作用の改善を行い、死亡率を減らし、栄養失調の蔓延を減らすことを目指すもの。
2. 保健施設強化計画 (Health Facilities Enhancement Program : HFEP) とその構成プログラム及び活動	保健施設開発局 (Health Facilities Development Bureau : HFDB) によって運用されているプログラム。 公的医療施設や設備をアップグレードすることで、基本的及び特殊な医療サービスの質を向上させることを目指すもの。
3. リプロダクティブヘルス法の実施	この計画は、カップルや両親が妊産婦、新生児、子供の健康と栄養状態の改善に貢献するために責任ある育児を支援することを目的としている。
4. 拡大予防接種計画 (EPI)	計画の全体的な目標は、ワクチン予防可能である一般的な疾病に対する罹患率と死亡率を低減するための計画。

2. 保健医療政策・施策・予算 | 今後の保健医療政策上の優先課題

保健施設開発局(HFDB)では、2017年から2022年までの次期計画を策定中。
計画の中では、特に地方医療施設の拡充に重点を置いている。

フィリピン保健施設開発計画(Philippine Health Facility Development Plan:PHFDP)(2017-2022)における目標

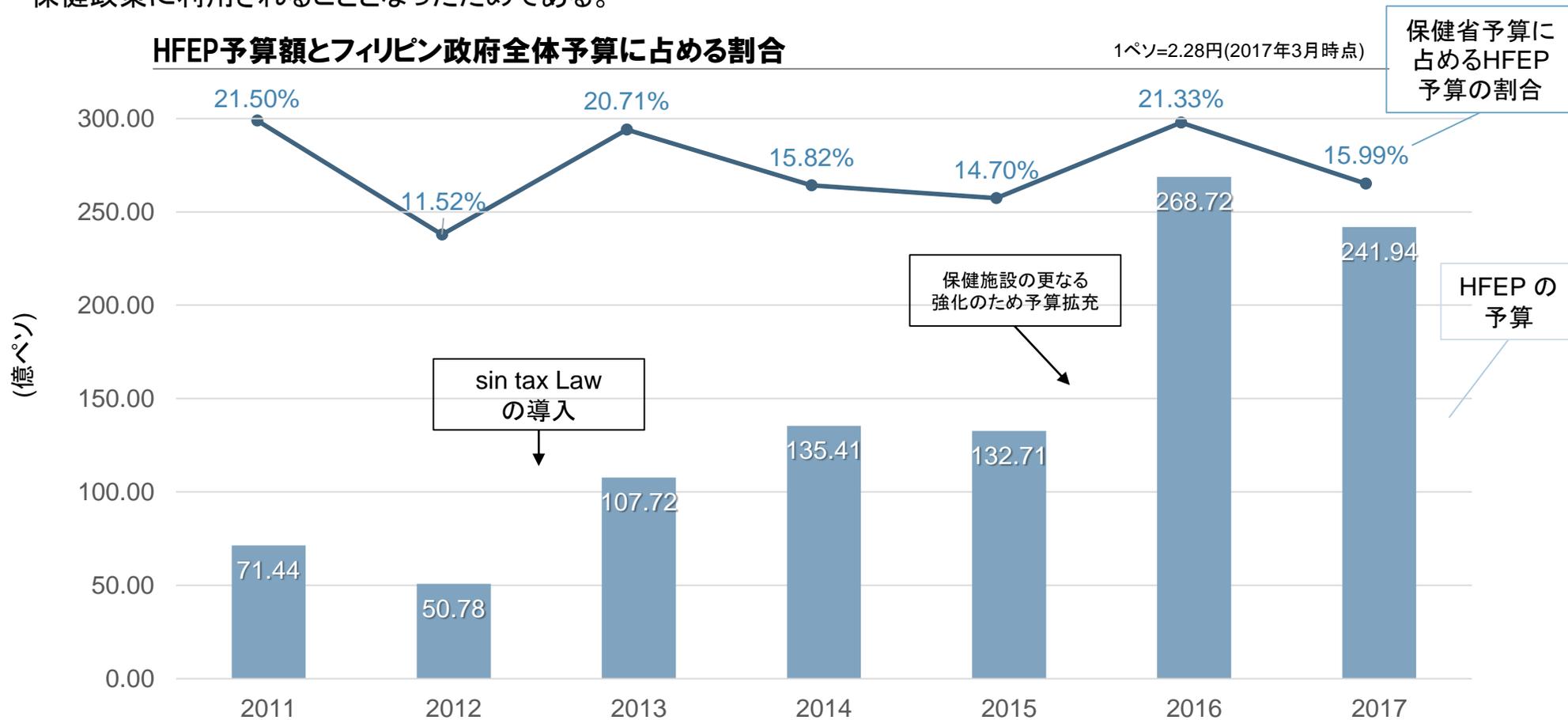
2022年までの具体目標	目標値	現状値	目標達成までの差
全てのバラングイ地域に最低1つの保健センターを設置	合計 42,036拠点 (2016年時点の バラングイ数から算出)	合計 26,048拠点 (2016年時点の バラングイ数から算出)	15,988拠点
人口2万人の地域につき、 最低1つの地域保健施設を設置	合計 5,050拠点 (2015年人口に基づく)	合計 2,626拠点 (2015年人口に基づく)	2,424拠点
人口1,000人につき最低でも 1つの一般病院のベッド	合計 100,981ベッド (2015年人口に基づく)	合計 88,394ベッド (2015年人口に基づく)	12,587ベッド

2. 保健医療政策・施策・予算 | 今後の保健医療政策上の優先課題

保健施設強化計画(HFEP)にかかる予算は2011年の約71億ペソから、2016年には約270億ペソへと増加した。

- 2012年から2013年にかけての予算額の主な増加要因は、2012年にアルコール・たばこ物品税(Sin Tax)の税収入分が保健政策に利用されることとなったためである。

HFEP予算額とフィリピン政府全体予算に占める割合

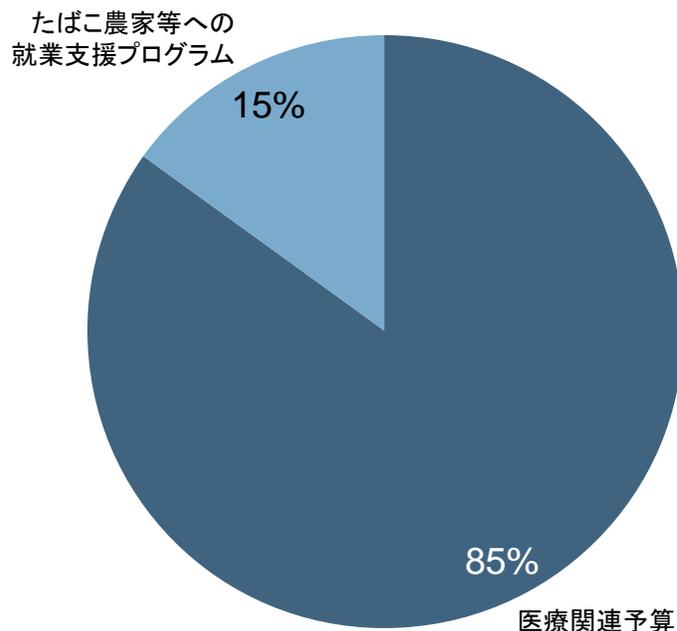


2. 保健医療政策・施策・予算 | 今後の保健医療政策上の優先課題

ユニバーサルヘルスケアプログラム実現のために新たに導入された、アルコール・たばこ物品税 (Sin Tax) の税収の85%は保健省予算へ充当されている。

- アルコール・たばこ物品税 (Sin Tax) のうち15%はタバコ農家等の労働者が別の生活の糧を探すためのプログラムに充当されており、残りの85%はユニバーサルヘルスケアへの資金供給 (医療施設のアップグレードや医療人材の養成等) に活用されている。

Sin Taxによる税収額の配分割合



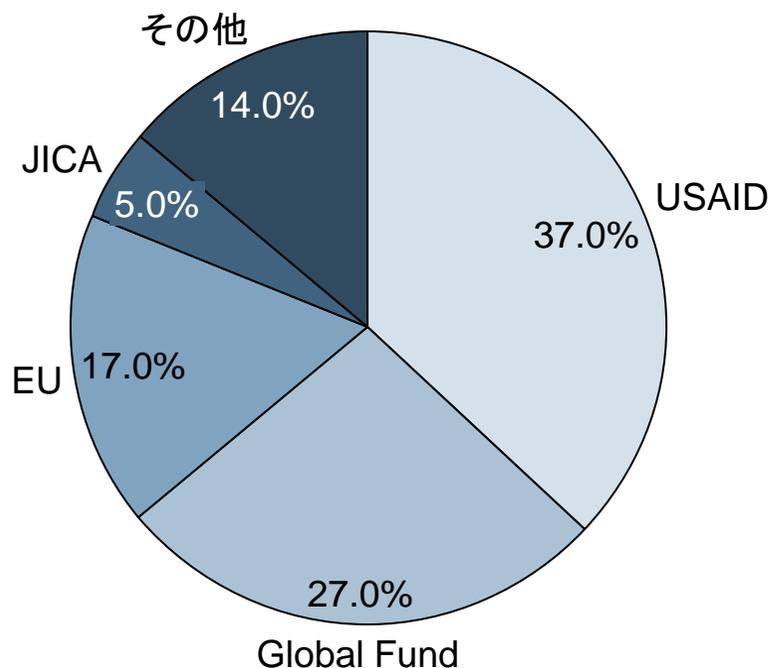
Sin Taxによる税収額の配分状況 (2016) 1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

配分テーマ	2016年の保健省の予算に含まれるSin Taxの税収額(10億ペソ)	2016年度の保健省の予算(10億ペソ)	配分テーマの予算額に占めるSin Taxの割合
合計	69.40	122.63	56.6%
PhilHealth(フィリピン健康保険公社)	31.26	43.89	71.2%
MDGs(ミレニアム開発目標)関連	16.94	41.10	41.2%
保健施設強化プログラム(HFEP)	7.45	21.01	35.5%
医療人材資源の育成	4.16	7.04	59.1%
医療援助関連	9.59	9.59	100.0%

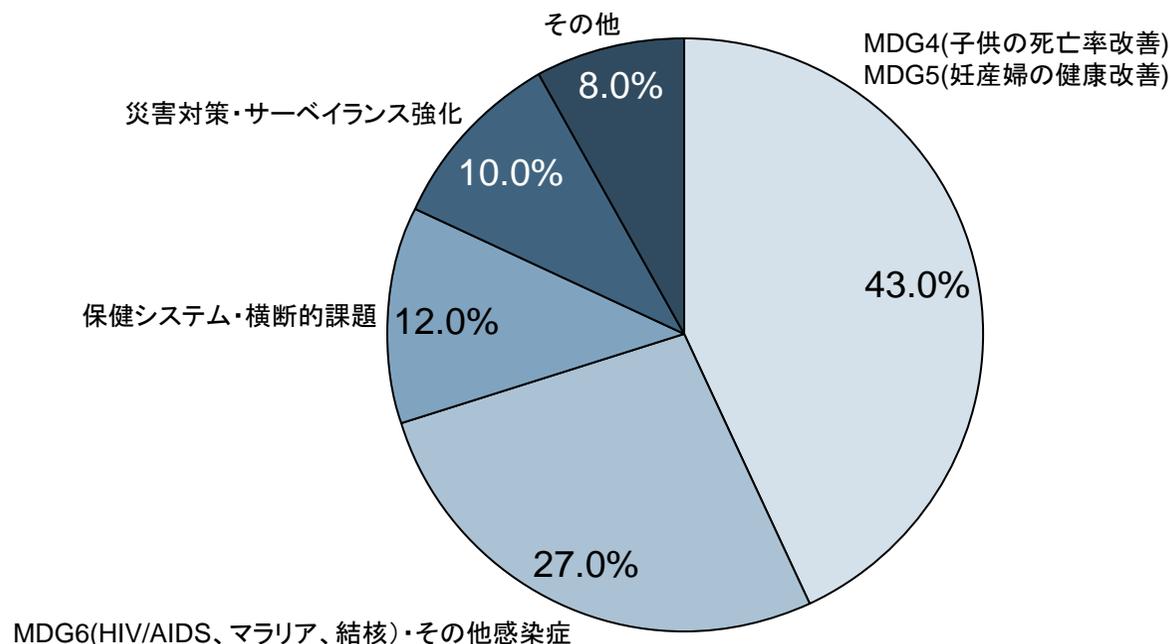
2. 保健医療政策・施策・予算 | 今後の保健医療政策上の優先課題

フィリピンの保健政策では、多くのドナーによって、特にミレニアム開発目標(MDGs)の達成に向けた支援が実施されている。

保健セクターにおけるドナーの内訳



ドナーによる支援分野



2. 保健医療政策・施策・予算 | 今後の保健医療政策上の優先課題

フィリピンでは、情報通信技術(ICT)を利用してユニバーサルヘルスケアプログラムを実施するための3年戦略計画(2015年－2017年)を策定している。

- 情報サービス戦略計画(ISSP)の最重要目標は、政府のITサービスを改善するために、データ取得の強化を行い、データ処理及び共有を容易にする事である。
- この計画の2015年の予算は、約8,697万ペソである。
- ISSPは、2014-2020年のフィリピンe - Health戦略枠組み計画(PeHSFP)に準拠している。
- 次の図は、e - Healthの目標を達成するために必要な基本構成要素を示している。この図の中央にある「e - Healthソリューション」は、ISSPが優先するアプリケーションである。

フィリピンe-Healthの構成

ガバナンス

e-Healthの行動
指針の管理

業務管理

監査及び評価

政策方針の管理

ネットワークの利用
及び提携

戦略的構成

医療安全性

法律及び政策、
コンプライアンス

法律、政策及びその
他

国民健康識別名

相互運用を可能にする
為の健康データの
基準

ソフトウェア認証

e-Health ソリューション
(サービスとアプリケーション)

情報源

医療レポート
研究
医療ポータルサイト
電子健康記録

サービスの提供

遠隔医療サービス
電子相談サービス
フィリピン健康保険電子クレームシステム
医薬品の意思決定サポート、テスト注文
病気の管理

相互運用性と基準

データ構造

メッセージング

専門用語

ソフトウェア認証

研究開発

戦略と投資

戦略的計画

持続性の認められる資金
調達

資産運用

インフラ事業

コネクティビティ

コンピュータ
インフラ事業

貯蔵

データベース

安全

ディレクトリー
サービス

基準

インフラ事業の
開発と管理

人的資源

教育と訓練

リテラシー・能力の向上

フィリピンe-Healthの構成要素の概要

構成要素		概要
1	ガバナンス	病院から医療提供者まであらゆる領域でe-Healthの活動を管理し支援する。ガバナンスの重要事項は、e-Healthの行動指針の管理、ステークホルダーとの協力、戦略的構成、医療安全性、管理と運用、監査と評価、政策方針の管理である。
2	法律及び政策、コンプライアンス	e-Healthの目標の達成を支援するために、必要となる法律・政策・コンプライアンスの立案を行う。例としては、医療情報がどのように地理的領域および保健領域の境界を越えて保存され、アクセスされ、共有されているかについての法律、政策、規制などが挙げられている。(具体例):固有の健康識別名の実施。国家健康データ基準の実施。ソフトウェア認証または認定。
3	相互運用性と基準	データ構造、専門用語、メッセージングに関する基準を利用し、地理的領域および医療分野の境界を越えた医療情報の交換を促進及び可能にする。相互運用性による医療データ基準のコンプライアンスを確実にするための1つの戦略として、「e - Healthソリューションが医療情報の交換が行えることを保証するソフトウェア認証・認定の実施」が挙げられている。
4	戦略と投資	フィリピン全域におけるe-Healthの目標の設定、実行、維持を行う。これらの要素は戦略開発を支援し、e - Healthの導入のガイドとなる予定である。投資とは、戦略や計画を実行するために必要な資金の事である。
5	インフラ事業	医療情報の交換 - 地理的領域および医療分野の境界を越えた医療情報の共有、医療サービスおよび医療情報を提供する革新的な方法の実施。 インフラ事業には、医療情報の交換を支援する技術、ソフトウェアプラットフォーム、サービスおよびアプリケーションが含まれる。例としては、高速データ接続とコンピューティングインフラ(電子情報の収集、記録、交換などのためコンピュータや携帯情報端末など)が挙げられている。
6	人的資源	国内のe - Healthの環境の開発、運用、実地を行うための人員または人材: 職場でe - Healthを使用する医療関係者、医療プロバイダー、情報通信技術者など
7	e-Healthソリューション	ヘルスケアサービス、医療情報、医療レポート、ヘルスケア活動への幅広いアクセスを可能にし、さらに保健システムの向上のために患者の情報を安全に共有・交換することを可能にするサービスとアプリケーション。 これらは、個人、医療提供者、管理者、職員などのさまざまなステークホルダーのニーズに対応している。e-healthソリューションの例として、電子医療/医療/個人記録、電子紹介、薬品管理、遠隔教育と電子リソース、遠隔医療、モバイルヘルス、有害事象の監視、疾病の監視などが挙げられる。

2. 保健医療政策・施策・予算 | 今後の保健医療政策上の優先課題

フィリピンの医療観光プログラムは、フィリピンにおいて国際基準の医療レベルを整備することで自国の競争力を高めることを目指している。



ビジョン

ユニバーサルヘルスケアを通じて全ての人に質の高い医療サービスを提供出来るグローバルリーダーとなる

ミッション

フィリピンが公的部門と民間部門の両方で品質基準の実施を通じて世界的に競争力を持つことを確実にする

3つのゴール

国内のヘルスケア産業が地方の経済と生活水準の向上に貢献する

グローバルヘルスケアに適した先進的な医療サービスを提供できる医療機関の数を増やし、雇用数や労働生産性を向上させる

医療サービスを利用する観光客の数を増やし、国際基準の競争力を向上させる

4つの目標

国内外の医療機関認定の遵守による競争力の強化

すべての保健施設における質の高い医療の提供と患者安全基準に係る施策・制度の策定

医療ツーリズムとウェルネスサービス、貿易・観光に関わる他の行政機関、地方政府、民間団体、学会等との協力関係の継続

質の高い医療と患者の安全に関する全国地域での提言活動の継続や国際会議等への参加

2. 保健医療政策・施策・予算 | 今後の保健医療政策上の優先課題

ユニバーサルヘルスケアに資する成果は見られるものの、特に地方部、貧困層においては、その恩恵を享受しきれていないのが現状。

前政権における保健政策の主な成果と課題

ユニバーサルヘルスケアのための重点分野とアクション(2011年-2016年)

貧困層に対する健康面での
財務リスクからの保護
(国民健康保険: NHIPの加入と給付拡大)

質の高い医療機関・施設への
アクセス性向上

健康関連ミレニアム開発
目標(MDGs)の達成

主な成果

- 国民健康保険への加入率が92%
- 医療費に対する保健力カバー率が56%

主な成果

- Sin Tax Lawの導入により、医療施設の増強に資する資金確保が図られた

主な成果

- 幼児死亡率の改善
- マラリア感染による死亡率の改善、等

主な課題

- 高い加入率にも関わらず、貧困層の保険利用実績は極めて低い

主な課題

- 施設機能の重複、人口にアクセスできない地域に新たな施設が建設されている
- 施設や機器の運転に十分な電源を確保できない
- 施設や機器を運営できる人材の不足
- ランニングコスト(メンテナンス等)に対する資金不足により継続的な運営が出来ない

主な課題

- 結核有病率・死亡率は目標達成していない(WHOが定める高蔓延国のひとつ)
- MDGsに対処するための医療従事者の数が依然として少ない(従事者数が都市部に偏りすぎている)

2. 保健医療政策・施策・予算 | 今後の保健医療政策上の優先課題

ドゥテルテ政権下においては、戦略目標である“ACHIEVE”の実行によって、医療サービス提供環境の向上と国内における主な病気のケアを推進する。

- ドゥテルテ政権では、「10の社会経済優先事項」の一つに医療システムの向上とリプロダクティブ・ヘルス法の執行強化が挙げられている。これに基づき、保健省は今政権(2016年～2022年)における戦略計画を挙げた。

保健省の2016～2022年度の目標

- 保健に関する持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals : SDG)の達成
(金銭的リスクの保護、より良い保健成果、責任性)

3つの保障

保障1

“3つの重荷*”に対するケア

*感染症、生活習慣病、現代病(薬物や自殺等)

保障2

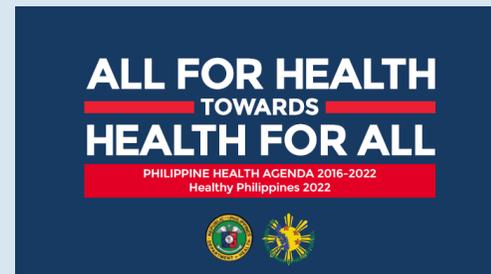
医療インフラのネットワーク化による医療サービスの提供

保障3

PhilHealthによる医療サービスの金銭的支援

戦略 “ACHIEVE”

- A 医療管理・能力の向上
- C 金銭問題を抱えるフィリピン人の支援
- H 戦略的人材開発部の力を活用
- I 意思決定を支援するeヘルス及びデータへの投資
- E 基準、説明責任、透明性の強化
- V 価値のある利用者と患者
- E 保険に対するマルチステークホルダーからの支持を得る



2. 保健医療政策・施策・予算 | 今後の保健医療政策上の優先課題

保健省2016年～2022年における戦略計画

A	C	H	I	E	V	E
医療管理・能力の向上	金銭問題を抱えるフィリピン人の支援	戦略的人材開発部の力を活用	意思決定を支援するeヘルス及びデータへの投資	基準、説明責任、透明性の強化	価値のある利用者と患者	保険に対するマルチステークホルダーからの支持を得る
<ul style="list-style-type: none"> 低所得家族への年間訪問 フィリピン健康保険公社は初期治療に有利なネットワークを持つプロバイダーと連携 保健省が管理する病院を総合専門病院にアップグレード 健康増進及び監視対応のための専門機関の設置 	<ul style="list-style-type: none"> より多くの資金調達手段の確保 (Sin Tax、娯楽、フィリピン慈善宝くじ等) フィリピン健康保険公社に登録していない貧困層の登録促進 外来患者の診断のための国民健康保険ベネフィットパッケージの拡大 契約内容を改善し、適切な契約期間を執行 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や世界のニーズに対応した健康関連人材の育成 政府の戦略的人材開発部の財政、イスラム教徒ミンダナオの自治区・先住民・地理的に隔離された地域の賃金の見直し(より高くなるよう) 奨学金等の資金の提供 	<ul style="list-style-type: none"> すべての保健施設でEMR(粘膜切除術)を導入 健康設備及び薬局を認可・契約する為のオンラインのデータ提出に必要な条件の整備 大規模的な全国調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> より良い成果をもたらすことができる情報の公開する(一般的な薬の価格/サービスの価格、非対応プロバイダー) 業務監視部の設置 	<ul style="list-style-type: none"> フィリピンの貧困層である約二千万人を対象とした医療処置の向上 すべての健康資格の明確化 救済スキームの整備 所要時間(待ち時間)を大幅な短縮 診察プロセスの明確化 	<ul style="list-style-type: none"> サービス調達網の整備、市場介入、供給側の投資計画に基づく民間活用、提携 保健に関連する他政府機関との協力 社会奉仕活動に対する取り組みの強化

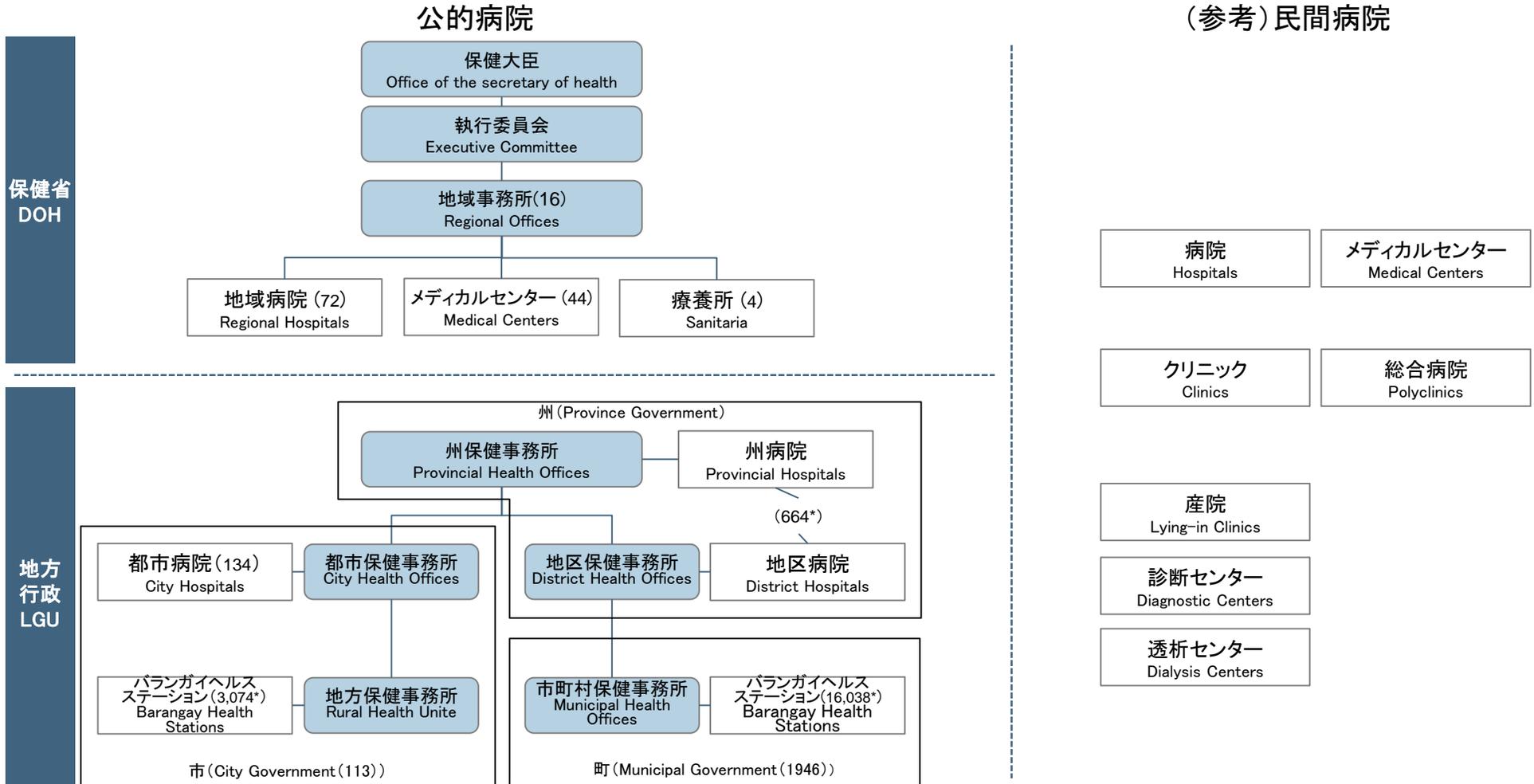
3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 保健省の直轄公立医療機関の構成・位置づけ、政府の関与度合

フィリピンの公的病院は、保健省直轄病院、地方政府直轄病院に大別される。

フィリピンにおける医療提供機関の体系

カッコは2013年時点の拠点数を指している(*は2009年時点)

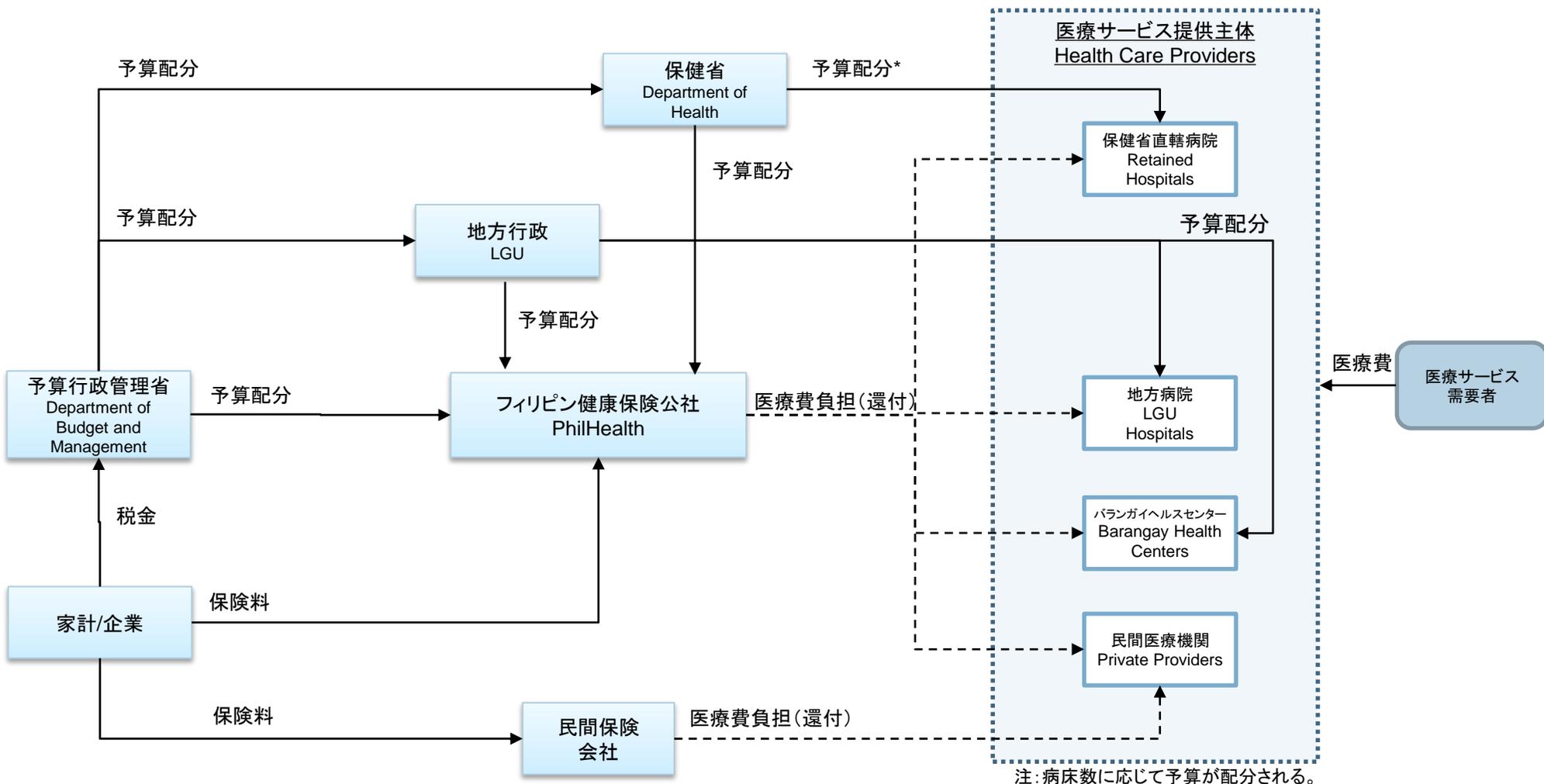


出所) 厚労省「海外における医療ニーズ等及び国内企業の海外進出状況等調査及び分析業務報告書」や関係者ヒアリングに基づき、NRI作成

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 保健省の直轄公立医療機関の構成・位置づけ、政府の関与度合

医療サービスの提供主体である各種医療機関に対しては、その属性に応じて国(保健省・地方行政)やフィリピン健康保険公社、民間保険会社から資金供給される。

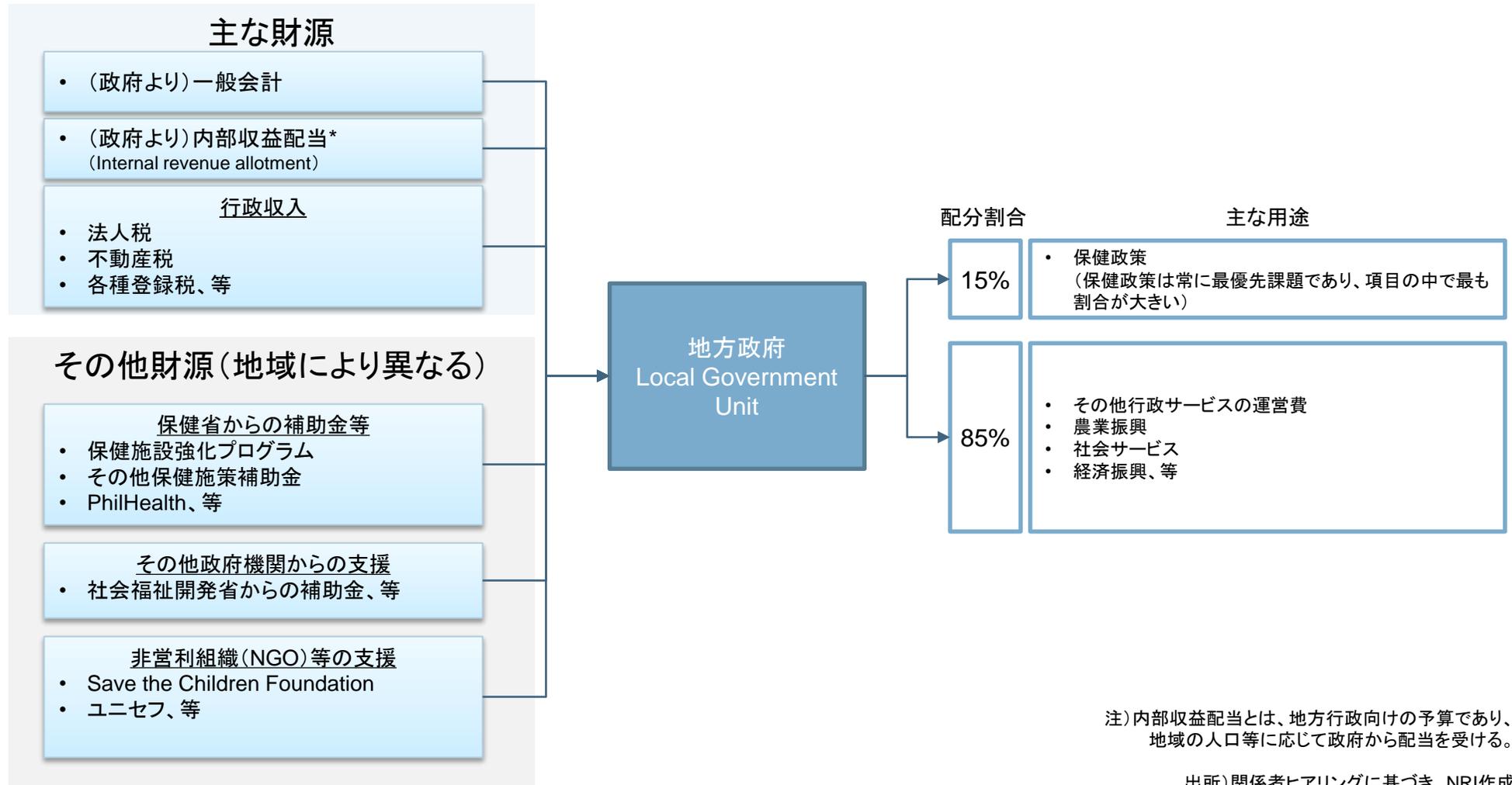
フィリピンにおける医療サービス提供体制



3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 保健省の直轄公立医療機関の構成・位置づけ、政府の関与度合

なお、**地方行政(LGU)の財源は地方によって異なる。**
主な財源は政府予算、補助金、支援金で構成されている。

イロイロ州 コンセプションの事例



3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況

病院のクラス分類は、病院の質の向上を目的として、全機関再評価の上、2013年より新たな基準でレベル分けされた。

2012年までのクラス分類(また各レベルの機能)

Level 1	<ul style="list-style-type: none"> 緊急病院 即時治療が必要な症例に対する初期治療 一般医、小児科、マイナー手術、非手術婦人科 第一次臨床検査室 薬学および第一レベルの放射線学の取扱 最低限の介護
Level 2	<ul style="list-style-type: none"> 非部門別病院 小児科、外科、麻酔科、産科、産婦人科 第一レベルの放射線科、第二次臨床検査所、薬学 介護管理を必要とする患者のケア
Level 3	<ul style="list-style-type: none"> 部門別病院 Level2の病院が提供するすべての臨床サービス 専門の臨床ケア 第三次臨床検査室、薬局 第二レベル放射線検査 総合集中治療を必要とする患者のケア
Level 4	<ul style="list-style-type: none"> 病院の教育と訓練 Level3の病院が提供するすべての臨床サービス 専門的な治療、集中治療、外科手術 第三次臨床検査室 第三レベル放射線検査 継続的かつ専門的な重大なケアを必要とする患者のケア

2013年以降のクラス分類(各レベルの機能)

その他医療施設	<ul style="list-style-type: none"> 上記に属さない医療施設: <ol style="list-style-type: none"> プライマリーケア施設 保護施設(精神病患者のリハビリ等) 診断/治療施設 専門外来施設
Level 1	<ul style="list-style-type: none"> 旧Level2の病院は新Level1の病院に再分類 スペシャリスト:医学、小児科、産婦人科、外科 緊急・外来サービス:隔離施設、外科/妊婦施設、歯科医院 付属サービス:第二次臨床検査室、血液検査所、一次レベルのX線、薬局
Level 2	<ul style="list-style-type: none"> 新Level1のサービスと部門別の臨床サービスを提供 人口呼吸器、一般ICU、高リスク妊娠ユニット、新生児集中治療室の取扱 付属サービス:第三臨床検査室、血液ステーション、第二次レベルのX線
Level 3	<ul style="list-style-type: none"> 新Level2と4つの主要な臨床サービスを提供 →身体医学およびリハビリテーションユニット、外来手術クリニック、透析クリニック 認定レジデンシーの訓練プログラムでの教育 付属サービス:組織病理学を有する第三の研究室、血液バンク、第三次レベルのX線
専門病院	<ul style="list-style-type: none"> 特定の病院を専門とする病院: <ol style="list-style-type: none"> 疾病(例えば、国立精神保健センター国立整形外科病院) 臓器(例:フィリピンの肺センター、フィリピン心臓センター) 患者(フィリピンの子供医療センター、国立子供病院など)

注)「その他医療施設」は公立/私立に関わらず保健省から医療機関を運営するための営業許可を受けている。「その他医療施設」が保健省傘下の施設の場合、保健省の地域事務所から予算が配分される。

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況

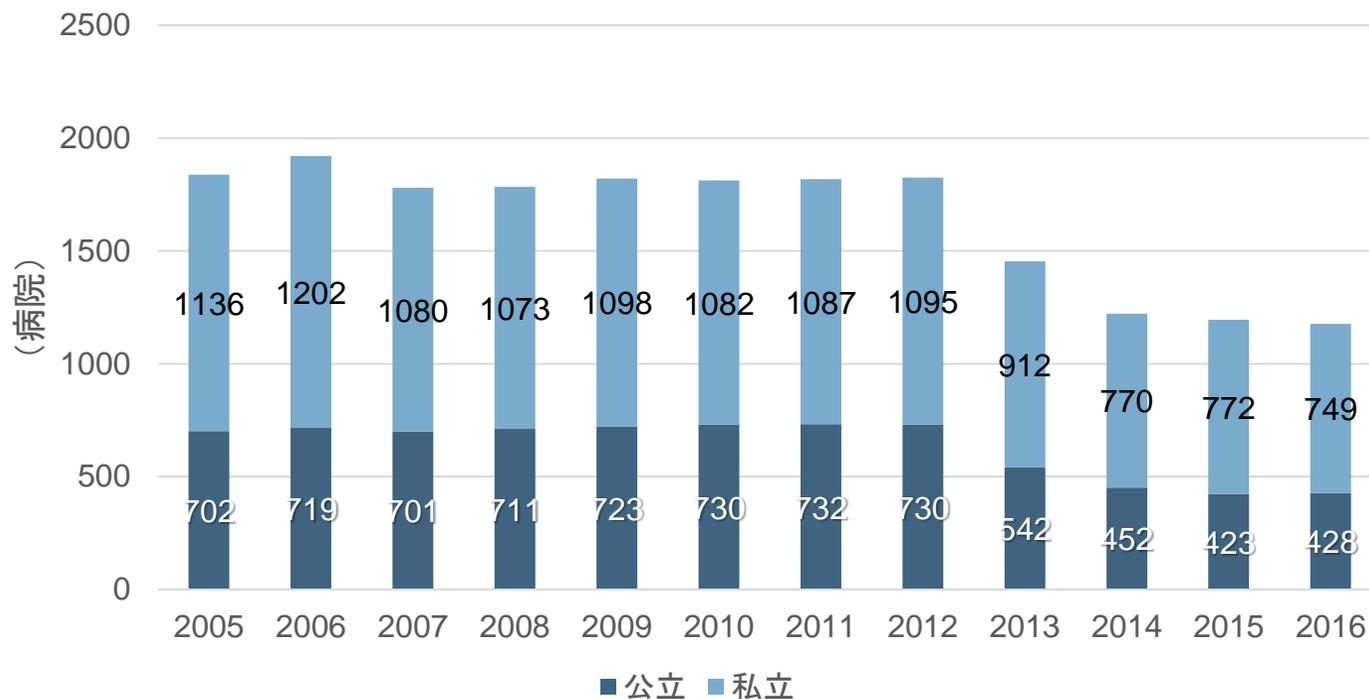
新定義に基づく病院の各レベルの機能は以下の通り。

サービス分類	病院のクラス分類			専門病院
	Level 1 (低機能)	Level 2 (中機能)	Level 3 (高機能)	
患者の為の臨床サービス	専門医への診察 (主に以下) ・医学 ・小児科 ・産婦人科 ・外科	レベル1の全てに加え、 下記機能: 部門別臨床サービス	レベル1、2の全てに加え、 下記機能: 医学/外科的専門及び下位専門 分野の医師のための、最低2つ 以上の教育・訓練プログラム	専門病院は、特定の疾患または患者を専門とする。専門病院は、以下の治療に専念できる: ・特定の種類の疾患の治療又は特定の分野の処置治療 ・特定の臓器または臓器群の疾患に罹患している患者の治療 ・子供、女性、高齢者等のグループに属する患者の治療
	緊急時および外来患者用サービス	人工呼吸器	物理医学とリハビリテーション装置	
	隔離病棟	一般的なICU	外来手術クリニック	
	外科/産婦人科病棟	ハイリスク妊娠治療機器	透析クリニック	
	-	NICU(新生児集中治療室)	-	
	-	歯医者	-	
付帯サービス	第二次臨床検査室	第三次臨床検査室	第三次臨床検査室 (組織病理学を含む)	
	血液ステーション	-	血液バンク	
	レントゲン機器(X線) レベル1	移動式レントゲン機器(X線) レベル2	レントゲン機器(X線) レベル3	
	薬局	-	-	

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等

フィリピンの2016年における医療機関数は約1,200であり、約6割が私立病院である。2013年以降、病院分類の変更や病院の統廃合が進み数が減少した。

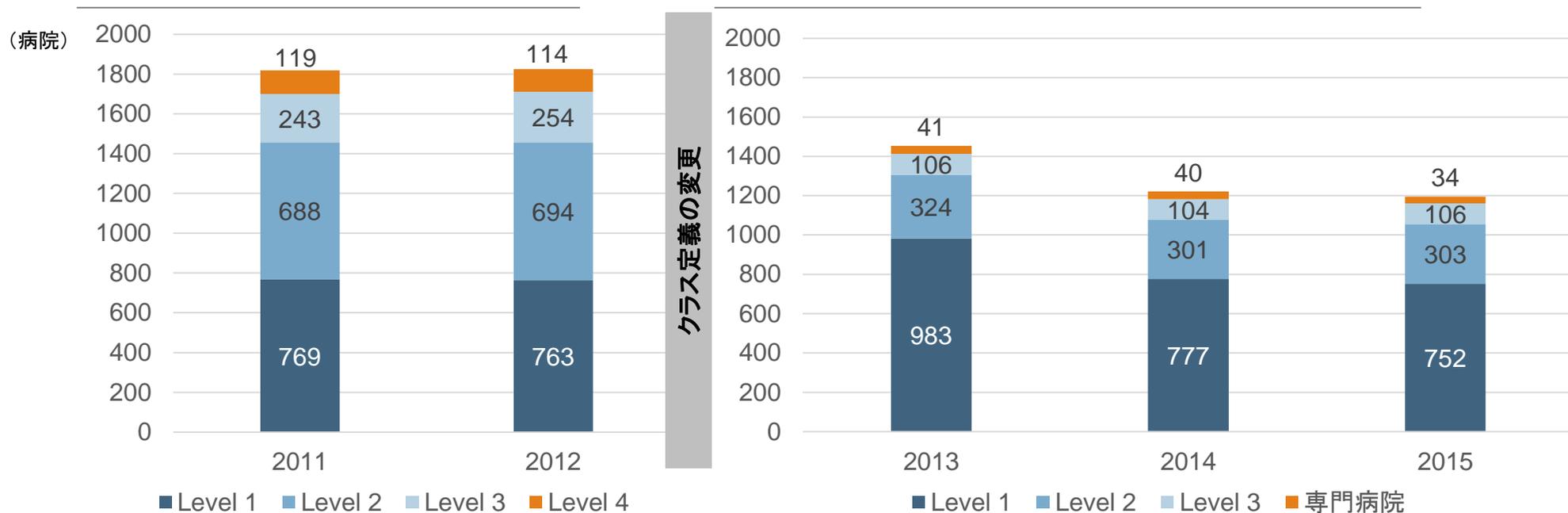
公立／私立別病院数の推移



3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等

フィリピンでは、Level1(低機能)の病院が約6割を占めている。

クラス別病院数の推移

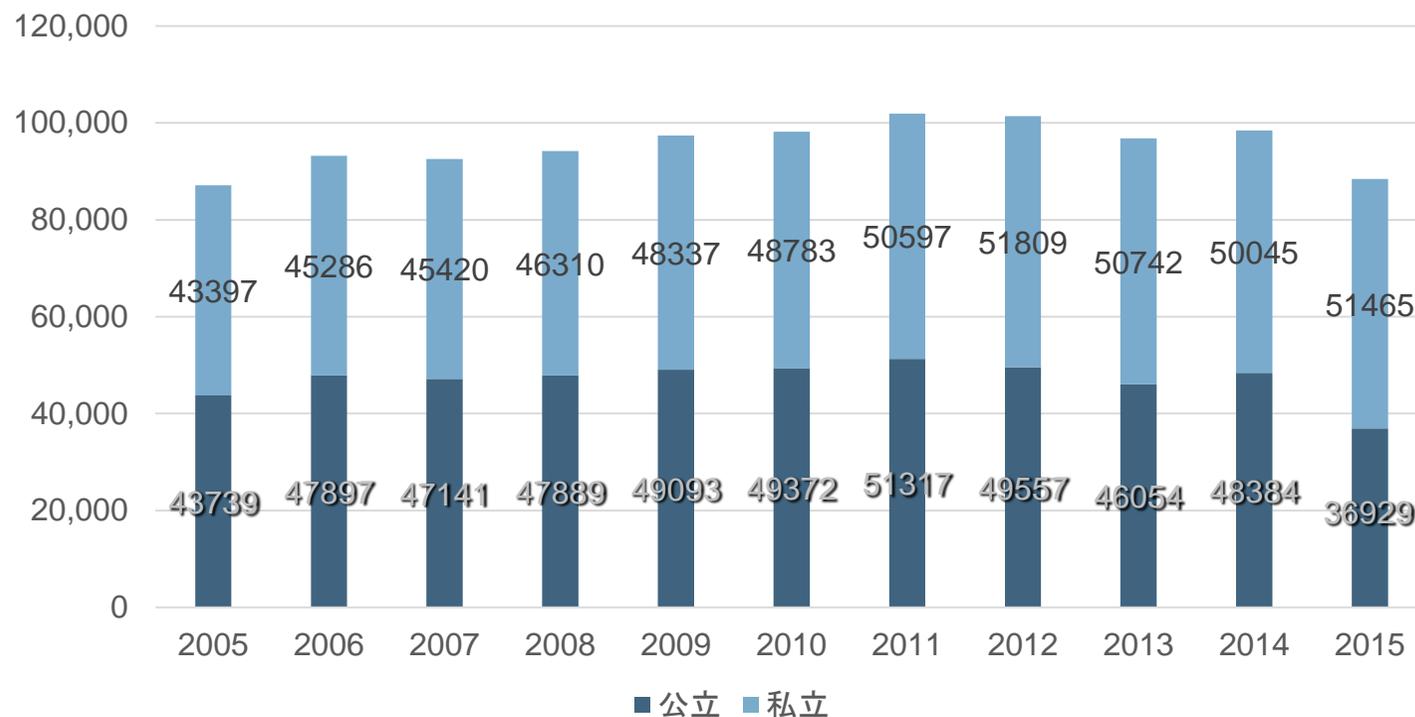


注) 公立、私立いずれも含まれる。

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況

病床数は約8万8千床である。病院統廃合の影響により病床数合計は減少している。

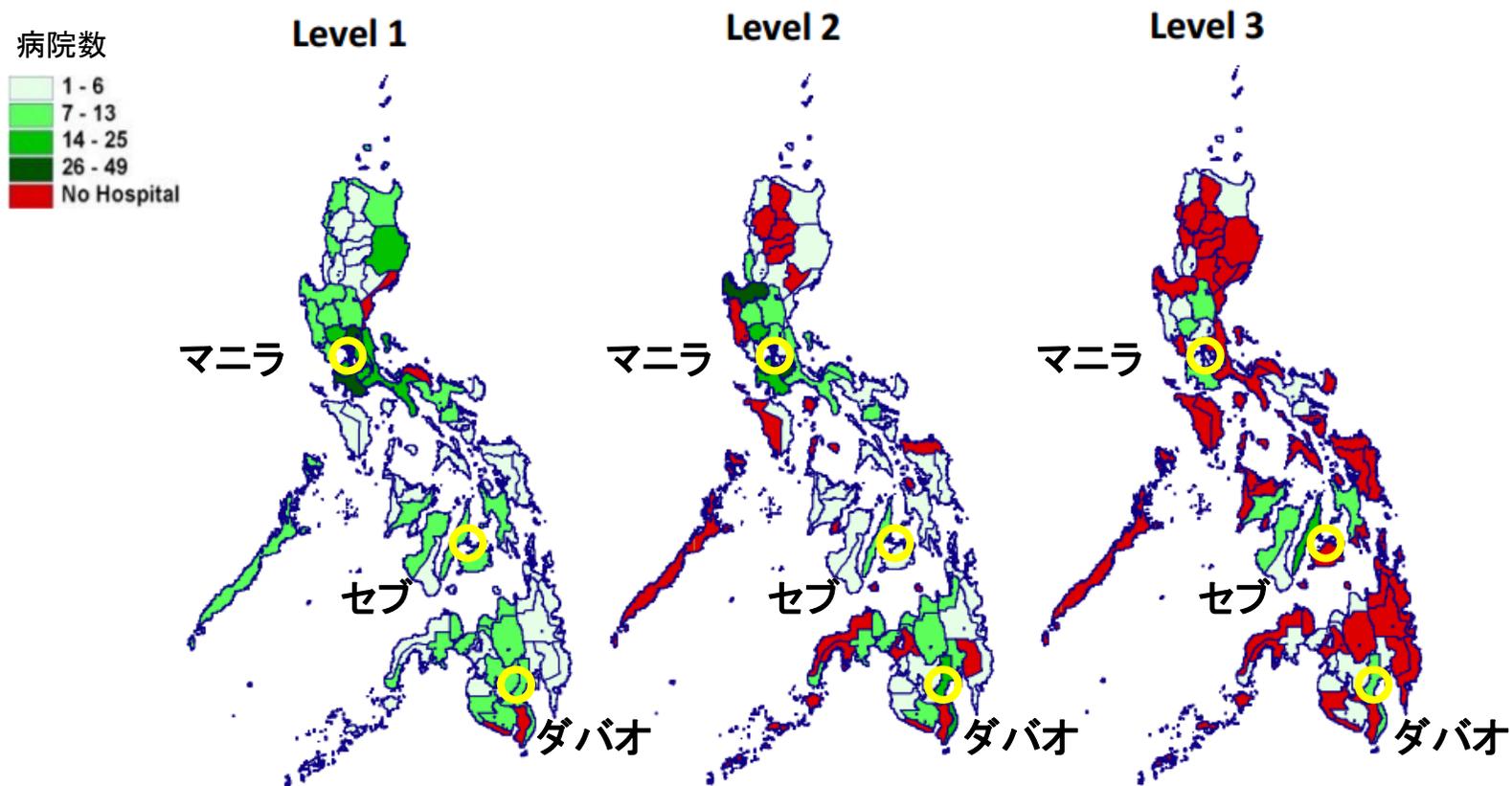
公立／私立別病床数の推移(2005～2015年)



3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況

Level 1、2の病院は国内に広く分布しているが、Level 3の病院は都市部に集中しており、地方では高い品質の医療サービス環境は整っていない。

医療機関(Level毎)の配置状況



3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況

レベル1(低機能)の代表的な病院 (2015)

地域(主要都市)	公立／私立	病院数	代表的な病院
ルソン島 (マニラ)	公立	200	<ul style="list-style-type: none"> UP Health Service San Juan Medical Center Caloocan City Medical Center Gat Andres Bonifacio Memorial Medical Center New Bilibid Prison Hospital
	私立	298	<ul style="list-style-type: none"> QC St. Agnes General Hospital Bernardino General Hospital Divine Heart Medical Service And Dev't Cooperative Hospital Dr. Montano G. Ramos General Hospital New Era General Hospital
ビサヤ島 (セブ)	公立	63	<ul style="list-style-type: none"> Dr. Rafael S. Tumbokon Memorial Provincial Hospital Culasi District Hospital Mambusao District Hospital Bailan District Hospital Aleoson District Hospital
	私立	36	<ul style="list-style-type: none"> St. Jude's Hospital, Inc. Don Rsamon Tugbang Medical Center Lopez District Farmer's Hospital, Inc. San Carlos Doctor's Hospital Paulina Lim Memorial Hospital
ミンダナオ島 (ダバオ)	公立	55	<ul style="list-style-type: none"> Dr. Jose Rizal Memorial Hospital Margosatubig Regional Hospital Camp Navarro General Hospital Mindanao Central Sanitarium Bukidnon Provincial Hospital
	私立	100	<ul style="list-style-type: none"> Dipolog Medical Center Jamelarin Hospital Pagadian Doctor's Hospital Dr. Henry M. De Villa Memorial Hospital Simbulan Sto. Nino Hospital

出所) PhilHealth「List of Accredited Hospitals as of March 31, 2015」に基づき、NRI作成

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況

レベル2(中機能)の代表的な病院 (2015)

地域(主要都市)	公立／私立	病院数	代表的な病院
ルソン島 (マニラ)	公立	30	<ul style="list-style-type: none"> • PNP General Hospital • Dr. Jose N. Rodriguez Memorial Hospital • Mandaluyong City Medical Center • Justice Jose Abad Santos General Hospital • Sta. Ana Hospital
	私立	169	<ul style="list-style-type: none"> • Marikina St. Vincent General Hospital • Marikina Valley Medical Center • Commonwealth Hospital And Medical Center • Novaliches General Hospital • Pacific Global Medical Center
ビサヤ島 (セブ)	公立	6	<ul style="list-style-type: none"> • Angel Salazar Memorial General Hospital • Roxas Memorial Provincial Hospital • Gov. Celestino Gallares Memorial Hospital • Negros Oriental Provincial Hospital
	私立	32	<ul style="list-style-type: none"> • Antique Medical Center • Capiz Emmanuel Hospital • St. Anthony College Hospital • Medicus Medical Center Corporation • Cebu North General Hospital
ミンダナオ島 (ダバオ)	公立	12	<ul style="list-style-type: none"> • Bukidnon Provincial Medical Center - Malaybalay City • Bukidnon Provincial Hospital - Maramag • Gregorio T. Lluch Memorial Hospital • Misamis Occidental Provincial Hospital • Davao Del Sur Provincial Hospital
	私立	54	<ul style="list-style-type: none"> • Malaybalay Polymedic General Hospital • Adventist Medical Center - Valencia City, Inc. • La Viña General Hospital, Inc. • Iligan Medical Center Hospital • Medina General Hospital

出所) PhilHealth「List of Accredited Hospitals as of March 31, 2015」に基づき、NRI作成

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況

レベル3(高機能)の代表的な病院 (2015)

地域(主要都市)	公立/私立	病院数	代表的な病院
ルソン島 (マニラ)	公立	28	<ul style="list-style-type: none"> Amang Rodrigues Medical Center AFP Medical Center East Avenue Medical Center Quezon City General Hospital Quirino Memorial Medical Center
	私立	46	<ul style="list-style-type: none"> Makati Medical Hospital The Medical City St. Luke's Medical Center Manila Doctor's Hospital Capitol Medical Center
ビサヤ島 (セブ)	公立	5	<ul style="list-style-type: none"> West Visayas State University Medical Center Western Visayas Medical Center Vicente Sotto Memorial Medical Center
	私立	14	<ul style="list-style-type: none"> Dr. Pablo O. Torre Memorial Hospital Iloilo Mission Hospital Iloilo Doctor's Hospital Cebu (Velez) General Hospital, Inc. Cebu Doctors' Hospital, Inc.
ミンダナオ島 (ダバオ)	公立	6	<ul style="list-style-type: none"> Zamboanga City Medical Center Northern Mindanao Medical Center Davao Regional Hospital Southern Philippines Medical Center Cotabato Regional And Medical Center
	私立	7	<ul style="list-style-type: none"> Pagadian City Medical Center Zamboanga Peninsula Medical Center Brokenshire Integrated Health Ministries, Inc. Davao Doctor's Hospital San Pedro Hospital Of Davao City

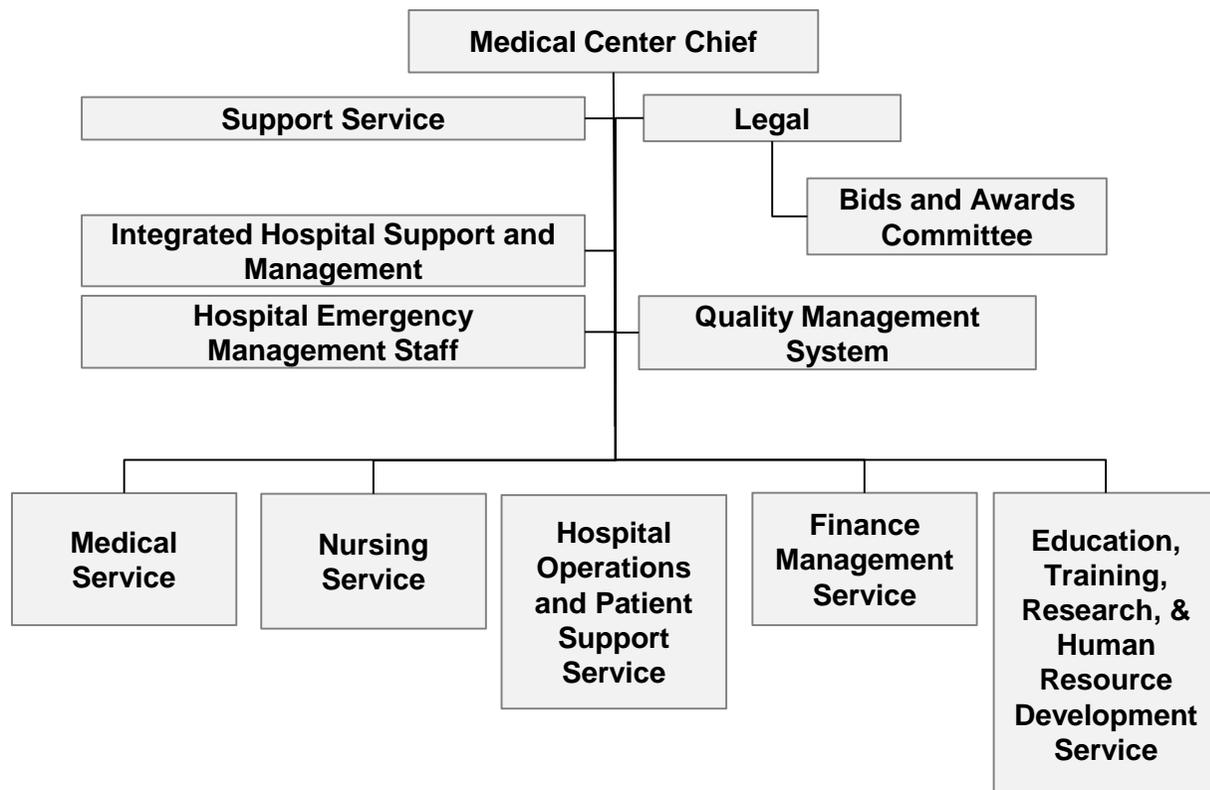
出所) PhilHealth「List of Accredited Hospitals as of March 31, 2015」に基づき、NRI作成

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況 公的病院の事例

San Lazaro Hospitalは感染症疾患治療を得意とする保健省直轄の病院。

San Lazaro Hospitalの概要と組織図

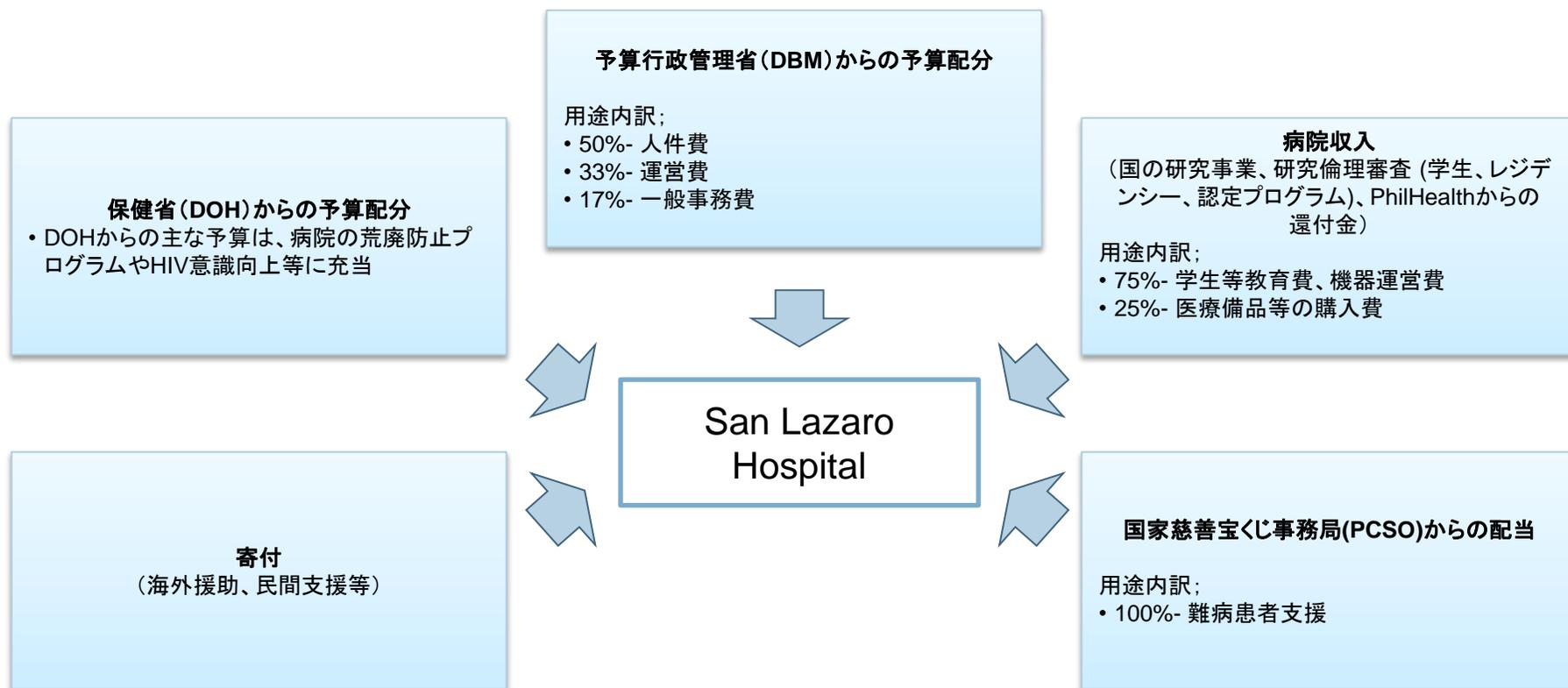
病院レベル	Level 3
病床数	500
設立年	1577年 1784年(移転)
従業員数	約2,000名
年間受入患者数	不明
日本製品の取扱	不明



3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況 公的病院の事例

San Lazaro Hospitalは多様な財源を有している。

San Lazaro Hospitalの財源と予算配分の概要

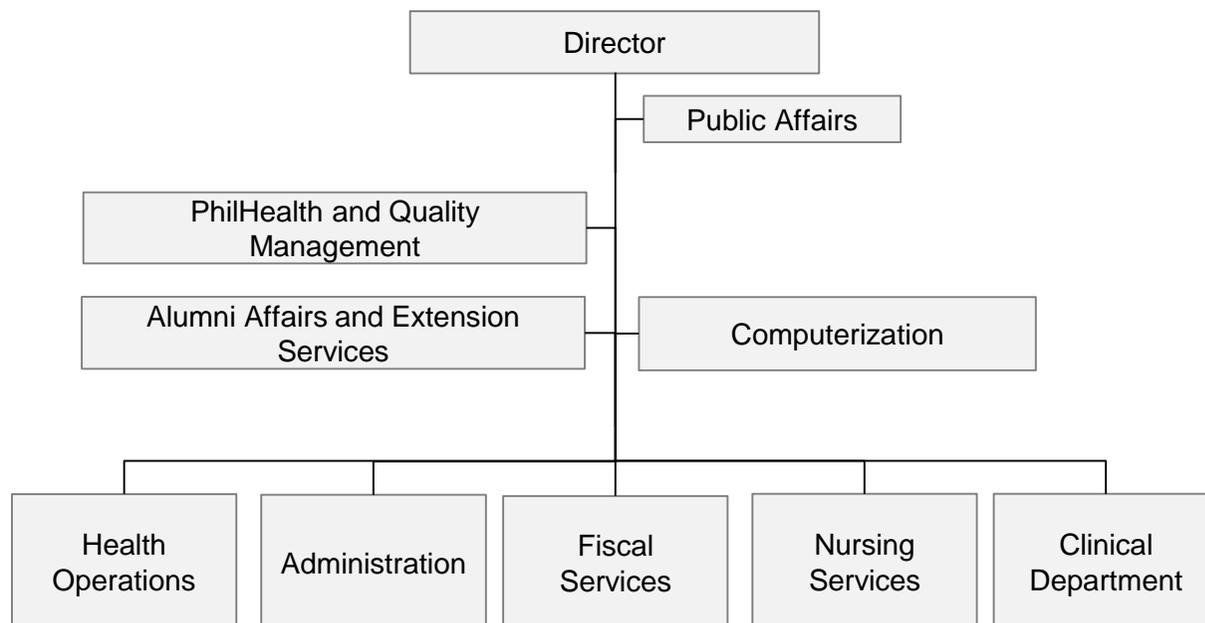


3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況 公的病院の事例

Philippine General Hospital(PGH)はフィリピン大学医学部の附属病院であり、1,500床のベッド数を有する国内最大の公的医療機関。

Philippine General Hospitalの概要と組織図

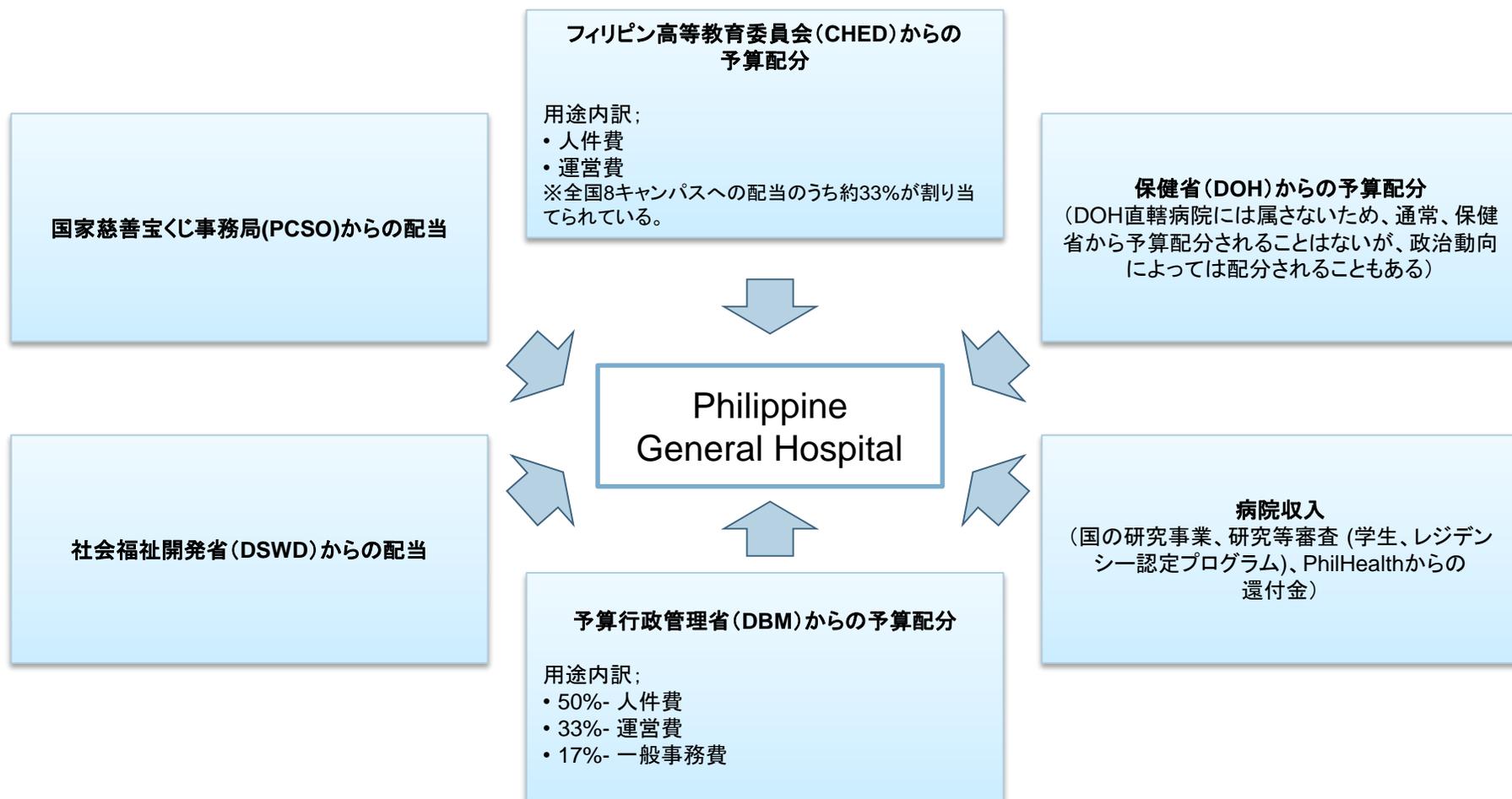
病院レベル	Level 3
病床数	1,500
設立年	1907年
従業員数	約4,000名
年間受入患者数	約60万人
日本製品の取扱	Olympus Pentax Shimadzu Omron Terumo



3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況 公的病院の事例

PGHの財源も多岐にわたるが、大学に対する配分が主であり、医療サービスの提供に対する予算配分は多くはない。

Philippine General Hospitalの財源と予算配分の概要

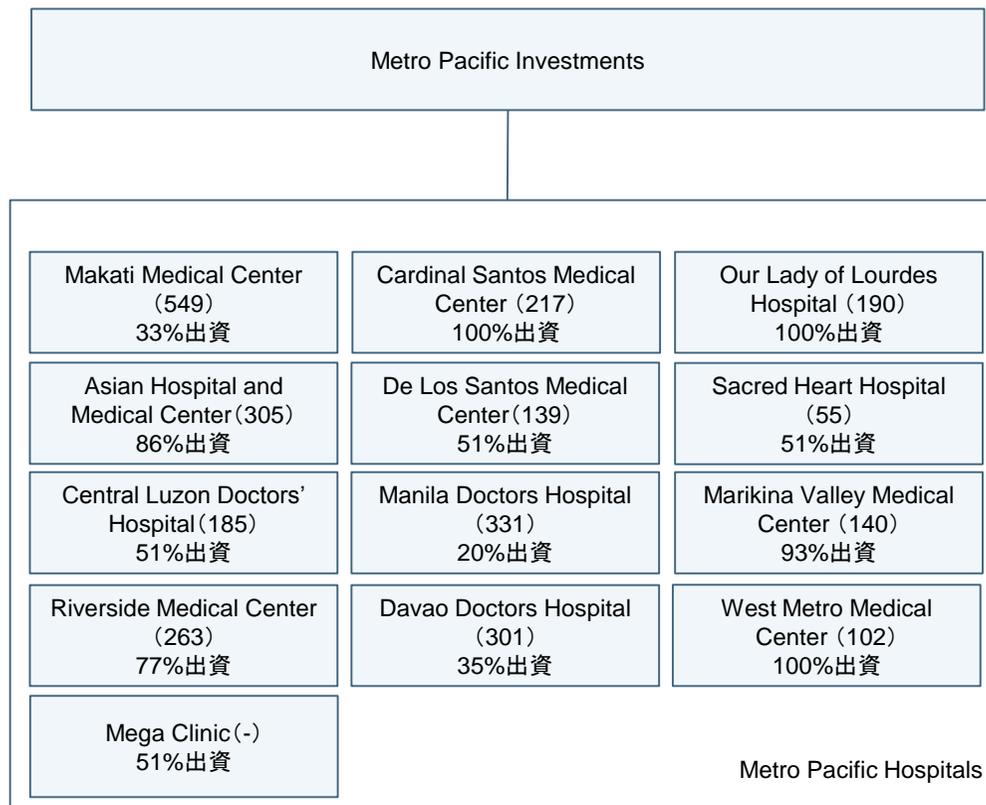


3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況 私的病院の事例

Metro Pacific Investmentsはフィリピンを拠点とする投資会社であり、フィリピン国内の病院の経営も実施している。

Metro Pacific Investmentsが関わる病院の概要

病床数	2,210(2015年時)
設立年	2006年
従業員数	医師:5,869人(2015年) 看護師:2,891人(2014年)
年間受入患者数	外来:約200万人(2015年) 入院:約13万人(2015年)
日本製品の取扱	不明



注)カッコ内はベッド数を表している。

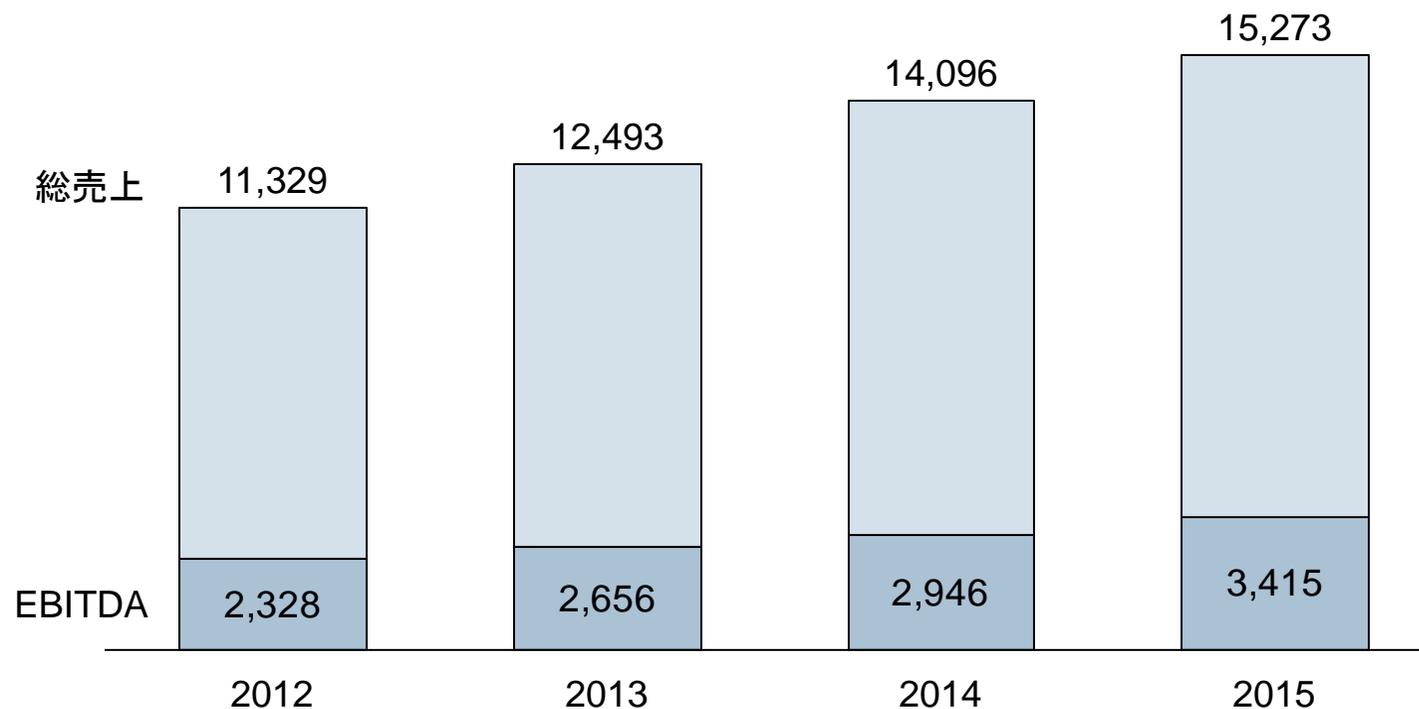
出所) METRO PACIFIC INVESTMENTS HPIに基づき、NRI作成

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況 私的病院の事例

Metro Pacific Investmentsが運営する病院の収益は増加傾向にある。

総売上 (Revenue) と EBITDA の推移 (百万ペソ)

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)



出所) METRO PACIFIC INVESTMENTS HPIに基づき、NRI作成

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況

フィリピンにおける外資系病院

- フィリピンに立地する病院は全てフィリピン人がオーナーシップをとっており、現在、外資系病院は存在しない。

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況

**フィリピンでは、質の高い医療環境整備の一環として、
医療機関における品質管理システムのISO9001認証を推進している。**

ISO9001認定の病院

1. National Kidney and Transplant Institute	13. Corazon Locsin Montelibano Memorial Regional Hospital	25. San Lorenzo Ruiz Women's Hospital	37. Dr. Jose Fabella Memorial Hospital
2. Quirino Memorial Medical Center	14. Research Institute for Tropical Medicine	26. Valenzuela Medical Center	38. Batanes General Hospital
3. Philippine Children's Medical Center	15. Bicol Medical Center	27. Southern Isabela General Hospital	39. Zamboanga City Medical Center
4. Ilocos Training and Regional Medical Center	16. Mariveles Mental Hospital	28. Talavera Extension Hospital	40. Dr. Jose N. Rodriguez Memorial Hospital
5. Region 1 Medical Center	17. Bicol Sanitarium	29. Cotabato Regional Medical Center	41. Far North Luzon General Hospital and Training Center
6. Rizal Medical Center	18. Southern Philippines Medical Center	30. Saint Anthony Mother and Child Hospital	42. San Lazaro Hospital
7. Mariano Marcos Memorial Hospital and Medical Center	19. National Children's Hospital	31. Baguio General Hospital and Medical Center	43. Northern Mindanao Medical Center
8. Paulino J. Garcia Memorial Research & Medical Center	20. Batangas Medical Center	32. Veterans Regional Hospital	44. Cagayan Valley Medical Center
9. Bataan General Hospital	21. Bicol Regional Training and Teaching Hospital	33. Talisay District Hospital	45. Don Jose Monfort Medical Center and Extension Hospital
10. Eversley Child Sanitarium	22. Vicente Sotto Memorial Medical Center	34. Western Visayas Medical Center	
11. Jose B. Lingad Memorial Regional Hospital	23. Don Emilio Del Valle Memorial Hospital	35. Tondo Medical Center	
12. East Avenue Medical Center	24. Western Visayas Sanitarium	36. Luis Hora Memorial Hospital	

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況

主なISO9001認証病院の概要

病院名	病床数	概要	コンタクト先
Dr. Jose Fabella Memorial Hospital	700	<ul style="list-style-type: none"> 1920年に6ベッドの出産クリニックとして始まり、当時の政府福祉委員会のJose Fabella博士によって設立された。 主に慈善団体のための政府病院であり、その機能は医療サービスだけでなく、医療人材の教育訓練、研究等である。 医療サービスには、3つの主要部門として産科、婦人科、小児科がある。 	<ul style="list-style-type: none"> Lope De Vega St., Sta. Cruz, Manila Philippines (+63 2) 734 5561 to65 http://fabella.doh.gov.ph
East Avenue Medical Center	600	<ul style="list-style-type: none"> 1969年に「GSIS (Gov't Service Insurance System) 総合病院」として設立され、世界的に競争力のある卓越したセンターである第三次保健省直轄病院を目指して設立されている。 	<ul style="list-style-type: none"> East Avenue, Diliman, Quezon City, Philippines (+63 2) 928-06-11 to 24 eamc.doh.gov.ph/
Vicente Sotto Memorial Medical Center	600	<ul style="list-style-type: none"> 病院運営は1911年に開始された。 ビザヤ地域における主要な第三次医療センターおよび教育/訓練医療施設として知られている。 	<ul style="list-style-type: none"> B. Rodriguez St., Sambaq II Cebu City Philippines (032) 253 9891 http://vsmmc.doh.gov.ph/
San Lazaro Hospital	500	<ul style="list-style-type: none"> 1577年の設立後、4回移転し1918年からフィリピン人が管理している国立病院。 感染症の医療センターでもある。 	<ul style="list-style-type: none"> Quiricada St., Sta. Cruz, Manila Philippines (02) 732-3777/ 78 http://slh.doh.gov.ph
Cagayan Valley Medical Center	500	<ul style="list-style-type: none"> 地方の病院である「フィリピン市民補助ユニット (PCAU)」として1945年に運営が開始された。 1985年に地域保健研究所と精神病院を開設し地域病院となった。 精神科診療で500ベッドのうち200人を利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> Dalan na Pagayaya, Regional Government Center, Carig Sur, Tuguegarao City, Cagayan, Philippines (078) 302-0000 http://cvmmc.doh.gov.ph/

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況

ISO9001認証病院の基礎情報(認証順)(1/3)

病院名	レベル	病床数(2015)	オーナーシップ	所在地
1. National Kidney and Transplant Institute	Level 3	250	Government	East Avenue, Diliman, Quezon City, Metro Manila
2. Quirino Memorial Medical Center	Level 3	300	Government	Katipunan Road, Project 4, Quezon City, Metro Manila
3. Philippine Children's Medical Center	Level 3	200	Government	Quezon Avenue Corner Agham Road, Diliman, Quezon City, Metro Manila
4. Ilocos Training and Regional Medical Center	Level 3	200	Government	Parian, San Fernando City, La Union
5. Region 1 Medical Center	Level 3	300	Government	Arellano St., Dagupan City, Pangasinan
6. Rizal Medical Center	Level 3	300	Government	Pasig Boulevard, Bagong Ilog, Pasig City, Metro Manila
7. Mariano Marcos Memorial Hospital and Medical Center	Level 3	200	Government	6 San Julian, Batac, Ilocos Norte
8. Paulino J. Garcia Memorial Research & Medical Center	Level 3	400	Government	Mabini St., Cabanatuan City, Nueva Ecija
9. Bataan General Hospital				City of Balanga, Bataan
10. Eversley Child Sanitarium	Level 1	50	Government	North Road, Jagobiao, 6014 Mandaue City, Cebu
11. Jose B. Lingad Memorial Regional Hospital	Level 3	250	Government	Barangay Dolores, San Fernando City, Pampanga
12. East Avenue Medical Center	Level 3	600	Government	East Avenue, Diliman, Quezon City, Metro Manila
13. Corazon Locsin Montelibano Memorial Regional Hospital	-	-	-	Lacson St, Bacolod, 6100 Negros Occidental
14. Research Institute for Tropical Medicine	Level 3	50	Government	Filinvest Corporate City, Alabang, Muntinlupa City, Metro Manila
15. Bicol Medical Center	Level 3	450	Government	Concepcion Pequeña, Naga City, Camarines Sur
16. Mariveles Mental Hospital	-	-	-	P. Monroe St, Mariveles, 2105 Bataan

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況

ISO9001認証病院の基礎情報(認証順)(2/3)

病院名	レベル	病床数(2015)	オーナーシップ	所在地
17. Bicol Sanitarium	Level 1	450	Government	San Pedro, Cabusao, Camarines Sur
18. Southern Philippines Medical Center	Level 3	400	Government	J.P. Laurel Ave., Davao City, Davao Del Sur
19. National Children's Hospital	Level 3	250	Government	266 E. Rodriguez Sr. Boulevard, Quezon City
20. Batangas Medical Center	Level 3	200	Government	Bihi Road Kumintang Ibaba, Batangas City Batangas
21. Bicol Regional Training and Teaching Hospital	Level 3	250	Government	Rizal Street, Legazpi City Albay
22. Vicente Sotto Memorial Medical Center	Level 3	600	Government	B. Rodriguez St., Sambag li, 6000 Cebu City Cebu
23. Don Emilio Del Valle Memorial Hospital	Level 1	50	Government	Bood, 6315 Ubay Bohol
24. Western Visayas Sanitarium	Level 1	300	Government	Sta. Barbara, Iloilo
25. San Lorenzo Ruiz Women's Hospital	Level 1	10	Government	144 O. Reyes St., Rosita Subd., Santulan, Malabon
26. Valenzuela Medical Center	Level 3	100	Government	Padrigal St., Karuhatan, Valenzuela City
27. Southern Isabela General Hospital	Level 2	200	Government	Corner Recto Avenue, Zamora St., Brgy. Rosario, Santiago City, Isabela
28. Talavera Extension Hospital				Talavera, Nueva Ecija
29. Cotabato Regional Medical Center	Level 3	200	Government	Sinsuat Ave., Cotabato City Cotabato
30. Saint Anthony Mother and Child Hospital	Level 1	25	Government	Rizal Avenue Extension, Basak, San Nicolas, 6000 Cebu City, Cebu
31. Baguio General Hospital and Medical Center	Level 3	400	Government	Gov. Pack Road, Baguio City Benguet
32. Veterans Regional Hospital	Level 2	200	Government	Magsaysay, Bayombong Nueva Vizcaya

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 医療インフラ整備状況

ISO9001認証病院の基礎情報(認証順)(3/3)

病院名	レベル	病床数(2015)	オーナーシップ	所在地
33. Talisay District Hospital	Level 1	25	Government	San Isidro, Talisay, Cebu
34. Western Visayas Medical Center	Level 3	300	Government	Q. Abeto St., Iloilo City Iloilo
35. Tondo Medical Center	Level 3	200	Government	Honorio Lopez Boulevard., Balut, Manila
36. Luis Hora Memorial Hospital	Level 2	75	Government	Abatan Bauko Mountain Province
37. Dr. Jose Fabella Memorial Hospital	Level 3	700	Government	Lope De Vega St., Manila
38. Batanes General Hospital	Level 1	75	Government	National Road, Kayhuvokan, Basco, Batanes
39. Zamboanga City Medical Center	Level 3	400	Government	Dr. Evangelista St., Sta. Catalina Zamboanga City Zamboanga Del Sur
40. Dr. Jose N. Rodriguez Memorial Hospital	Level 2	200	Government	Dr. Uyguanco Street, Tala, Caloocan City, Metro Manila
41. Far North Luzon General Hospital and Training Center	Level 1	100	Government	Brgy. Quirino Luna Apayao
42. San Lazaro Hospital	Level 3	500	Government	Quiricada St., Manila, Metro Manila
43. Northern Mindanao Medical Center	Level 3	300	Government	Capitol Compound, Cagayan De Oro City, Misamis Oriental
44. Cagayan Valley Medical Center	Level 3	500	Government	Maharlika Highway, Tuguegarao City Cagayan
45. Don Jose Monfort Medical Center and Extension Hospital	Level 1	25	Government	Brgy. Tabucan Barotac Nuevo Iloilo

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力

フィリピンにおける医学会等の位置付け

- フィリピンにおける医学会等は、非営利の独立団体(政府機関による認証等はない)である。
- 組織の役割・機能は各学会等によって大きく異なっている。

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力

フィリピン医療機器規制協会(Philippine Association of Medical Device Regulatory Affairs Professionals)は、規制に関する政府対話の窓口となる組織。

学会名称	フィリピン医療機器規制協会 (Association of Medical Device Regulatory Affairs Professionals)
設立時期	不明 (2011年にフィリピン証券取引所に登録されている)
概要	<ul style="list-style-type: none"> フィリピンにおける医療機器のメーカーにおける規制業務担当者がメンバーとなっている。 医療機器の規制に関する政府 (主に、機器規則・放射線医療研究センター: CDRRHR) との対話を通じて、国内医療機器産業の振興に寄与することを活動目標としている。 主な活動は以下の通り <ol style="list-style-type: none"> 医療機器規制に関する政府との対話 医療機器の規制に関する情報交換や相互支援 メンバー間における技術的問題の審議
キーパーソン	不明
会員数	<p>不明 (参画企業は以下の通り)</p> <p>RHOEL G. LADERAS, President, BAXTER HEALTHCARE PHILS., INC., MICHELLE P. MENDADOR, Vice President, ALCON LABORATORIES (PHILS.), INC., JOHANNA G. GULLE, Secretary, BECTON DICKINSON PHILS., INC., CLAIRE G. CACANINDIN, Treasurer, JOHNSON & JOHNSON (PHILS), INC., JENNIFER D. CONCEPCION, Auditor, BOSTON SCIENTIFIC PHILS., INC., GRACE V. VIRATA, P.R.O., 3M PHILIPPINES, INC.</p> <p>ANNA LUZ R. NAVATA, Director, MEDICAL CENTER TRADING CORP., MA. CRISTINA D. FADERAGAO, Director, TERUMO (PHILIPPINES) CORP., CHARMAINE C. ROSON, Director, TERUMO MARKETING PHILS., INC., GRACE D. OLYMPIA, Director, HOSPIRA PHILIPPINES, INC.</p>
連絡先	<p>メール: secretariat@pamdrap.org</p> <p>ホームページ: https://pamdrap.org</p>

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力

フィリピン医薬品・ヘルスケア協議会は、業界の代表として、事業者の適正な医薬品開発の保証や事業者の行動規範の策定等を行っている。

学会名称	フィリピン医薬・ヘルスケア協議会 (Pharmaceutical and Healthcare Association of the Philippines: PHAP)
設立時期	1946 年
主要業務	<ul style="list-style-type: none">フィリピンにおいて医薬品およびヘルスケア産業の業界代表を務める研究開発段階から医薬品のマーケティングまで倫理基準に従って会員が実施することを保証する医薬品およびヘルスケア産業のモラル実践のための行動規範の策定や他の国際行動規範を参照する「Integrity and Proficiency Program for the Pharmaceutical Sector」と呼ばれる訓練とプログラムの開発を行う
キーパーソン	<ul style="list-style-type: none">PHAP Officers and Trustees, 2015: President: Dr. Beaver Tamesis, President and Managing Director, MSD Vice President: Ms. Theresa Martinez, General Manager, Roche Philippines Treasurer: Mr. Raymond Azurin, President and CEO, Zuellig Pharma Corp. Trustees: Lynn Baxter (GSK Philippines, Inc.), Carlito Realuyo (Sanofi-Aventis Phils, Inc.), Gabriel Georgy (Takeda healthcare Phils, Inc.), Ramonito Tamos (Merck, Inc.), Teodoro Padilla (Executive Director PHAP), Ninia Torres (A. Menarini Philippines, Inc.)
会員数	38 機関(企業等)
連絡先	住所: Unit 502 One Corporate Plaza, 845 Pasay Road, Makati City Philippines 電話: (+63 02) 865 5600 メール: phap7346@phap.org.ph ホームページ: http://www.phap.org.ph/

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力

フィリピンの医師会・学会等一覧【学会】(1 of 11)

名称(日本語)	名称	住所	Contact Info
フィリピン疼痛・陣痛学会	Pain Society of the Philippines	Unit 205 Garden Heights Condominium, 269 E. Rodriguez Sr. Avenue, Quezon City	Tel: +63 (2) 721-2700; 697-3824
フィリピン臨床・化粧品皮膚科学会	Philippine Academy of Clinical and Cosmetic Dermatology	Suite 211 De Ocampo Memorial Medical Center 2921 Nagtahan St., Sta. Mesa, Manila, Philippines	Tel: +63 (2) 714-4284
フィリピン麻酔学会	Philippine Society of Anesthesiologists	Room 102 PMA Building, North Ave., Diliman, Quezon City	Tel:+63 (2) 929-5852, 455-8263 to 64r
フィリピン放射線腫瘍学会	Philippine Radiation Oncology Society	Units 807/809 Future Point Plaza 1, 112 Panay Avenue, South Triangle Quezon City	Tel: +63 (2) 373-8462, 374-3299
フィリピン婦人科内視鏡検査学会	Philippine Society for Gynecologic Endoscopy	G/F, POGS Building, 56 Malakas St., Diliman, Quezon City	Tel: +63 (2)332-5281
フィリピン婦人科腫瘍学会	Society of Gynecologic Oncologists of the Philippines	Unit 414 Manila Astral Towers, 1330 Taft Avenue, cor Padre Faura St., Ermita, Manila	Tel: +63 (2) 353-1688
フィリピン不妊及び生殖内分泌学学会	Philippine Society of Reproductive Endocrinology and Infertility	G/F, POGS Bldg., 56 Malakas St., Diliman, Quezon City	Tel: +63 (2) 920-9565
フィリピン美容外科学会	Philippine Academy of Aesthetic Surgery	Lower Ground Floor, CTTM Bldg. Tomas Morato St. cor. Timog Ave., Quezon City, Philippines	Tel: +63 (2) 227-4105
フィリピン美容整形学会	Philippine Society for Cosmetic Surgery	Room 505, Cityland 3 Building, Rufino Street, Legaspi Village, Makati City, Metro Manila, Philippines	Tel: +63 (2)819-2966

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力

フィリピンの医師会・学会等一覧【学会】(2 of 11)

名称(日本語)	名称	住所	Contact Info
フィリピン美容・抗加齢(アンチエイジング)学会	Philippine Academy of Aesthetic and Age Management Medicine	No. 75 Unit 4 Midtown Square, Scout Dr. Lazcano, Laging Handa, Quezon City	Email: paaammi12@yahoo.com.ph
フィリピン肥満学会	Philippine Association for the Study of Overweight and Obesity	Unit 2002, 25/F Floor Medical Plaza Building, San Miguel Ave, Ortigas Center, Pasig City	Tel: +63 (2) 359-9268
フィリピン皮膚外科学会	Philippine Academy of Dermatologic Surgery Foundation	Suite 1510 Medical Plaza Ortigas, San Miguel Avenue, Pasig City	Tel: +63 (2) 910-1097
フィリピン皮膚科学会	Philippine Dermatological Society	Room 1015 South Tower, Cathedral Heights Building Complex, St. Luke's Medical Center, E. Rodriguez Sr. Ave, Quezon City	Tel: +63 (2) 723-0101 loc 2015
フィリピン脳卒中学会	Stroke Society of the Philippines	Room 1403, 14/F North Tower, Cathedral Heights Building Complex, St. Luke's Medical Center, E. Rodriguez Sr. Ave., Quezon City	Tel: +63 (2)723-0101 loc 5143
フィリピン頭頸部外科学会	Philippine Academy for Head and Neck Surgery	c/o 3/F, PCS Bldg., 992 EDSA, Quezon City	Tel: +63 (2) 512-9870; 927-4973
フィリピン糖尿病学会	Philippine Society of Diabetologists	L4,B52 Apitong St., Marikina Heights, Marikina City	Tel: +63 (2)941-9856
フィリピン超音波臨床医学学会	Philippine Society of Ultrasound in Clinical Medicine	Unit 517, Bayo Condotel and Suite, No. 6 Scout Bayoran cor. Scout Tuazon, Brgy. South Triangle, Quezon City	Tel: +63 (2) 352-8142
フィリピン超音波学会	Ultrasound Society of the Philippines	U-807 and 809 Future Point Plaza 1, 112 Panay Avenue, South Triangle, Quezon City	Tel: +63 (2) 373-8462, 374-3299

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力

フィリピンの医師会・学会等一覧【学会】(3 of 11)

名称(日本語)	名称	住所	Contact Info
フィリピン腸内栄養学会	Philippine Society for Parenteral and Enteral Nutrition	Cathedral Heights Building Complex, Suite 706, St. Luke's Medical Center, Quezon City	Tel: +63 (2)7230101 local 5706
フィリピン中国人医学会	Filipino Chinese Medical Society	Chinese General Hospital and Medical Center (ground fl. FilChi – Library office) 286 Blumentritt St., Sta. Cruz, Manila	Tel: +63 (2)743-2097 or 7114141 loc 216
フィリピン創傷ケア学会	Philippine Wound Care Society	1207 South Tower Cathedral Heights Building Complex, 279 E. Rodriguez Sr. Blvd., Quezon City	Tel: +63 (2) 211 8512
フィリピン専門医学会	Philippine Academy of Medical Specialists	Penthouse B, 6th Floor, DSL Building 380 Del Monte Avenue, SFDM Quezon City	Tel: +63 (2) 414-5582
フィリピン精神医学会	Philippine Psychiatric Association	Unit 1011, 10th floor, Medical Plaza Bldg., San Miguel Avenue, Ortigas Center, Pasig City	Tel: +63 (2) 635-9858
フィリピン整形外科学会	Philippine Orthopaedic Association	W2106B, Philippine Stock Exchange Building, Exchange Rd., Brgy. San Antonio, Ortigas Center, Pasig City	Tel: +63 (2) 667-3926; 667-3946
フィリピン睡眠薬学会	Philippine Society of Sleep Medicine	Comprehensive Sleep Disorder Center, St. Luke's Medical Center, 279 E. Rodriguez Sr., Blvd., Quezon City	Tel: +63 (2) 727-5559
フィリピン腎臓学会	Philippine Society of Nephrology	Room 2460 One San Miguel Avenue Condominium, San Miguel Avenue, Ortigas Center, Pasig City	Tel: +63 (2)687-1198
フィリピン神経学会	Philippine Neurological Association	Room 1006 Rear Tower Cathedral Heights Building Complex, St. Luke's Medical Center, E. Rodriguez Sr. Ave., Quezon City	Tel: +63 (2) 723-0101
フィリピン腸内栄養学会	Philippine Society for Parenteral and Enteral Nutrition	Cathedral Heights Building Complex, Suite 706, St. Luke's Medical Center, Quezon City	Tel: +63 (2)7230101 local 5706

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力

フィリピンの医師会・学会等一覧【学会】(4 of 11)

名称(日本語)	名称	住所	Contact Info
フィリピン神経外科学会	Academy of Filipino Neurosurgeons	Rm 911-913, South Tower CHBC Bldg., St. Luke's Medical Center, Quezon City	Tel: +63 (2) 723-0301 loc. 2911
フィリピン心臓血管麻酔学会	Philippine Society of Cardiovascular Anesthesiologist	Philippine Heart Center, Anesthesia Office, East Avenue, Quezon City	Tel: +63 (2)925-2401 loc. 2268
フィリピン消火器内視鏡学会	Philippine Society of Digestive Endoscopy	Suite 419-420 Prince David Condominium, 305 Katipunan Ave., Loyola Heights, Quezon City	Tel: +63 (2)928-3768; 928-7014
フィリピン小児肺炎医学会	Philippine Academy of Pediatric Pulmonologists	4th Floor PPS Building, 52 Kalayaan Ave., Brgy. Malaya Avenue, Quezon City	Tel: +63 (2) 332-8855
フィリピン小児腎臓学会	Pediatric Nephrology Society of the Philippines	PPS Building, Kalayaan Ave, Quezon City	Tel: +63 (2) 687-1198, 399-5121
フィリピン小児神経学会	Child Neurology Society of the Philippines	Room 913 South Cathedral Building Complex, St. Luke's Medical Center, E. Rodriguez, Quezon City	Tel: +63 (2)723-0101 loc. 2911
フィリピン小児歯科学会	Philippine Pediatric Dental Society	5/F Medical Arts Building, Dr. Fe Del Mundo Medical Center, 11 Banawe cor. Cardiz St., Quezon City	Email: ppdsi1993@gmail.com
フィリピン小児救命救急医学会	Society of Pediatric Critical Care Medicine Philippines	Pediatric Intensive Care Unit, Philippine Children's Medical Center, Quezon Avenue, Quezon City	Tel: +63 (2) 926-6601 local 262
フィリピン小児感染症学会	Pediatric Infectious Disease Society of the Philippines	Unit 4 Metro Square Town Homes, 35 Scout Tuazon, Cor Scout De Guia, Quezon City	Tel: +63 (2) 374-1855
フィリピン神経外科学会	Academy of Filipino Neurosurgeons	Rm 911-913, South Tower CHBC Bldg., St. Luke's Medical Center, Quezon City	Tel: +63 (2) 723-0301 loc. 2911

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力

フィリピンの医師会・学会等一覧【学会】(5 of 11)

名称(日本語)	名称	住所	Contact Info
フィリピン小児科学会	Philippine Pediatric Society	#52 Kalayaan Ave, Brgy. Malaya, Diliman, Quezon City	Tel: +63 (2) 926-6758, 926-6759
フィリピン小児・婦人科学会	Pediatric and Adolescent Gynecology Society of the Philippines	Postpartum Unit 2F, Philippine Children's Medical Center, Quezon Ave., Quezon City	Tel: +63 (2) 924-6601 loc 236 or 322
フィリピン腫瘍学会	Philippine Society of Oncology, Inc.	Rm. 803, North Tower, Cathedral Heights Building Complex, St. Luke's Medical Center, E. Rodriguez Sr. Ave., Quezon City, 1102 Philippines	Tel: +63 (2) 723-0301 local 5803
フィリピン耳鼻咽喉科学会－頭頸部外科	Philippine Society of Otolaryngology-Head and Neck Surgery	Unit 2512, 25/F Medical Plaza Ortigas Condominium, San Miguel ave., Ortigas Center, Pasig City	Tel: +63 (2)633-8344
フィリピン脂質及びアテローム性動脈硬化症学会	Philippine Lipid and Atherosclerosis Society	Unit H- 11th Floor Strata 100 Bldg., Ortigas Avenue, 1605 Pasig City	Tel: +63 (2) 687-7073; 687-2841
フィリピン産婦人科学会	Philippine Obstetrical and Gynecological Society	POGS Building, 56 Malakas St., Diliman, Quezon City	Tel: +63 (2) 921-7557; 435-2384; 435-2385
フィリピン産科麻酔学会	Society for Obstetrics Anesthesia of the Philippines	Rm. 303, 3/F, Philippine College of Surgeons Building, 992 EDSA, Quezon City	Tel: +63 (2)926-0755, 455-3161
フィリピン血管外科学会	Philippine Society for Vascular Surgery	National Kidney and Transplant Institute, Quezon City	Tel: +63 (2)924-3601
フィリピン小児科学会	Philippine Pediatric Society	#52 Kalayaan Ave, Brgy. Malaya, Diliman, Quezon City	Tel: +63 (2) 926-6758, 926-6759
フィリピン血液学及び輸血学会	Philippine Society of Hematology and Blood Transfusion	Room 1404 North Tower Cathedral Heights Building Complex, St. Luke's Medical Center, Quezon City	Tel: +63 (2)723-0301 loc 5304

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力

フィリピンの医師会・学会等一覧【学会】(6 of 11)

名称(日本語)	名称	住所	Contact Info
フィリピン結核学会	Philippine Tuberculosis Society	Quezon Institute Compound, E. Rodriguez Ave., Quezon City	Tel: +63 (2) 781-3761 to 65
フィリピン眼科学会	Philippine Academy of Ophthalmology	Unit 815 Medical Plaza, Makati Condominium, Amorsolo cor Dela Rosa St., Legaspi Village, Makati City	Tel: +63 (2) 813-5318; 813-5324
フィリピン肝臓学会	Hepatology Society of the Philippines	Suite 418 Prince David Condominium, 305 Katipunan Avenue, Loyola Heights, Quezon City	Tel: +63 (2)961-3014
フィリピン核医学会	Philippine Society of Nuclear Medicine	Department of Nuclear Medicine, Philippine Heart Center, East Avenue, Diliman, Quezon City	Tel: +63 (2)926-7015 or 925-2401 loc 2164 or 2165
フィリピン外傷外科学会	Philippine Society for the Surgery of Trauma	c/o 4/F, PCS Bldg., 992 EDSA, Quezon City	Tel:+63 (2)824-7778
フィリピン家庭医学会	Philippine Academy of Family Physicians	2244 Taft Ave., Malate, Metro Manila	Tel: +63 (2) 254-2900
フィリピン移植外科学会	Philippine Society of Transplant Surgeons	c/o National Kidney and Transplant Institute Quezon City	Tel: +63 (2) 924-3601
フィリピンリハビリ医学会	Philippine Academy of Rehabilitation Medicine	Room 808-810 Future Point 1 Plaza, 112 Panay Ave., Quezon City	Tel: +63 (2) 415-9048; 410-1597
フィリピンリウマチ学会	Philippine Rheumatology Association	Room 1408, 14/F North Tower, Cathedral Heights Building Complex, St. Luke's Medical Center, E. Rodriguez Ave, Quezon City	Tel: +63 (2) 723-0101 loc 5148
国際専門医学会	International Academy of Medical Specialists	Penthouse B 6th Flr. DSL Bldg. 380 Del Monte Avenue, San Francisco Del Monte, Quezon City	Tel: +63 (2)414-5582
フィリピン糖尿病会 (国際糖尿病連盟の支部)	Diabetes Philippines (International Diabetes Federation)	Unit 25, Facilities Center, 548 Shaw Boulevard Mandaluyong City	Tel: +63 (2) 534-9559 or 531-1278

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力

フィリピンの医師会・学会等一覧【協会】(7 of 11)

名称(日本語)	名称	住所	Contact Info
フィリピン私立病院協会	Private Hospitals Association of the Philippines	Room 113, PMA Bldg., North Avenue, Quezon City	Tel: +63 (2)929-7386
フィリピン臨床心電図協会	Philippine Association of Clinical Electrocardiography	St. Luke's Medical Center, Cathedral Heights Building Complex, E. Rodriguez Ave., Quezon City	Tel: +63 (2) 7230101 loc 5608
フィリピン微生物及び感染症協会	Philippine Society for Microbiology and Infectious Diseases	2/F PSMID Bldg, 116 9th ave, Cubao, Quezon City	Tel: +63 (2)912-6036; 911-6986
フィリピン泌尿器協会	Philippine Urological Association	3/F Philippine College of Surgeons, 992 EDSA, Quezon City	Tel: +63 (2)454-4439
フィリピン認知症協会	Dementia Society of the Philippines	Room 440 Clinical Division Building,, University of Santo Thomas, Espana, Manila	Tel: +63 (2)749-9707, 740-9725
フィリピン乳がん協会	Philippine Breast Cancer Society	G/F, Chinese General Hospital and Medical Center, 286 Blumentritt St., Sta. Cruz, Manila	Tel: +63 (2) 711-4141 loc 448
フィリピン心臓協会	Philippine Heart Association	Suite 1108, 11th Floor East Tower, PSE Center, Exchange Rd., Ortigas Center, Pasig City	Tel: +63 (2) 470-5525, 470-5528
フィリピン小児の行動科学と発達協会	Philippine Society for Developmental and Behavioral Pediatrics	4th Floor Philippine Pediatric Society (PPS) Building, 52 Kalayaan Avenue, Barangay Malaya, Quezon City	Tel: +63 (2)434-3946
フィリピン周産期協会	Perinatal Association of the Philippines	Room 403, PPS Building, # 52 Kalayaan Avenue, Brgy. Malaya, Diliman, Quezon City	Tel: +63 (2) 925-3538

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力

フィリピンの医師会・学会等一覧【協会】(8 of 11)

名称(日本語)	名称	住所	Contact Info
フィリピン歯科矯正協会	Association of Philippine Orthodontists	Unit 525-C, Level 5, Shangri-La Plaza Mall, EDSA cor. Shaw Blvd., Mandaluyong City	Tel: +63 (2) 638-9244, 638-9245
フィリピン歯科協会	Philippine Dental Association	2012 Ayala Ext., cor Kamagong Street, Makati City	Tel: +63 (2) 890-4609; 897-8091
フィリピン子宮頸部病理学及びコルポスコピー協会	Philippine Society for Cervical Pathology and Colposcopy, Inc.	Unit 414 Manila Astral Tower, 1330 Taft Ave., cor Padre Faura, Ermita, Manila	Tel: +63 (2) 353-1688; 5264787
フィリピン外来小児協会	Philippine Ambulatory Pediatric Association	Unit 1409 Balagtas Royal Mansion, 168 Balagtas St., Pasay City, Philippines	Tel: +63 (2) 525-1797
フィリピン院内感染管理協会	Philippine Hospital Infection Control Society	116 PSMID Building, 9th Avenue, Cubao, Quezon City	Tel: +63 (2) 913-2852
フィリピン一般外科協会	Philippine Society of General Surgeons	Philippine College of Surgeons Building, 992 EDSA, Quezon City	Tel: +63 (2)926-8432; 456-8411
フィリピンアレルギー、喘息、免疫学協会	Philippine Society of Allergy, Asthma and Immunology	Room 305 Medical Arts Building, Dr. Fe del Mundo Medical Center, 11 Banawe St., Quezon City	Tel: +63 (2) 712-9432
フィリピンアルツハイマー協会	Alzheimer's Disease Association of the Philippines	Room 410 Medical Arts Building, St. Luke's Medical Center, Quezon City	Tel: +63 (2)723-1039
ケソン市医療協会	Quezon City Medical Society	Room 110 PMA Bldg. North Ave., Diliman Quezon City	Tel: +63 (2) 921-3998 or 929-7385
フィリピンプラスチック再建術及び審美外科協会	Philippine Association of Plastic Reconstructive and Aesthetic Surgeons	3/F Philippine College of Surgeons Bldg., 992 EDSA, Quezon City	Tel: +63 (2) 456-1238

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力

フィリピンの医師会・学会等一覧【職能団体】(9 of 11)

名称(日本語)	名称	住所	Contact Info
フィリピン医師会	Philippine Medical Association	PMA Building, North Avenue, Quezon City	Tel: +63 (2) 926-2447, 929-6366
フィリピン学校医師学会	Philippine Academy of Physicians in School Health	153-A Scout Limbaga, Brgy. Sacred Heart, Quezon City	Email: PAPSHInc@yahoo.com
フィリピン腹腔鏡医及び内視鏡医協会	Philippine Association of Laparoscopic and Endoscopic Surgeons	3/F, PCS Bldg., 992 EDSA, Quezon City, Philippines	Tel: +63 (2)455-3161
フィリピン小児外科医協会	Philippine Society of Pediatric Surgeons	4/F, PCS Bldg., 992 EDSA, Quezon City	Tel: +63 (2) 927-4974
フィリピン女性外科医協会	Association of Women Surgeons in the Philippines	c/o 3/F, PCS Bldg., 992 EDSA, Quezon City	Tel: +63 (2)512-9870; 927-4973
フィリピン胸部及び心臓血管外科医協会	Philippine Association of Thoracic and Cardiovascular Surgeons	Room 514, 5/F, Medical Arts Building, Philippine Heart Center, East Ave., Quezon City	Tel: +63 (2) 925 - 2401 loc. 3534
フィリピン救命救急看護師協会	Critical Care Nurses Association of the Philippines, Inc.	CCNAPI main office at 17th Flr. Medical Arts Tower Inc., (MATI) Bldg, The Medical City, Ortigas Avenue, Pasig City ; CCNAPI Training Room at Room 3D, Edificio Enriqueta Bldg, 422 NS Amoranto St. corner D. Tuazon St. Quezon City	Tel: +63 (2)516-3891
フィリピン外科訓練生協会	Philippine Association of Training Officers in Surgery	c/o 3/F, PCS Bldg., 992 EDSA, Quezon City	Tel: +63 (2) 731-5537; 927-4973
フィリピン一次皮膚医師協会	Philippine Association of Primary Skin Health Physicians	Unit 8 Mary Santos Arcade, 48 West Avenue, Quezon City, 1104	Tel: +63 (2) 372-1194 to 95 loc 102
フィリピン医療技術者協会	Philippine Association of Medical Technologists	Unit 1720 Cityland 10 Tower 2, 6817 Ayala Ave., Makati City	Tel: +63 (2) 817-1487
フィリピンカトリック医師組合	Catholic Physicians Guild of the Philippines	Rm. 309 San Martin de Porres (Medicine) Building, University of Santo Tomas, Espana, Manila	Tel: +63 (2)749-97-86
アメリカ胸部医師会(フィリピン支部)	American College of Chest Physicians - Philippine Chapter	Unit 1704 One San Miguel Building, San Miguel Ave, Corner Shaw Boulevard, Ortigas Center, Pasig City	Tel: +63 (2)687-7510

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力

フィリピンの医師会・学会等一覧【学校】(10 of 11)

名称(日本語)	名称	住所	Contact Info
国際外科大学(フィリピン校)	International College of Surgeons – Philippine Section	Room 108 PMA Bldg., North Avenue, Quezon City	Tel: +63 (2) 928-1190
フィリピン放射線科専門学校	Philippine College of Radiology	Unit 807/809 Future Point Condominium, Panay Ave., South Triangle, Quezon City	Tel: +63 (2) 373-8462
フィリピン精神薬理学専門学校	Philippine College of Psychopharmacology	Room 212 University of the East-Ramon Magsaysay Memorial Medical Center, Aurora Boulevard, Quezon City	Tel: +63 (2) 715-0785
フィリピン産業医学専門学校	Philippine College of Occupational Medicine	Room 106 PMA Building, North Ave., Quezon City	Tel: +63 (2) 455-2410
フィリピン高齢者医療専門学校	Philippine College of Geriatric Medicine	Room 117, PMA Building North Ave., Quezon City	Tel: +63 (2) 384-8923
フィリピン胸部医師専門学校	Philippine College of Chest Physicians	84-A Malakas St., Pinyahan, Quezon City	Tel: +63 (2) 924-9204
フィリピン救急医科専門学校	Philippine College of Emergency Medicine	LG62 Cityland Pioneer 128, Pioneer St., Mandaluyong City	Tel: +63 (2) 746-7181
フィリピン医療管理専門学校	Philippine College of Hospital Administrators	G/F, PMA Bldg., Rm. 101, North Ave., Quezon City	Tel: +63 (2) 924-1527
フィリピン医科大学	Philippine College of Physicians	U2201-2203 22/F, One San Miguel Bldg, San Miguel Ave, Pasig City	Tel: +63 (2) 910-2250; 910-2252; 910-2254

3. フィリピンにおける主要医療機関と医師会・学会等 | 主要学会の構成・位置づけ、キーパーソン、影響力

フィリピンの医師会・学会等一覧【その他】(11 of 11)

名称(日本語)	名称	住所	Contact Info
糖尿病学研究所	Institute for Studies on Diabetes Foundation	571 Apitong Street Marikina Heights, Marikina City	Tel: +63 (2)941-9856, 482-2145, 482-1980, 482-7647
医療皮膚健康訓練施設	Medical Skin Health Training Foundation	Unit 8 Mary Santos Arcade, 48 West Ave., Quezon City.	Tel: +63 (2) 372-1194 loc 102
フィリピン予防接種基金	Philippine Foundation for Vaccination	Unit 17D, UniV Tower, Pedro Gil St., Ermita, Manila	Tel: +63 (2) 708-4561
フィリピン大学医療同窓会	UP Medical Alumni Society	547 Pedro Gil St., Malate, Manila Philippines	—
フィリピン結核対策連合	Philippine Coalition Against Tuberculosis	Ground Floor, RTC Building, Quezon Institute Compound, E. Rodriguez Sr. Ave., Quezon City	Tel: +63 (2) 749-8990; 781-9535
フィリピンてんかん対策連合	Philippine League Against Epilepsy	Department of Neuro-Sciences, Philippine General Hospital, Taft Avenue, Manila	Tel: +63 (2) 525-4996
フィリピン骨粗しょう症学会財団	Osteoporosis Society of the Philippine Foundation	10/F, Rm. 1002, South Tower, Cathedral Heights Building Complex, St. Luke's Medical Center, E. Rodriguez Ave., Quezon City	Tel: +63 (2) 725-2133

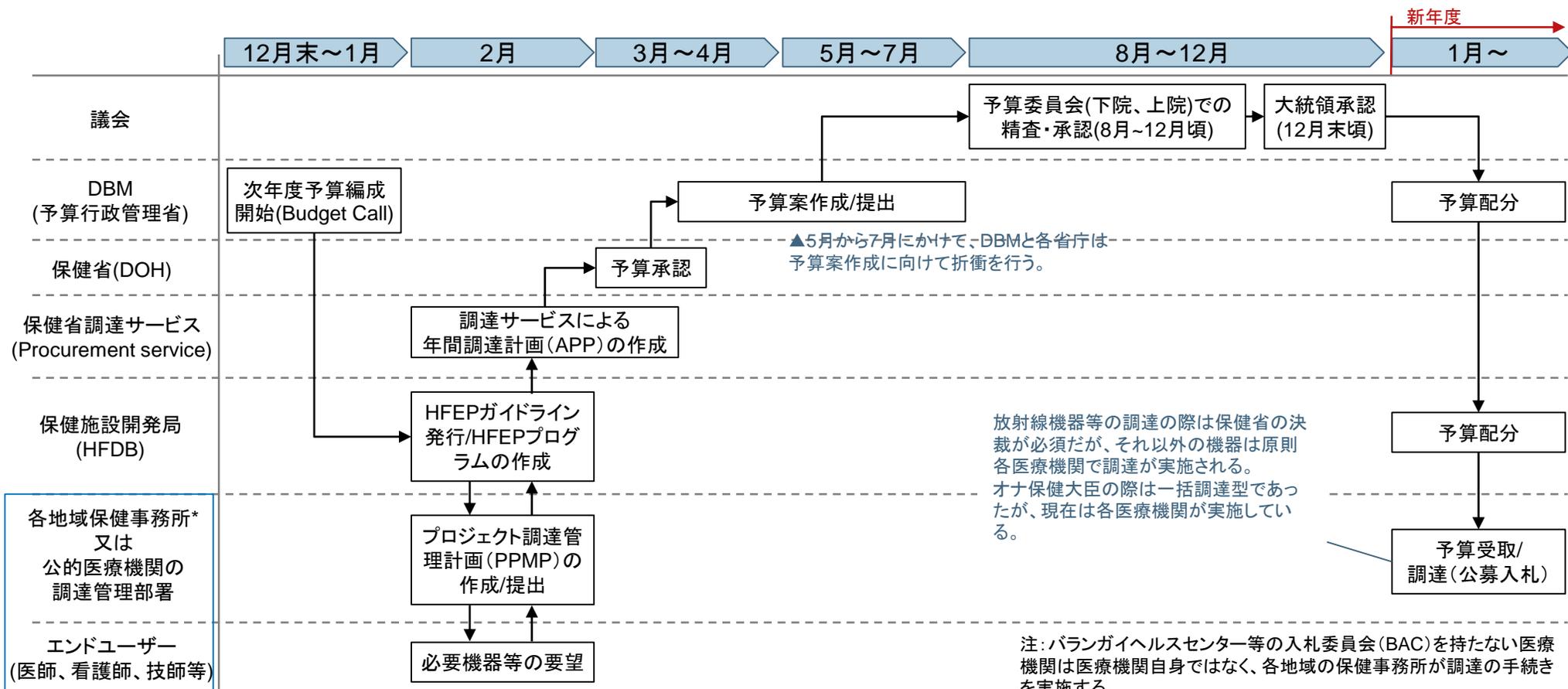
4. 調達プロセス

4. 調達プロセス | 医療機器等の調達プロセスの実態、意思決定プロセス 公的医療機関による調達プロセス

公的医療機関の機器調達に係る予算は、各医療機関の要望に基づき決定される。

- フィリピンでは、次年度予算編成は前々年の12月末ころからスタートする(例えば、2018年度予算は、2016年12月末ころから開始される)。会計年度は1月～12月である。
- 公的医療機関の調達に係る予算の大半は、保健施設開発局(HFDB)の発行する「保健施設強化プログラム(HFEP)」から充当される。

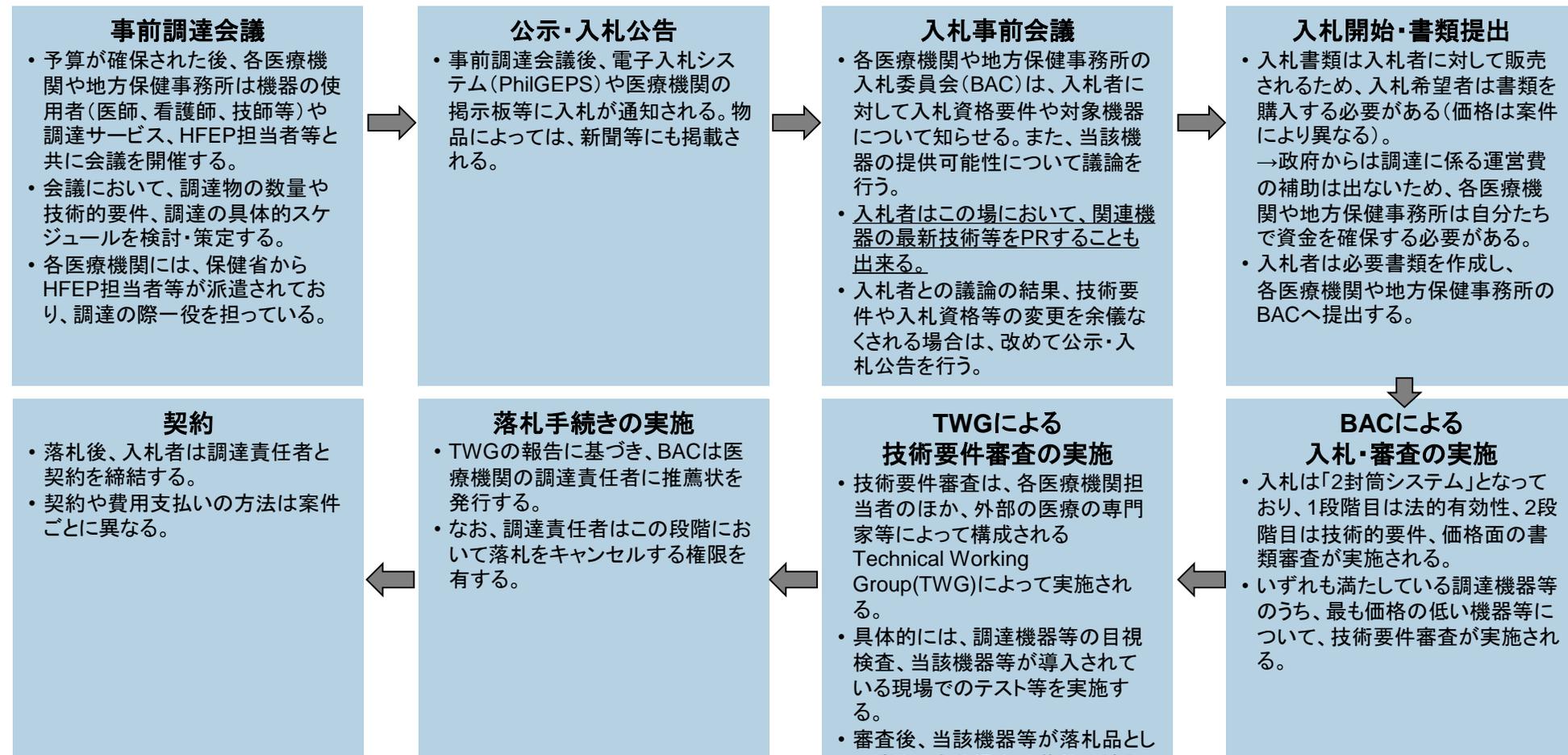
医療機器、施設整備の調達にかかる予算編成の概要



4. 調達プロセス | 医療機器等の調達プロセスの実態、意思決定プロセス 公的医療機関による調達プロセス

調達予算確定後は、実際に調達を行う各医療機関や地方保健事務所の入札委員会(Bid and Award Committee : BAC)が中心となり落札者が決定される。

- 医薬品及び医療機器の入札詳細については、Government Procurement Act(共和国法9184号)に規定されている。
- 競争入札または公開入札は、関心を持ち、かつ要件を満たした事業者は誰でも参加できる調達方法である。
- 入札の時期は各医療機関によって異なり、各医療機関で調達の必要性が生じると順次プロセスが開始される。

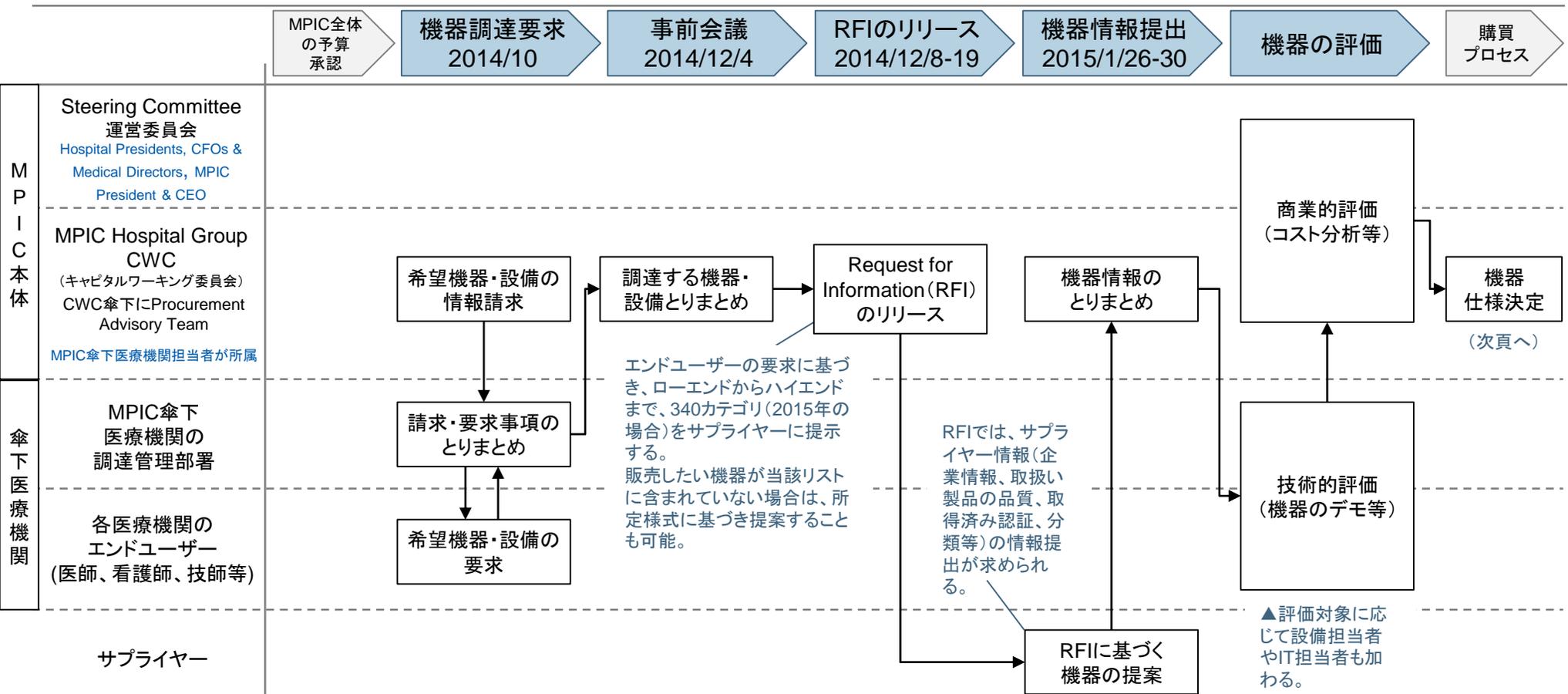


4. 調達プロセス | 医療機器等の調達プロセスの実態、意思決定プロセス 民間医療機関による調達プロセス

Metro Pacific Investments (MPIC) 傘下の医療機関の場合、全社部門の決定力を高め、グループ一括調達を行うための体制を構築している。(1/2)

■ MPICでは、MPIC Hospital Group CWC(キャピタルワーキング委員会)が傘下医療機関における調達全般の運営を行う体制に変更された。

調達対象医療機器の決定プロセス(2015年に購買を行う場合)



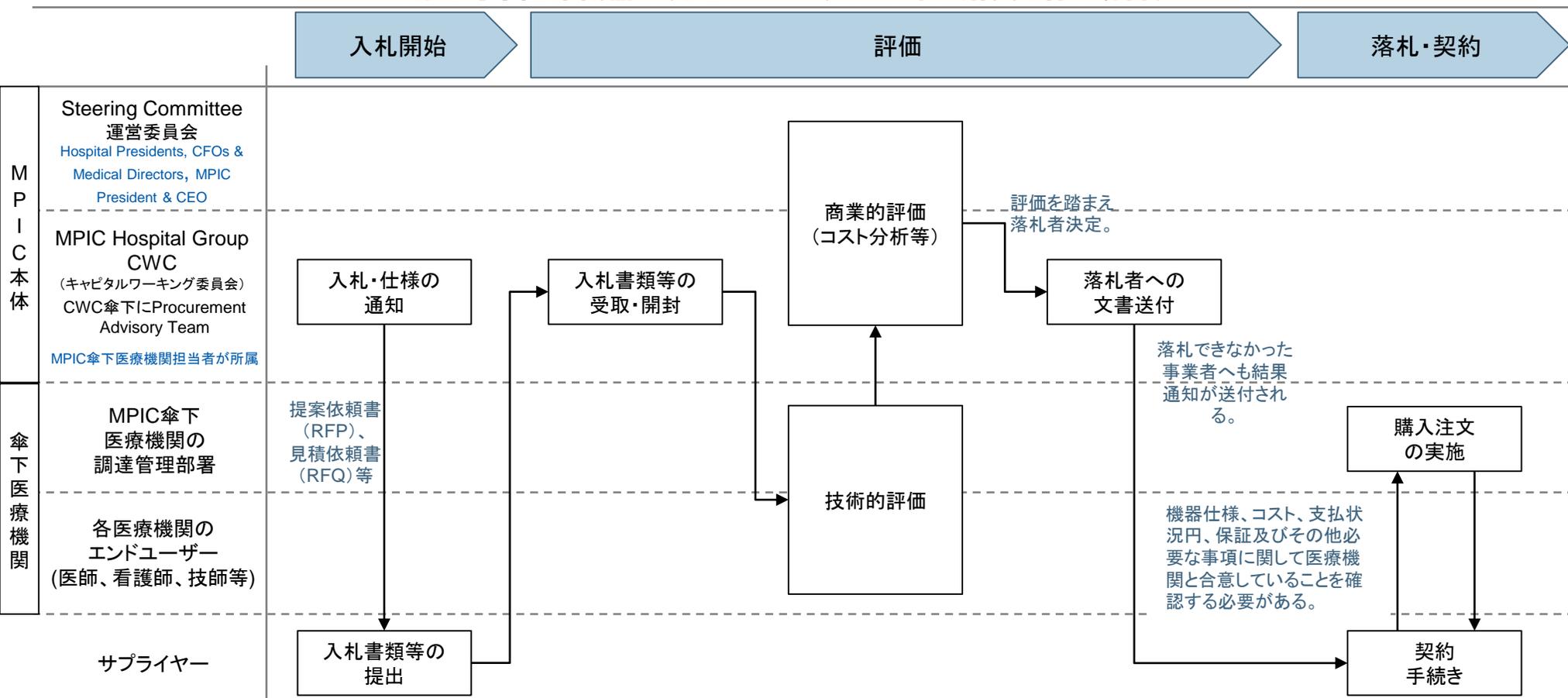
出所) De Los Santos Medical center (MPIC傘下医療機関) 提供資料に基づき、NRI作成

4. 調達プロセス | 医療機器等の調達プロセスの実態、意思決定プロセス 民間医療機関による調達プロセス

Metro Pacific Investments (MPIC) 傘下の医療機関の場合、全社部門の決定力を高め、グループ一括調達を行うための体制を構築している。(2/2)

- MPICでは、MPIC Hospital Group CWC(キャピタルワーキング委員会)が傘下医療機関における調達全般の運営を行う体制に変更された。

調達対象医療機器の決定プロセス(2015年に購買を行う場合)



4. 調達プロセス | 現地代理店との連携

外資企業がフィリピンで医療機器を販売する際には現地代理店との連携が必須である。しかし、連携環境は整備されておらず、代理店も未成熟な事業者が多い。

代理店の探し方

- 自社製品と関係の深い学会からの聴取
- 関係する診療科医師からの聴取
- 他国含めた展示商談機会での出会い
- 医薬品メーカー等からの紹介、等

代理店の見極めのポイント

- 代理店の資金力
- 自社製品と親和性のある製品群の取り扱い経験
- 販売網
- メンテナンス体制、方法
- 社全体の経営方針、価値観、等

代理店と付き合い方での留意点

レピュテーションリスク

- 同一製品について複数の代理店をもつことは可能だが、同一製品に対して代理店間で価格競争を起こす可能性がある。
- 代理店に任せきりになり、必要以上のメンテナンス費用を医療機関に請求しているケースもある。

収益上の不備

- 代理店によっては、在庫・帳簿管理が不適切である企業もいる。
- 委託在庫契約の場合、代理店の管理不備で、収支に影響を及ぼす可能性もある。

製品取扱スキルの指導

- 医療機器等の保守・点検等のスキルが無いケースも多々ある。
- マニュアルは英語であっても、英語による細かな指導において指導側の意図が正確に伝わっていないケースがある。

4. 調達プロセス | 現地代理店との連携

医療機器に関する主な代理店は取扱機器に応じて多様な事業者が存在する。

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

#	企業名	売上高(ペソ)	取扱メーカー
1	Zafire Distributors	1,021,073,003	Sysmex, Terumo, Fujifilm, Becton Dickinson, GBO, Quidel, Centurion, DK, Optika, MES, Primera, Clinell, EarlySense, SonoSite, Hortig, Ecodas, Vitalograph, Gamma Healthcare
2	Health Solutions Enterprises Inc.	839,367,178	GE, Medela, Fresenius-Kabi, Wuhan, Troge Medical GMBH, Verathon, Medtron, Volpara, 3M, Vigeo, Megadyne, Masimo, Siemens
3	Patient Care Corporation (AMHSCO Enterprises)	575,159,797	3M, BD (Becton, Dickinson and Company), Johnson & Johnson, Kodak (Carestream), LiNA, InTouch
4	RBGM Medical Express Sales, Inc.	340,921,896	Samsung, Coviden, Teleflex, Zoll, Borer, Bicakcilar, Galemed, Integra, L&R, Midband, Nihon Koden, Smith & Nephew
5	RG Meditron Incorporated	309,825,636	Asahi Kasei, Becton Dickinson, Criticare, Durico, Lead-Lok, National Therapy, Physio-control, Sony, Smiths-medical, Szuken-Kenz, Tele-paper, braun, Mindray, Mizuho, Penlon, GE, Infinium, Philips-volcano, Smiths-medex, Boston Scientific, Oscor, Hitachi, Samsung-neurologica, Nocratek, Civco, Ultrasound Technologies, DMS-Apelem, Natus, GN Otometrics
6	Medical One Corp.	262,237,762	Philips, Neusoft, Planmed, Swissray, Villa Medicali System, UMG Del, Ziehm, TCL, RF Co. Ltd., Medcapture, Mediana Colin, Natus, O-two, SK Medical
7	MaCare Medicals, Inc.	241,253,042	Haemonetics, Pall Medical, Cook Medical, Sorin Group, Orgenics, Immunostics Inc., Thermofisher Scientific, LW Scientific, Hologic, Perkin Elmer, MedGyn, VWR International, Biolabs Inc., Biosafe, Miltenyi Biotec, Esco
8	Respicare Enterprises, Inc.	185,745,037	AcuLux, Galemed, Edan, Futuremed, General Physiotherapy, Heal Force, Mindray, MSA, Newport Medical, Nspire, Optimedical, Philips, Pilling Weck, SK Medical
9	Medilines Distributors	134,756,742	Drager Fabius, Mindray, B. Braun, Philips, Drager, Brand Meditech, Siemens, Samsung
10	Carestream Health Philippines, Inc.	(no info)	Kodak, (no other info)

出所)関係者ヒアリングに基づき、NRI作成

4. 調達プロセス | 現地代理店との連携

医薬品の代理店は以下3社でほぼ寡占状態にある。

	Zuellig Pharma Holdings Pte. Ltd.	Metro Drug, Inc.	United Laboratories, Inc. (Unilab)
背景	<ul style="list-style-type: none"> 1922年にスイスのファウンダーである Frederick E. Zuelligが、商業、販売代理店、製造業者、輸出業者、輸入業者として事業を開始。 1938年、ヘルスケア製品の輸入やマーケティングを専門とする部門を組織した。 第二次世界大戦後、創業者の二人の息子により事業は再建され、その後拡大した。彼らのコミットメントと主な目的は、「健康管理をより使いやすくする」というタグラインに集中している。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前はZuellig CorporationとMarsman & Co, Incが共同で設立したMDDI (Metro Drug Distribution, Inc.)として知られていた。 1997年に製薬事業が分割されメトロドラッグが結成された。現在は、医薬品流通、医療機器流通、および動物の健康関連の3つの主要な事業領域を有する。 フィリピンの優れたヘルスケアディストリビューターとしての彼らの理念は、顧客指向の専門家チーム、高度な自動化システム、タイムリーなサービスを通じて、真のビジネスパートナーとしての期待を上回ることである。 	<ul style="list-style-type: none"> 1945年、マニラのビノンドにある小さなコーナーのドラッグストアとしてスタートした。 Unilabのタグライン「Trusted Quality Healthcare」は、企業の理念そのものであり、すべての人が手頃な料金でアクセスできる高品質の製品とサービスを提供している。The Medical Cityのオーナー/オペレーターであるProfessional Services, Inc.の株主でもある。
キーパーソン	<ul style="list-style-type: none"> John Davidson, Chief Executive Officer Irin Ang, Vice President, Finance Mike Becker, Senior Vice President, Philippines Geroge Eassey, Senior Vice President, Commercial Solutions Maarten Kelder, Senior Vice President, Strategy and Solutions 	<ul style="list-style-type: none"> Jojit Aguilar, Chief Executive Freddie Madregallejo, Vice President for Sales Cristy Montalvo, Vice President for Operations Allan Tanlapco, Vice President for Finance Manny Argosino, Operations Manager, Animal Health 	<ul style="list-style-type: none"> Jocelyn Campos-Hess, Chairman of the Board Clinton Campos-Hess, President and Chief Executive Officer
コンタクト情報	<p>Address: Km 14 West Service Road South Superhighway cor. Edison Avenue Sun Valley Parañaque City, Metro Manila Phone: 63 (2) 908 2222 Website: https://www.zuelligpharma.com</p>	<p>Address: Sta. Maria Industrial Estate, Mañalac Avenue, Bagumbayan, Taguig City, Philippines Phone: (63 2) 802 7575 Website: http://www.metrodrug.com.ph</p>	<p>Address: 66 United Street, Unilab Compound, Mandaluyong City Phone: (632) 864-5221 Email: info@unilab.com.ph Website: http://www.unilab.com.ph/</p>

4. 調達プロセス | 調達時に重視すべきこと

医療機器の調達において、公的医療機関はより價格的制約が強いものの、 入札時に留意すべき事項は公民問わず共通である。

入札時のポイント		調達に関する医療関係者のコメント
	医療機関毎の調達方針の把握	<ul style="list-style-type: none"> • 当院は感染症に特化した施設を有する。現在は、MERSコロナウイルスのための施設設立に注力しており、手術室のアップグレードも行いたいと考えている。(公立医療機関) • 感染性疾患の高齢者向けの介護施設の設立を行いたい。(公立医療機関) • 前ディレクターにとっての優先事項は、医療機器の購入であった。しかし、現在のディレクターは、購入機器の収容場所を確保するため、インフラ整備を優先事項としている。(公立医療機関)
キー パーソン への アプローチ	意思決定に影響を与える部署、 人物の特定	<ul style="list-style-type: none"> • 公的医療機関の場合、現場のニーズも重要だが、予算制約が厳しいため、予算や調達方針を策定・管理している部署の方の意向を把握することが重要である。(公立医療機関) • 民間医療機関におけるキーパーソンは医療機関によって異なる。予算決定を行うのは理事会であるが、人気の医師の場合、調達の当初予算を理事会に上乗せしてもらっているケースもある。(民間医療機関)
	医療機器の使用現場のニーズ把握	<ul style="list-style-type: none"> • 実際に医療機関に出向き、機器類がどのように使用されているのかを確認すること、また、ユーザーから直接フィードバックを受けるべきである。(民間医療機関)
	医療機器等の使用者への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> • フィリピンはまだまだ医師のレベルも低い。そのため、最新の医療機器等を扱える人材も非常に少ない。(医療機器メーカー) • 日本の検査機器等については、予防を行うことのメリットについて、現地医師の理解を醸成する必要がある。(医療機器メーカー)
提供体制 の充実化	充実したメンテナンス体制と実績	<ul style="list-style-type: none"> • 当院では、定期的な予防保守は最低でも四半期に1回は行ってもらうこととしている。(医療機器メーカー) • いつでも駆けつけてくれるサポートエンジニアの存在が必須である。(医療機器メーカー) • メンテナンス体制にも現地での実績が求められる。(医療機器メーカー)
	現地販売代理店との連携実績	<ul style="list-style-type: none"> • 機器そのものの品質だけでなく、サポート体制等も保証するためには、サプライヤーと販売代理店の関係が少なくとも5年間以上継続している必要がある。(公立医療機関)

5. 各種制度・規制

5. 各種制度・規制 | 医療保険制度の整備状況と今後の方針

フィリピンでは、人口の約9割は公的医療保険でカバーされているが、自己負担割合が高く、償還手続きも煩雑で包括的ではない。

- フィリピンにおける公的医療保険はPhilHealth(フィリピン健康保険公社)が運営する国民健康保険プログラム(National Health Insurance Program: NHIP)がある。雇用主は従業員を加入させる義務がある。また職についていない者も任意で加入可能である。患者は、NHIPで給付される限度金額を差し引いた金額を医療機関に直接支払い、残りはPhilHealthから医療機関に償還される仕組みとなっている。

フィリピンの医療保険制度

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

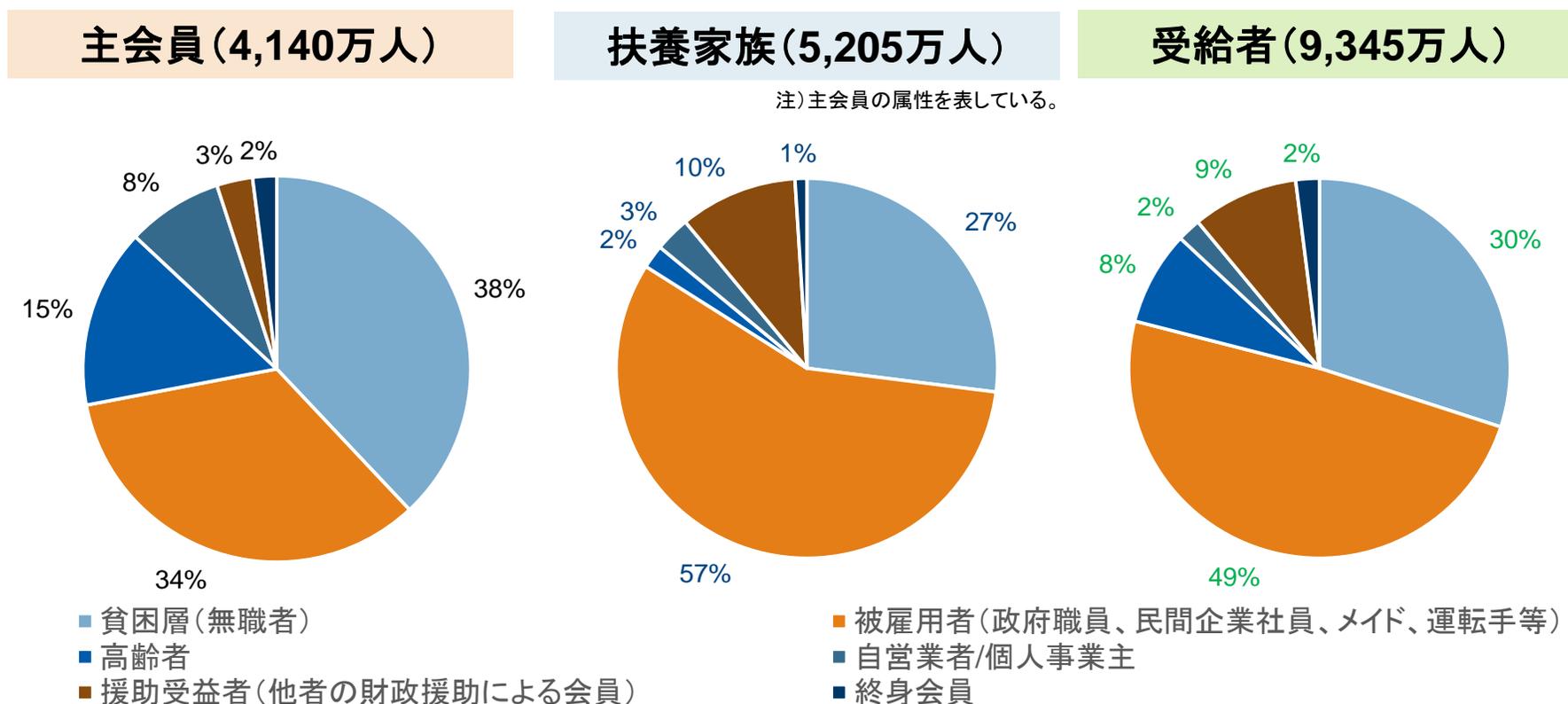
項目	公的制度	民間制度
運営主体	国民健康保険プログラム(National Health Insurance Program: NHIP) (PhilHealthによる提供)	Health Management Organization: HMO
導入時期	1998年	-
加入者数	約9,345万人(人口の92%) (2015年) ・うち、3割が定職についている者(民間、政府、家事労働者を含む)とその扶養者(加入者と扶養者の割合は半々)	HMO:約 400万人 (加入者本人のみで扶養者を含まず)(業界団体による推計、2015年)
給付内容	以下の一部(全額ではない。病状、病院、医師のランクにより上限が設定されている) ①入院(室料、食費、薬剤費、検査費、診察費など含む) ②一部の外来治療、 <u>外来医薬品は対象外</u> ③予防サービス ※傷病の程度によって上限あり	HMOにより異なる。
適用対象医療機関	DOH(保健省)の認可を受けている医療機関で適用可能 (合計1,847機関: 公的機関742、民間1,105 ※2015年6月末時点)	HMOにより異なる。
保険料	標準報酬月額2.5%(雇用主1.25%、労働者1.25%。8,000~35,000ペソまで段階あり保険料の下限月額200ペソ、上限875ペソ)	HMOにより異なる。
管轄	Philippine Health Insurance Corporation (PHIC), Department of Health	Insurance Commission

5. 各種制度・規制 | 医療保険制度の整備状況と今後の方針

PhilHealth(フィリピン健康保険公社)の国民健康保険プログラムは、人口1億145万人(2015年の推定)に対し、92%(9,345万人)をカバーしている。

国民健康保険プログラム(National Health Insurance Program)

■ 2015年12月31日現在、主要会員メンバーと扶養家族がPhilhealthの受給者として登録されている。



フィリピン健康保険公社の保険範囲(2015年12月31日現在)

5. 各種制度・規制 | 医療保険制度の整備状況と今後の方針

PhilHealth(フィリピン健康保険公社)では、4つの重点プログラムを展開している。

ケアポイント

(Point of Care:POC)

登録プログラムの推進

・このプログラムは、公立病院での治療しか受けることのできないクラスC-3(貧困に近い)およびD(貧しい)の人々が医療援助を受けられる会員として登録する事ができるというもの。

・2013年に8つの公立病院で試験的に導入され、2015年12月現在、366の医療施設がプログラムに参加。

Z-Benefitの拡張

・長期入院や高額な治療に関する費用をカバーするZ Benefitの適用範囲(結腸癌および直腸癌の治療・管理等)の拡張。



透析保険範囲の拡大

・血液透析の保険適用範囲を年間45回から90回に拡張。

プライマリーケアパッケージ (Tamang Serbisyo para sa Kalusugan ng Pamilya:TSeKap) の強化

・TSeKapの中で、一次医療の範囲で治療できる10の一般的な病気(以下)に対する薬品・医薬の無償支給:

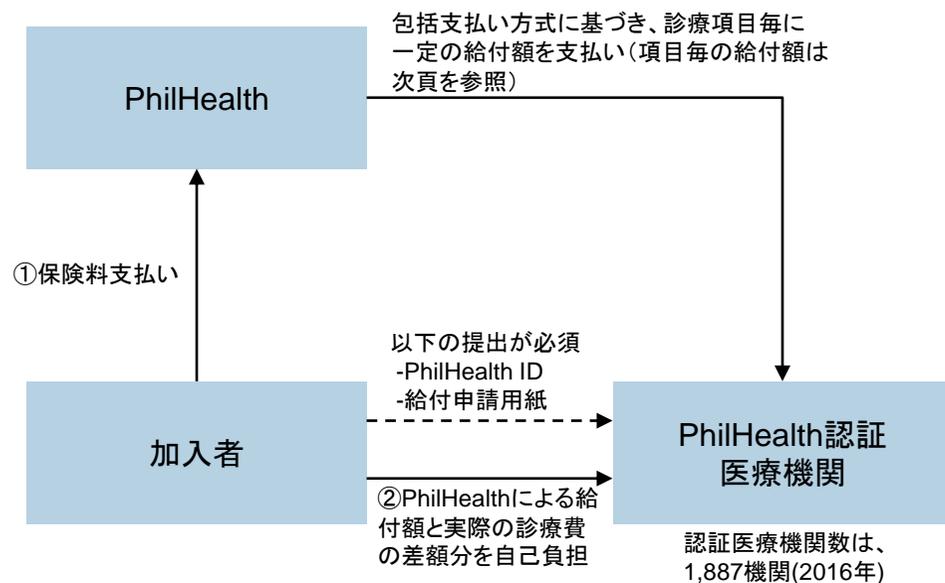
喘息、急性胃腸炎、上気道感染、肺炎、尿路感染症、糖尿病、高血圧、異脂肪血症、脱膀胱、虚血性心疾患

5. 各種制度・規制 | 医療保険制度の整備状況と今後の方針

国民健康保険加入者がPhilHealth認証医療機関へ申請を行うことにより、診療項目に応じた給付額が当該医療機関へ支払われる。

国民健康保険プログラムによる医療費の支払い構造

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)



②差額支払い免除政策(No Balance Billing Policy)

- PhilHealthは、「PhilHealth Board Resolution No. 1441,2010」に基づき、一般的な内科、外科治療に関して当該制度を導入した。
- この制度により、医療機関は家族雇用労働者(運転手や家政婦)、貧困層、援助受益者及び同カテゴリの扶養家族に対して差額支払請求が出来ないこととなった(医療機関が負担)。
- 当該制度は公立医療機関に適用されるが、民間機関は任意である。

①加入者カテゴリ毎の保険料支払い方法

加入者カテゴリ	保険料の支払方法		
被雇用者	保険料は雇用者と従業員が折半する。従業員分は給与から天引きされる。月額保険料は月給5%が上限。また、給与水準により保険料が定められている。		
	階層	給与額	月額保険料(ペソ)
	1	~8,999.99	200
	2	9,000~9,999.99	225

	27	34,000~34,999.99	850
28	35,000~	875	
自営業/個人事業者	以下の金額を年一括or月々の分割で支払う。 月収が25,000ペソ以下の場合:2,400ペソ 月収が25,000ペソ超の場合:3,600ペソ		
終身会員	政府の一般歳出法に基づき、年2,400ペソ/人を政府が負担する。		
高齢者			
貧困層			
援助受益者	年2,400ペソ/人の保険料を地方自治体、社会福祉開発省、医療施設、個人、民間企業等のスポンサーによって負担する。		

5. 各種制度・規制 | 医療保険制度の整備状況と今後の方針

保険制度によって実際に利用されている医療事例で多いものは、デング熱、肺炎等があり、外科手術では、放射線療法、血液透析、および出産ケアが含まれる。

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

医療ケース(保険適用数の多い順)	給付額(ペソ)
デング熱I(デング出血熱 グレード1&2)	10,000
デング熱II(デング出血熱 グレード3&4)	16,000
肺炎I(中程度のリスク)	15,000
肺炎II(高リスク)	32,000
原因不明の高血圧	9,000
脳梗塞(脳血管障害I)	28,000
脳梗塞(出血)(脳血管障害II)	38,000
急性胃腸炎	6,000
喘息	9,000
腸チフス	10,000
新生児のケアパッケージ	1,750
外科手術(保険適用数の多い順)	給付額(ペソ)
放射線療法	3,000
血液透析	4,000
出産ケア・パッケージ(MCP)	8,000
帝王切開	19,000
虫垂炎切除術	24,000
胆嚢摘出術	31,000
切開、掻爬(そうは)	11,000
甲状腺切除術	31,000
ヘルニア	21,000
乳房切除術	22,000
子宮摘出術	30,000
白内障手術	16,000

5. 各種制度・規制 | 医療保険制度の整備状況と今後の方針

保険制度でカバーされる医療事例のうち、高額なケースには、脳卒中や肺炎、頭や心臓の外科手術などが含まれる。

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

医療ケース(適用実績のあるケースの内、高額なもの)	給付額(ペソ)
1.脳卒中(出血性)	38,000
2.ショック(心原性、血液量減少、内毒素)	32,000
3.肺炎(高リスク)	
4.成人呼吸窮迫(きゅうはく)症候群	
5.脳卒中(梗塞)	28,000
6.頭蓋内および髄腔内膿瘍および肉芽腫	27,900
7.髄膜炎	27,700
8.新生児における脳室内出血/頭蓋内出血	25,600
9.新生児の心臓血管合併症	22,700
10.下気道の先天性奇形	21,700
外科手術(適用実績のあるケースの内、高額なもの)	給付額(ペソ)
1.頭蓋骨の手術	37,800- 75, 600
2.動脈瘤、動静脈奇形または血管疾患の手術	23,300- 75,600
3.大血管転位	58.800- 71,400
4.心臓と大血管の創傷	30,300- 71,400
5.背骨の変形	58,800- 67,200
6.背骨の固定具	27,120- 67,200
7.胃切除	8.260- 67, 200
8.冠状動脈バイパス術のための移植	53,400- 63,000
9.内視鏡	11,980- 64,680
10.肋骨を含む胸壁腫瘍の切除	46,500- 58,800

5. 各種制度・規制 | 医療保険制度の整備状況と今後の方針

フィリピンの主な民間団体健康保険 (HMO: Health Management Organization)

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

企業名	Maxicare Healthcare Corp.	Medicard Philippines, Inc.	Asianlife & General Assurance Corp.	Caritas Health Shield, Inc.	Prudential Guarantee and Assurance, Inc.
総収益(ペソ) (2015)	8,249,206,843	6,461,089,277	2,063,504,781	1,603,052,280	-
推定会員数 (各HMOのウェブサイトより)	1,000,000人	データなし	データなし	574,000人	データなし
給付金・補償内容	<ul style="list-style-type: none"> 入院保険 外来保険 生活費 予防治療 緊急治療(認定・非認定病院) 健康診断(年一回) 歯科治療 国際緊急アシスタンス 致死性疾患 	<ul style="list-style-type: none"> 入院 外来治療 入院治療 予防治療 緊急治療 会員財政援助 歯科治療 	<ul style="list-style-type: none"> 役員・従業員への社会保障 特定産業へのサービス(例:コールセンター) 個人生命保険 非伝統的保険(例:中小企業、船員家族向け、教育計画、事故保険、デング保険、教員向け、低所得セクター向け保険) 	-	-
関連WEBサイト	https://www.maxicare.com.ph/wp-content/uploads/2016/12/Updated-PATH-MyMaxicare-brochure-11-14-2016.pdf	https://www.medicardphils.com/category/services/	https://www.asianlife.com.ph/asianlife/Product1	http://www.caritashealthshield.com.ph/products.php	http://pgasompo.com/
株主	<ul style="list-style-type: none"> Cebu Doctor's Hospital Philippine Orthopedic Institute 	-	<ul style="list-style-type: none"> Maybank ATR Kim Eng Capital Partners, Inc. E-Marc Consultants, Inc. ATR Holdings, Inc. 	<ul style="list-style-type: none"> Megacenter Diagnostics Corporation Heart & Lung Diagnostics Clinic 	<ul style="list-style-type: none"> Sompo Holdings Group, Tokyo

5. 各種制度・規制 | 医療保険制度の整備状況と今後の方針

(参考)フィリピンの主な生命保険会社

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

企業名	Sun Life of Canada (Philippines), Inc.	Philippine AXA Life Insurance Corp.	Philippine American Life and General Insurance Co. (PhilAm Life)	BPI Philam Life Assurance Corp.	Pru Life Insurance Corp. of UK (Owned by Prudential plc)	Sony Life Insurance Philippines Corporation
設立年	1895	1998	1947	2009	1996	1998
国	カナダ	フランス	フィリピン	フィリピン	イギリス	日本
保険料収入(ペソ) (2015)	32,809,223,157	22,820,890,611	21,169,789,757	20,798,904,428	19,809,814,912	-
会員数	データなし	800,000人	データなし	データなし	データなし	データなし
商品	<ul style="list-style-type: none"> 個人保険 変額生命保険 団体保険 投資信託 生前予約 	<ul style="list-style-type: none"> 貯蓄・投資 教育保険 所得補償保険 医療保障 	<ul style="list-style-type: none"> 補償保険 教育保険 投資計画 健康保険 貯蓄 	<ul style="list-style-type: none"> 補償保険 教育保険 投資計画 健康保険 貯蓄 	<ul style="list-style-type: none"> 補償保険 投資計画 貯蓄・生命保険 	<ul style="list-style-type: none"> -
株主	<ul style="list-style-type: none"> Sun Life of Canada (オランダ) 	<ul style="list-style-type: none"> --- 	<ul style="list-style-type: none"> AIA Company, Ltd. 	<ul style="list-style-type: none"> Phil. American Life and General Insurance Company Bank of the Philippine Islands 	<ul style="list-style-type: none"> Prudential Corp. Holdings Ltd. 	<ul style="list-style-type: none"> Sony Life Insurance Co., Ltd.

5. 各種制度・規制 | 医療保険制度の整備状況と今後の方針

公的医療機関では、貧困層の診察費、治療費、医薬品は基本的に無料である。

■ 公的医療機関

- 貧困層に対する診察費、治療費(一般的な内科、外科治療)は無料である。
 - ・ 差額支払い免除政策(Non balance Billing Policy)に基づく措置。公共施設に対する適用であり、民間施設は各自の判断に委ねられている。
 - ・ 治療に必要な消耗品(包帯、注射針等)も無料ではあるが、医療機関の在庫が切れた場合は患者が治療前に購入し持参しなければならない。
- 医薬品の調達も各医療機関の予算内で対応するため患者には原則無料で提供される。ただし、医療機関の予算がなくなる(医薬品の在庫切れ)と、患者は医療機関から処方箋を渡され、患者が自己負担購入しなければならないケースが多い(医薬品は年間で原則一回、調達が実施される)。
 - ・ 医薬品については、自己負担する場合、国民健康保険による給付は適用されない。

■ 民間医療機関

- 治療費や医薬品の価格は各病院の裁量で決定できる。
- 入院患者向けの医薬品の価格も病院が決定するが、PhilHealthや民間医療保険会社からのプレッシャーにより、高値をつけることはできないのが実態となっている。

5. 各種制度・規制 | 外資規制や外国企業誘致に関する取り組み状況

病院事業、医療機器販売に関し、政府機関(公立病院含む)への入札参加は外資比率40%を上限と定められているため、事業展開においては現地事業者との連携が必須。

活動内容	外資規制・条件
病院事業	病院に特化した外資規制はないが、「国内市場向け事業」に該当するため、以下の関連専門職について外国人の登用は禁止されている。 →薬剤師(共和国法5921号に基づく) →放射線・レントゲン技師(共和国法7431号に基づく) ※これまでは「医師」もリスト挙がっていたが、現在はリストから除外されている。
公立病院への物品販売 (入札参加)	外資比率40%までの事業体の場合、参加可能。
私有地の保有	外資比率40%までの事業体の場合、保有可能。
国内市場向け事業	払込資本金20万ドル未満の場合は40%まで(20万ドル以上の場合は100%可)。 先端技術を有するか、50人以上を直接雇用する場合、払込資本金10万ドル未満の場合40%まで(10万ドル以上の場合は100%可)。

5. 各種制度・規制 | 外資規制や外国企業誘致に関する取り組み状況 優遇税制

フィリピンでは、各種優遇税制が整備・運用されている。

優遇組織・種別	概要	主な優遇措置
フィリピン経済区庁 (PEZA: Philippine Economic Zone Authority)	<ul style="list-style-type: none"> 輸出加工区(エコゾーン)、ITパークで行われる事業に対して優遇措置を付与(輸出加工区:66ヶ所、ITパーク:197ヶ所)。 PEZA登録企業の条件:総売上上の7割以上はフィリピン国外で上げることが必要。フィリピン国内の取引でも、納入先がPEZA企業ならばみなし輸出として認定される。 輸出企業以外では、経済区の開発事業者、経済区内のサービス企業も対象となる。 なお、新大統領から任命を受けたプラザ長官は元ミンダナオ島北アグサン州ブトゥアン市選出の下院議員で、国軍予備役准将である。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人所得税(30%)の免除 (Income Tax Holiday:ITH):4~8年間。 3年間ITH:拡大事業の場合。 4年間ITH:非パイオニア事業。 6年間ITH:パイオニア事業。 →ITH期間終了後、特別税率(GIE)5%の適用。 輸入税やVATの免除 等。
投資委員会 (BOI: Board of Investments)	<ul style="list-style-type: none"> 政府(BOI)は毎年、重点産業育成分野を指定する投資優先計画(IPP)を発表している。同計画で指定された分野に投資する企業は、BOIから優遇措置を付与される(業種に対する優遇)。 2015年4月6日に発行されたIPPによれば、8つの優先投資分野の中に「(5) 病院」が含まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 所得税免除:4~8年間。 埠頭(ふとう)税・輸出税・輸入関税などの免除 労務費用に対する追加的税額控除制度 等。
スービック湾首都圏庁 (SBMA: Subic Bay Metropolitan Authority)	<ul style="list-style-type: none"> かつての米海軍基地跡に造られた特別経済区であるスービック湾自由港(SBF)に投資する企業に対し優遇措置を付与している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国税、地方税の代わりに総所得の5%のみが最終課税の対象。 輸入税やVATの免除 等。
クラーク開発公社(CDC: Clark Development Corporation)	<ul style="list-style-type: none"> かつての米空軍基地跡に造られたクラーク特別経済区(CSEZ)に投資する企業に対し優遇措置を付与している。 	<ul style="list-style-type: none"> 上記SBMAと同じ。

5. 各種制度・規制 | 医療機器に関する規制のグローバル基準化について

**医療機器の登録にあたっては、製品登録審査を受ける必要がある。
AMDDに基づく新規制により、将来的には登録対象製品数が拡大することが窺われる。**

- 製品登録審査に必要となる主な提出書類は以下の通り。
 - 代理店契約所
 - 原産国での自由販売証明
 - GMP (Good Manufacturing Practice) 書類、等
- ISO13485の認証がない場合、原産国のGMP書類の英語訳提出でも受理される。
- 製品によって異なるものの、登録に係る期間は数ヶ月程度であり、大きな問題はない模様（日本製品に対しては審査側の信頼が厚いと言われている）。
 - 一方、製品登録の担当者の人員は半数が非常勤というように、不足状態が続いている。政府では常勤人員の拡大を目指している。

AMDD (ASEAN Medical Device Directive) : ASEAN各国は2014年8月、医療機器規制調和で合意。医療機器登録の際に申請者が各国保健当局に提出する統一書式CSDT (ASEAN common submission dossier) を定めた。ASEAN内での医療機器相互認証を認めるものではないが、申請時に求められる情報がASEANで統一されることにより、届出申請手続きの効率化が期待されている。

フィリピンFDA当局も当該書式への準拠を進めており、今年中に省令を発行し、翌年より義務化を進める予定である。

5. 各種制度・規制 | 医療機器に関する規制のグローバル基準化について

医療機器登録に係る現行制度とAMDDにおける見込内容については以下の通り。

	現行制度	AMDDに基づく新規則(予定)
登録対象	医療機器:180カテゴリー IVD(対外診断用医薬品):8カテゴリー ※CTやMR、超音波診断装置等の機材系は登録外	国際整合 ※例えば現行制度では医療機器規制対象外のCTやMR、超音波診断装置は対象に加わる
実施時期	現在実施中	未定(保健省及びFDA幹部の承認待ち)
製品のリスクに応じた審査体制	リスクに応じた分類はない	ClassA(低リスク)~ClassD(高リスク)の4段階に区分し審査。Aは届出申請、B-Dは登録申請(B→Dにかけて要求資料増)
提出書類(輸入品に関して代理店がFDAに提出する資料)	輸入者の業許可、原産国の自由販売証明、原産国GMP証明、輸出者と輸入者間の代理店契約書、原材料、使用方法・製造所・生産工程の説明、滅菌方法、技術資料、生体適合試験結果・リスク分析資料、ラベリング等	CSDT(common submission dossier template)書式 ※現行制度と内容的には実質的に変わらない
審査期間	<ul style="list-style-type: none"> ● 営業許可[LTO](輸入者に対し): 暦日90日から、電子申請開始により製造所のない代理店の場合、不備がなければ15日で手続きが終了する。 住所、事業内容等の登録内容もオンラインで変更可能(変更内容によっては監査が入る)。 ● 製品登録審査[CPR]:暦日180日 類似製品の場合、一つの申請で複数のCPRが取得可能。 	現行と同じ
登録等有効期間	営業許可[LTO]:初回1年、以後2年毎更新 製品登録[CPR]:初回1年、以後5年毎更新	営業許可[LTO]:初回2年、以後3年毎更新 製品登録[CPR]:初回5年、以後5年毎更新
登録除外申請(Exemption)	登録対象か判断に迷う場合FDAに提出(製品概要等の資料は要提出)	制度終了

5. 各種制度・規制 | 外資規制や外国企業誘致に関する取り組み状況 病院の建設・営業許可申請プロセス

**フィリピンにおいて病院施設の建設・営業を行う場合は、
公民いずれの場合においても保健省に対する許可申請プロセスを通過する必要がある。**

公立病院

1. 必要な証明書の申請

・保健開発センター(保健省の地方事務所)発行の以下書類を提出:

- ①病院建設提案の証明書
 - ②施設の必要性を示す書類
- ※各レベルごとに異なり、保健開発センターにより認可される

2. 保健省からの建設許可を得るための申請

- ・ 開発計画書と施設の見取り図(見取り図の公証チェックリスト)
- ※各レベルごとに異なる
- ・ 保健機能及びサービス規制局局長への承認状(健康開発センターに提出された場合)
- ・ 必要な証明書
- ※新しい病院の場合
- ・ 市街地区別政策(ゾーニング)証明書/市町村からの所在地を証明する書類/地方自治体企画開発事務所及び病院名の登録証書/施設証明書

3. LTO(営業許可証)の申請

- ・ 病院やその他の保健施設を運営するためにHFSRB
- ・ (保健施設及びサービス規制局)を通じてDOHが発行する正式な権限
- ・ 医療機関のレベル/クラスは、LTOの発行/更新時に決定される
- ・ 自動認定は、保健省(DOH)により、認可または認証された医療機関に対して行われる。
- ・ 病院が保健省(DOH)からの営業許可証(LTO)を持っている場合、自動認定される。

4. 建設基準合格認可の証明書

- ・ 保健施設の運営に関するDOH(保健省)からの正式認可
- ・ 施設がDOHの基準に準拠していることを意味する。
- ・ 更新の場合は、年間入退院数に関する統計報告書、許可証更新のための宣誓供述書

私立病院

5. 各種制度・規制 | 現地での雇用・人材確保に関わる制度・課題 医療人材

外国人医師および看護師に関する規制

- 第10次ネガティブリスト(大統領令第184号として2015年5月29日付けで署名)から、「医師、看護師」は除外された。
- これにより、外国人であっても、自国の免許を保有する医師と看護師は、以下の場合フィリピンで勤務することができる。
 - ただし、フィリピンの専門職規制委員会(Professional Regulation Commission :PRC)へ申請し、特別臨時許可証を取得する必要がある。

外国人で自国の免許を保有する医師・看護師がフィリピン国内で勤務できるパターン

	通常の医師、看護師として勤務する場合	海外からの資金援助によるプロジェクトにおいてフィリピン政府のコンサルタントとして勤務する場合	地場もしくはフィリピンの外国企業／組織での雇用が決まっている場合	人道援助目的による限定的な期間における、外国人医療専門家としての活動
互恵協定あるいは国際協定※を締結している	○	○	○	○
互恵協定あるいは国際協定※を締結していない	×	○	○	○

→日本は締結していない

※フィリピンとの間で相互に医師・看護師の雇用を受入れるという内容が含まれる互恵協定や国際協定

外国人の医師・看護師の勤務に必要な書類等

- 外国人医師・看護師がフィリピンで勤務する際は以下を取得すれば良い。
 - ✓ 自国発行の労働許可証
 - ✓ PRCからの特別臨時許可証(Special Tentative Permission)
- 特別臨時許可証を取得するための必要要件は目的ごとに異なるが、一般的な例は以下の通り。許可証は一年間有効(更新はPRCにて実施)。
 - ✓ 自国の公的なライセンス
 - ✓ フィリピンの医療機関(雇用主)との雇用契約書

(参考)フィリピンの医師免許の取得に関して

- 第10次ネガティブリストに基づき、フィリピンとの間で互恵協定あるいは国際協定がある場合、外国人でもフィリピンで専門職登録を行うことができるようになった(医師国家試験を受けることができる)。
- 外国人の場合、これまでは、フィリピンの市民権を得た者以外は医学部を卒業しても国家試験を受験することはできなかった。

5. 各種制度・規制 | 現地での雇用・人材確保に関わる制度・課題 法定賞与・福利厚生

フィリピンの法定賞与は、基本給の1か月分。会社により業績賞与もある。 法定福利厚生は社会保障費の負担等。労働争議は少ない。

■ 賞与水準

- 労働法で定められている年間の賞与支給額は、基本給の1ヶ月(13th month pay)
- クリスマスイブの12月24日前までに支払う義務がある
- 他、会社により成果インセンティブを支払っている

■ 法定最低賃金

- 地域別に最低賃金が定められており、労働省HPで公開されている(<http://www.nwpc.dole.gov.ph/rtwpb.html>)
 - ・ マニラ首都圏の場合、1日481ペソ(2016年3月上旬現在)
 - ・ ほぼ年に1回の頻度で見直しがなされる
- 過去10年間における最低賃金上昇率は約5%(インフレ率とほぼ同水準)

■ 法定福利厚生

- 社会保障費(Social Security System : SSS)
 - ・ 標準報酬月額(1,000~16,000ペソ)の11%(120~1,760ペソ/月)が保険料。その内、雇用主が68%(83.70~1,208.70ペソ/月)を負担
- 公的医療保険(PhilHealth(フィリピン健康保険公社)により提供)
 - ・ 標準報酬月額(8,000~35,000ペソ)の2.5%(200~875ペソ/月)が保険料。その内、雇用者が50%(100~437.50ペソ/月)を負担
- 貸付制度(Pag-Ibig)
 - ・ 保険料は200ペソ/月。その内、雇用主が50%(100ペソ)を負担。
- 有給休暇(Service Incentive Leave)5日(1年以上勤務した社員)
- 定年(60歳)退職金は2分の1ヶ月分の基本給(定年退職直前の額に13th monthと5日分の有給休暇を加えたもの)×勤続年数となる。

■ 雇用形態

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

- 正社員化する前に、「試用期間(Probationary period)」における雇用が認められている。6ヶ月を越すと、「正規雇用(Regular Employment)」をする義務がある。
- フィリピンでは合法的な解雇の方法もあるが実態は難しい。そのため、試用期間で評価を行い、正規雇用するか否かを判断することが重要。

■ 労働組合

- フィリピンにおける組合員比率は約1割
- ストライキは年間数件のみ
 - ・ ストライキは手続きを踏まなければ実施できない。手続きを踏まない場合は非合法となる。

5. 各種制度・規制 | (参考)薬剤師の給与水準

首都圏私立医療機関の新卒薬剤師の月収は、約12,000～15,000ペソ(約2万9千～3万6千円)ドラッグストアチェーン・個人薬局は、約20,000ペソ以上(約4万9千円以上)。

- 薬剤師の場合、首都圏の病院の新卒の給与は私立病院で12,000～15,000ペソ、公立病院で15,000～18,000ペソ
- 公立病院の初任給は私立病院よりも高いが、その後の賃金昇給が少ない
- ドラッグストアチェーン・個人薬局の初任給は病院よりも高く、20,000ペソ以上
- 薬剤師の採用は病院、ドラッグストア、製薬メーカー、市場調査会社などの間で獲得競争となっている

薬剤師の雇用先と給与比較

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

順位	雇用先	基本給(ペソ)	基本給(円換算)
1	ドラッグストアチェーン・個人薬局	約20,000ペソ以上	約4万9千円以上
2	公立病院	約15,000～18,000ペソ	約3万6千円～4万4千円
3	私立病院(首都圏)	約12,000～15,000ペソ	約2万9千円～3万6千円
4	私立病院(地方、首都圏以外)	8,000ペソまたは最低賃金	約1万9千円

※基本給は初任給を指す。

【参考】

- 私立病院の薬剤師の給与形態・手当・福利厚生例(St.Luke'sの場合)
 - ・ 給与形態は月給制で、勤務形態は週40時間勤務、週休2日、夜勤もある。夜勤の場合は夜間割増賃金が支払われる(法律では時給の10%以上と規定)
 - ・ 食事手当(120～150ペソ(290～360円))、職場までの無料送迎シャトルバス、制服支給などの手当・福利厚生が付く
- なお、マニラ首都圏の薬局スタッフの給与水準は481ペソ(約1,150円)/日であり、薬剤師の初任給の67%～83%の水準である。(※1か月21日換算)

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況

フィリピンの医療機器市場は、欧米系ブランドが浸透している。

フィリピンの医療機器市場に競合環境

フィリピンにおける主要企業

<現地企業>

- メディライン (MediLine)
元上院議員のマニー・ビリヤール氏の一族が所有する企業。政府調達に食い込んでいるが、民間セクターにはそれほど入り込んでいない。

<外資系>

- Abbott、Roche、GE、Philips、Siemens
- 最近是中国のMindray社の評価が高くなってきている。

競合環境

- 従来からの人的ネットワークが重要視される業界。
- 売り込む装置が極めて専門性の高いものか、とても数が少ないもの、もしくは提供している企業が一社しかない、などの場合を除いて、この市場に入り込むのは困難である。
- 業界全体として、高性能・高級品は欧米系、消耗品に近いものは中国、インド、韓国という認識が強い。
- 医療機器はほぼ輸入に頼っている(全体の90%程度)。国内では、主に注射器、絆創膏、インプラント、コンタクトレンズ等が生産されている。

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況 | 企業参入・競合状況

フィリピンにおける主な医療機器メーカー(1/2)

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

#	企業名	設立年	本社所在国・地域	総売上高 (百万ペソ)	包括利益 (百万ペソ)	払込済 資本金 (百万ペソ)	取扱製品	パート ナー
1	Abbott Laboratories Philippines	1937	United States	2,330 (2015)	1,259 (2015)	255 (2016)	Adult Nutrition, Pediatric Nutrition, Diabetes Care, Pharmaceuticals, Diagnostics	
2	Fujifilm Philippines Inc.	2012	Japan	228 (2016)	58 (2016)	160 (2016)	X-ray Imaging and Diagnostic Systems, “Synapse” Medical-use picture archiving and communication systems, dry imaging films/ dry imagers, x-ray films, radiopharmaceuticals, digital endoscopes, nucleic acid isolation systems, healthcare products	SonoSite Philippine s (subsidiar y)
3	GE Philippines, Inc.	1935	United States	-	-	-	(medical) CT Scan, MRI, Digital Mammography, PET/CT, ultrasound, patient monitoring devices	Proser Health Services
4	Johnson & Johnson (Phils.) Inc.	1956	United States	1,319 (2014)	369 (2014)	44.5 (2015)	Energy for open and laparoscopy procedures, Endocutter technologies, materials and devices for biosurgery, wound closure, sterilization, ear-nose- throat, arrhythmia, orthopaedics, breast aesthetics, diabetes care, vision care.	Patient Care Corporati on (PCC)
5	Kodak Philippines, Ltd. (Carestream)	1948	United States	1,432 (2015)	27 (2015)	N/A (foreign stock)	Radiography systems, ultrasound, cone beam, x-ray systems, Dental imaging, non-destructive radiography testing	Patient Care Corporati on (PCC)

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況 | 企業参入・競合状況

フィリピンにおける主な医療機器メーカー(2/2)

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

#	企業名	設立年	本社所在国・地域	総売上高 (百万ペソ)	包括利益 (百万ペソ)	払込済 資本金 (百万ペソ)	取扱製品	パートナー
6	Philips Philippines Inc.	1918	Amsterdam	-	0.5 (2015)	10 (2015)	Ultrasound, sleep and respiratory care solutions	Medical One, Respicare Enterprises
7	Roche (Philippines) Inc.	1962	Switzerland	739 (2015)	180 (2015)	300 (2016)		Zuellig Pharma
8	Siemens, Inc. (Philippines)	1894	Germany	171 (2015)	76 (2015)	95 (2016)	Mammogram, automated breast volume scanning ultrasound system, CT Scan, surgical angiography suites, imaging & IT, microbiology, molecular diagnostics	2005-Medical One
9	Sysmex Philippines Inc.	2000	Japan	218 (2015)	36 (2016)	100 (2016)	clinical IVD and health IT products and services, hematology and hemostasis analyzers	Zafire Distributors, Inc.
10	Terumo Marketing Philippines, Inc.	2000	Japan	15 (百万ドル) (2016)	5 (百万ドル) (2016)	-	Interventional systems, Cardiovascular systems, Blood Management, General hospital, Consumer Healthcare	-

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況 | 企業参入・競合状況 日系企業の評価

医療機器の分野において、フィリピンでは日本製品の存在も認識されているが、依然として欧米ブランドの認知度が相対的に高い状態である。

フィリピンの医療機器・医薬品市場における日本の位置付け(現地医療関係者の認識)

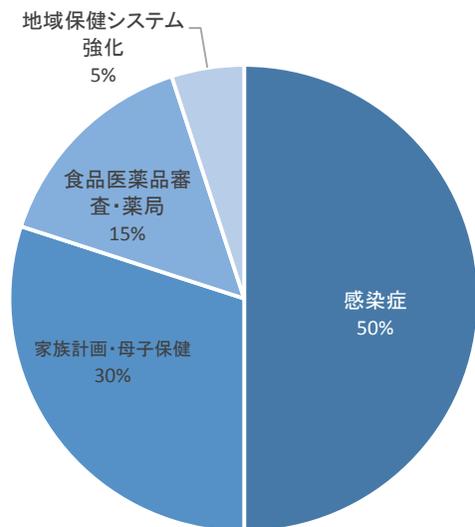
	医療機器	医薬品
強み	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器の耐久性に関する評価は日本製品の特徴として認識されている。 日本製品は高い技術力を備えているとの評判を持っており、特に、最新テクノロジーの分野ではトップの競争力を持っていると見られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品では、泌尿器領域医師とのコンタクトが強く、強固な信頼関係を構築していることや、営業及びマーケティング機能を中心とした機能診断、実行可能な機能強化ロードマップを策定し、着実な実行により成長加速を推進していることを挙げている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 欧米ブランドの認知度が高いため、日本製品が市場に浸透するためには時間がかかる。 日本製品は耐久性でも知られているが、<u>耐久性については欧州ブランドの方がもっと認知度が高い。</u> ビジネスを行うならば民間病院へのアプローチが中心になるが、<u>多くの民間病院には既に欧米系の企業が入り込んでおり、牙城を崩すのは容易ではない。</u> 一方、消耗品に近い製品は中国や韓国企業との価格競争は避けられない。 	<ul style="list-style-type: none"> 政府の医療費抑制策の強化によりジェネリック品増加による競争激化をあげている。 また、フィリピンの「製薬協」に加盟し業界のプロモーションコードを遵守しているのは外資系製薬企業のみである。一方、ローカル企業はプロモーションコードに縛られず自由なプロモーション活動が出来るため、ローカル企業と公正な競争が出来る市場環境ではないことを挙げている。

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況 | JICAによる支援

日本政府によるフィリピン保健セクターへの支援は1960年代から開始され、これまで約40件(うち、無償資金協力20件、技術協力20件程度)の支援実績を有する。

- 対象地域の選択と集中を行い、施設整備(ハード面)とシステム整備(ソフト面)の組み合わせにより、主に母子保健(家族計画、ポリオ・麻疹等予防接種関連対策、母子保健システム強化)と感染症対策(結核対策、マラリア、HIV/AIDS対策、感染症研究機能強化)に関連した協力を重点的に実施している。
- 無償資金協力では、マニラ首都圏の保健省施設(熱帯学研究所、食品薬品試験所)、マニラ、セブ、ダバオの3大都市に所在するトップリファラル病院を対象とした施設整備と、同州内の下位医療施設への医療機材供与が中心となっている。
- 支援特徴として、無償資金協力を通じた病院や保健施設の設置、機材整備等インフラ向上のための一定規模の投入や、それら施設を活用した技術協力の組み合わせによる総合力があげられる。
- 2005年以降は、コーディレラ地域、東ビザヤ地域を重点的に支援している。両地域における取組では着実な成果が見られている。

過去の技術協力の実績内訳



施設分娩率の推移

支援地域	実績	
東ビザヤ地域	2010年 約60%	→ 2014年 約90%
コーディレラ地域	2012年 78%	→ 2013年 83%

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況 | JICAによる支援

保健セクターにおけるJICAの支援(1/2)

プロジェクト名	協力期間	事業目的	事業内容	実施機関	国内協力機関
コーディレラ地域保健システム強化プロジェクト	2012年2月～ 2017年2月	コーディレラ地域において、母子保健サービスが効果的・効率的に提供されるための保健システムが強化される	保健サービスが十分整備されていないルソン島北部のコーディレラ地域において、母子保健サービス(施設分娩や産前産後健診など)を中心に、地域の保健システム強化を支援するもの。保健施設の整備、保健人材への研修、フィルヘルスへの加入促進、施設認証の支援等を含む。フィリピンNational Economic and Development Authority(NEDA)の2014年グッド・プラクティス賞を受賞。	保健省コーディレラ地域局他	—
東ビサヤ地域母子保健サービス強化プロジェクト	2010年7月～ 2016年7月	東ビサヤの対象地域において安全な分娩と産前産後のケアを受ける妊産婦と新生児が増加する	東ビサヤ地域を対象に基礎的緊急産科・新生児ケアの体制整備を支援し、母子保健サービスの質的改善を目指すもの。基礎的緊急産科・新生児ケアサービス提供施設の整備、保健医療従事者への技術支援、自治体への政策的支援等	保健省東ビサヤ保健開発センター	—
小児呼吸器感染症の病因解析・疫学に基づく予防・制御に関する研究プロジェクト(SATREPS)	2011年4月～ 2017年3月	フィリピンにおいて小児肺炎の死亡率低減に寄与でき、かつ実施可能な治療・予防法を確立するための新たなエビデンスが得られる	熱帯医学研究所(過去に無償資金協力、技術協力で支援)と東北大学大学院の共同研究を通じ、小児肺炎の病因・疾病負担・リスク要因を明らかにし、有効な介入を検討するもの。	保健省熱帯医学研究所(RITM)	東北大学大学院医学系研究科

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況 | JICAによる支援

保健セクターにおけるJICAの支援(2/2)

プロジェクト名	協力期間	事業目的	事業内容	実施機関	国内協力機関
台風ヨランダ災害復旧・復興計画 (RHU/EVRMC-OPD)	2014年5月～ 2017年5月	台風ヨランダの被災地域において、医療施設・学校・政府庁舎等の社会インフラや経済インフラ、防災インフラ等の早期復旧・復興(施設建設、機材調達)等につき優先度の高いものを支援し、もって災害に強い社会の形成に寄与するもの	被災した東ビサヤ地域医療センター(EVRMC)の外來棟及び地域の保健医療施設の復旧・復興の支援	保健省	—
包括的PPP能力強化技術協力プロジェクト	2014年～ 2017年	フィリピンのPPP分野の人材育成を目的に、フィリピン政府実施機関の官民連携(PPP)事業の案件形成・実施能力の強化を図るもの	研修、ワークショップ、マニュアル作成支援等	保健省、 公共事業道路省等	—
保健セクター専門家	2014年4月～ 2017年7月	—	—	保健省	—

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況 | JICAによる支援

JICA のフィリピン保健セクターへの支援事業一覧 施設整備・機材供与に係る支援(完了済事業のみ)

実施期間	事業名	備考
1979年	熱帯医学研究所施設設立計画	
1984年	国立がんセンター医療機材整備計画	機材供与のみ
1985年	食品医薬品試験所設立計画	
1986年	国立小児病院用機材整備計画	機材供与のみ
1987年	国立心臓病センター機材整備計画	機材供与のみ
1987年	フィリピン総合病院外来棟建設計画	
1993年	ビセンテ・ソット記念医療センター外来棟拡充計画	
1996～2001年	エイズ対策(サンラザロ病院中央リファレンス検査室整備)	
1998年	ベンゲット州医療体制改善計画	
2000年	国立結核研究所設立計画	
2010年	オーロラ記念病院改善計画	
2010年	ダバオメディカルセンター整備計画	

7. 日本企業のビジネスチャンスと課題

7. 日本企業のビジネスチャンスと課題 | 医療機器市場

フィリピンの医療機器市場は成長ポテンシャルはあるが、現場で医療機器活用実態やニーズを把握していく必要があると言われている。

フィリピンの医療機器市場に関する関係者の声

市場全般の動向

- 医療市場はマニラに偏っている(マニラの人口は全国の7割以上を占める)。(医療機器メーカー)
- 財閥系企業による民間病院事業への進出事例が増えてきている。(支援機関)
- 所得も増加しており健康への感心が高まってきているが、依然として医療サービスに対する国民の意識は受身的(医療費が高いため)。(支援機関)

医療機関による調達動向

- 医療機器のニーズに関しては、それぞれの病院の専門性によって異なる。(公立医療機関)
- 民間大規模病院に関して、パンギリナン・グループ(Metro pacific investments)等が所有する病院の数の力を使って、医療器具などの価格を低く抑えるための交渉力を強めている。(支援機関)
- 小規模病院に関して、新しい独立系の病院が建てられているが、これらは新しい病院であるために、一番安い価格の製品をできるだけ買おうとする傾向がある。(支援機関)
- 医療技術に関する専門家の数が不足していること、特にMRIやCTスキャンなどのような大型装置の専門家が少ない。(公立医療機関)

企業参入の可能性

- 売り込む機器が極めて専門性の高いものか、とても数が少ないもの、もしくは提供している企業が一社しかない、などの場合を除いて、この市場に入り込むのは簡単ではない。(支援機関)

商習慣等

- ビジネスでは、人とのコネクションや調和を大事にする。市場は従来的人的ネットワークが重視される世界であり、新規の業者が市場に入り込むのは困難。(医療機器メーカー)
- 資金が不足している側面もあるが、ものを大事に扱うことが多い(医療機器の耐用年数を超えても使用し続けている等)。(医療機器メーカー)

他地域の主要都市と比較して、マニラ首都圏域の都市における所得は高い。

フィリピン主要都市毎の世帯の平均所得

1ペソ=2.28円(2017年3月時点)

都市名	世帯の平均所得(ペソ)
Makati City(マニラ首都圏)	388,592 - 571,178
Quezon City(マニラ首都圏)	372,221 - 477,844
Paranaque City(マニラ首都圏)	359,129 - 548,971
Manila City(マニラ首都圏)	340,388 - 412,692
Pasig City(マニラ首都圏)	311,377 - 439,345
Taguig City(マニラ首都圏)	307,334 - 371,758
Caloocan City(マニラ首都圏)	271,945 - 332,770
Muntinlupa City(マニラ首都圏)	248,106 - 433,179
Cebu City(セブ)	208,329 - 247,325
Davao City(ダバオ)	147,005 - 212,653

7. 日本企業のビジネスチャンスと課題 | 医療機器市場

アジア主要国では日本製品が浸透しつつあるが、フィリピンでは未だ限定的である。

超音波診断装置(HSコード:901812)の各国・地域輸入額に占める輸入先シェア

輸入国・地域	輸入先1位	輸入先2位	輸入先3位
フィリピン	韓国(38.9%)	米国(18.5%)	中国(12.8%)
中国	米国(44.1%)	韓国(13.8%)	オーストリア(11.8%)
台湾	米国(45.2%)	日本(28.9%)	韓国(6.1%)
韓国	米国(50.6%)	日本(20.3%)	中国(5.8%)
マレーシア	日本(30.7%)	米国(22.5%)	韓国(15.1%)
ベトナム	日本(30.5%)	韓国(29.6%)	中国(23.1%)
タイ	米国(34.4%)	韓国(23.9%)	中国(23.5%)
インドネシア	韓国(28.4%)	米国(28.4%)	中国(17.4%)
インド	中国(24.7%)	米国(22.5%)	韓国(21.4%)
シンガポール	日本(33.9%)	米国(30.2%)	韓国(9.5%)

CT(HSコード:902212)の各国・地域輸入額に占める輸入先シェア

輸入国・地域	輸入先1位	輸入先2位	輸入先3位
フィリピン	日本(32.9%)	中国(31.0%)	米国(14.2%)
中国	ドイツ(35.6%)	日本(30.6%)	米国(25.3%)
台湾	日本(43.4%)	ドイツ(19.4%)	米国(17.1%)
韓国	ドイツ(44.1%)	日本(22.2%)	中国(13.8%)
マレーシア	ドイツ(48.1%)	中国(26.0%)	米国(14.5%)
ベトナム	中国(41.1%)	日本(23.7%)	ドイツ(17.1%)
タイ	日本(38.6%)	中国(26.7%)	米国(10.0%)
インドネシア	中国(63.5%)	ドイツ(10.7%)	米国(9.8%)
インド	中国(36.6%)	米国(21.9%)	ドイツ(16.0%)
シンガポール	日本(40.8%)	ドイツ(19.9%)	中国(15.4%)

心電計(HSコード:901811)の各国・地域輸入額に占める輸入先シェア

輸入国・地域	輸入先1位	輸入先2位	輸入先3位
フィリピン	シンガポール(32.5%)	ブルガリア(23.7%)	中国(14.2%)
中国	米国(34.3%)	日本(26.0%)	カナダ(15.6%)
台湾	米国(41.3%)	ドイツ(25.3%)	日本(11.3%)
韓国	米国(49.8%)	カナダ(12.0%)	オーストリア(8.7%)
マレーシア	トケラウ(44.0%)	米国(20.2%)	中国(11.4%)
ベトナム	日本(40.1%)	中国(20.7%)	米国(18.3%)
タイ	米国(27.9%)	ドイツ(20.9%)	日本(20.0%)
インドネシア	韓国(28.9%)	日本(14.0%)	英国(12.6%)
インド	中国(71.0%)	米国(13.0%)	ドイツ(5.0%)
シンガポール	カナダ(38.6%)	米国(28.3%)	ドイツ(11.9%)

歯科用エンジン(HSコード:901841)の各国・地域輸入額に占める輸入先シェア

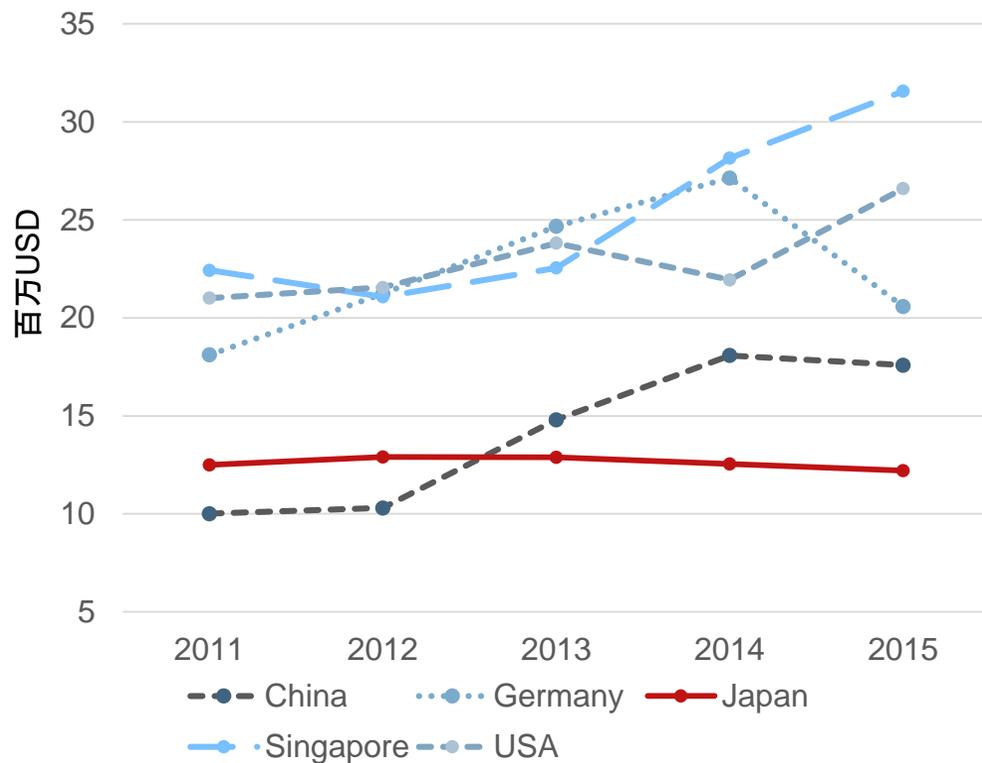
輸入国・地域	輸入先1位	輸入先2位	輸入先3位
フィリピン	スイス(33.5%)	ドイツ(29.3%)	香港(11.2%)
中国	ドイツ(32.7%)	日本(32.3%)	アイルランド(10.9%)
台湾	ドイツ(33.2%)	日本(21.9%)	オーストリア(13.7%)
韓国	日本(42.9%)	オーストリア(30.0%)	ドイツ(19.0%)
マレーシア	シンガポール(35.3%)	スロベニア(12.5%)	フィンランド(10.4%)
ベトナム	日本(38.1%)	オーストリア(33.2%)	米国(11.4%)
タイ	日本(58.0%)	米国(19.2%)	韓国(11.8%)
インドネシア	スイス(42.9%)	日本(40.5%)	韓国(12.7%)
インド	ブラジル(49.9%)	中国(14.3%)	スイス(7.1%)
シンガポール	日本(31.8%)	米国(17.3%)	ドイツ(16.2%)

7. 日本企業のビジネスチャンスと課題 | 医療機器市場

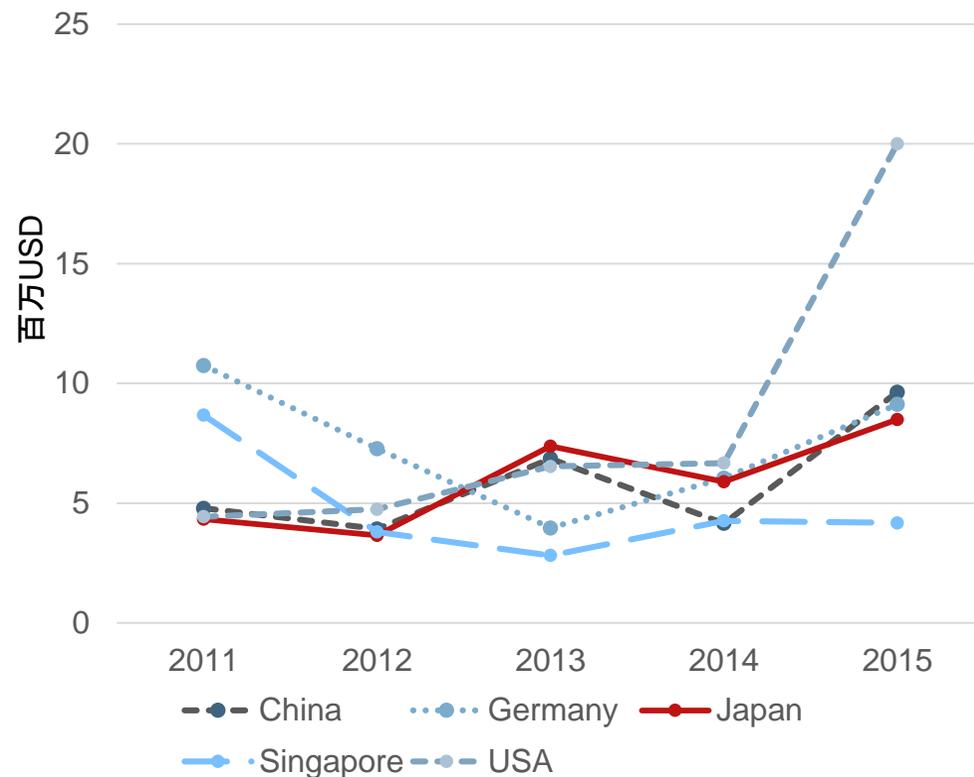
日本は医療機器の輸出において上位5カ国に含まれるものの、中国や欧米に比べて相対的に低い。

■ フィリピンへの医療機器輸出国上位5カ国の状況は以下の通り。

Philippine import data for medical instruments and appliances (外科・歯科器具、獣医学系器具等)



Philippine import data for apparatus based on x-rays or other radiations (X線等の装置類)



7. 日本企業のビジネスチャンスと課題 | (参考) 医薬品市場

フィリピンにおいて、医薬品は約60%が輸入品である。また、医薬品販売事業者による独占、寡占等により、病院外で購入する医薬品価格は高額である。

- 医薬品の60%が輸入品で、40%が国産(パウダーを輸入し、フィリピン国内でカプセル詰めするのは、製造とみなす)であり医薬品の輸入傾向としては、インド、アメリカ、韓国などからが多い。
- 保健省(DOH)は、ジェネリック法に基づき公立病院での処方薬には、価格の安いジェネリック薬しか認めない。一方、病院外薬局での医薬品価格は非常に高い(インドやタイと比べて10倍近く高いといわれる)。
 - 輸入品が多く、また卸売業者やチェーン展開するドラッグストアが独占、寡占状況にあるため高額となっている。
 - 例えば、卸売業者のZUELLIG社のシェアは約80%である。また、ドラッグストアをチェーン展開するマーキュリードラッグ(Mercury Drug)や医薬品の製造販売会社のユニラブ(UNILAB)も独自の流通システムを持っている。
- 保健省(DOH)では、医薬品価格競争が誘発されることを期待して、並行輸入により流通量の増加を試みている。

医薬品を取り巻く事業者の状況

- 薬局の数は、2013年末で2万軒弱あるうち、マニラ首都圏に約5,000軒、中部ルソン地方に2,300軒が集中している。例えば、マーキュリードラッグ(Mercury Drug)のように大手企業がドラッグストアとしてチェーン展開をしており24時間営業も珍しくない。
- 医薬品を販売するためには、保健省の食品薬事管理局(FDA)の認可を受け登録する必要がある。新薬の承認には6~12か月かかる。
- 現在、47万の医薬品の約半分が製品登録証明(CPR)を更新して有効である。3年ごとの更新が必要である。

注)DOHによれば、「バランガイの薬店」の正式名称は「Botika ng Barangay」であり、NGOやLGUが管理している薬店として正式に認証を受けている。薬店では監督薬剤師が配置されている。一般的な病気に対するジェネリック、OCT医薬品を購入することが出来る。

フィリピン医薬品流通業者数(2013年12月31日時点)

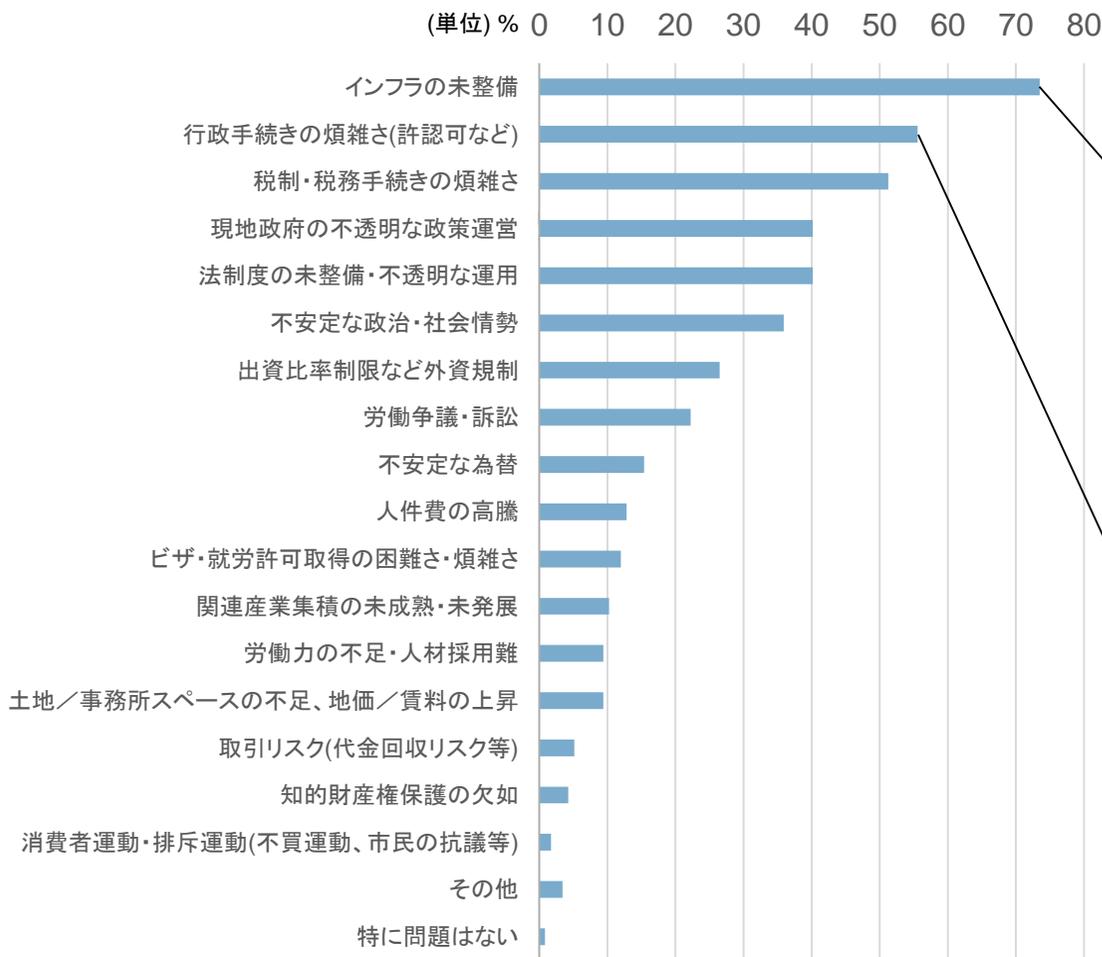
#	業種	件数
1	製造業	316
2	販売業	411
3	輸入業者	629
4	輸入・卸業者	451
5	卸業者	3,698
6	バランガイの薬店※	7,741
7	薬局	19,788

出所) Philippine Statistical year book 2015、保健省HP、厚労省「海外における医療ニーズ等及び国内企業の海外進出状況等調査及び分析業務報告書」よりNRI作成

7. 日本企業のビジネスチャンスと課題 | フィリピン市場全般

フィリピンに進出する日系企業からは、 インフラの未整備や行政手続きの複雑さが課題として挙げられている。

フィリピンにおける投資環境面でのリスク



出所) JETRO「2015年度アジア・オセアニア進出日系企業実態調査」

○インフラの未整備

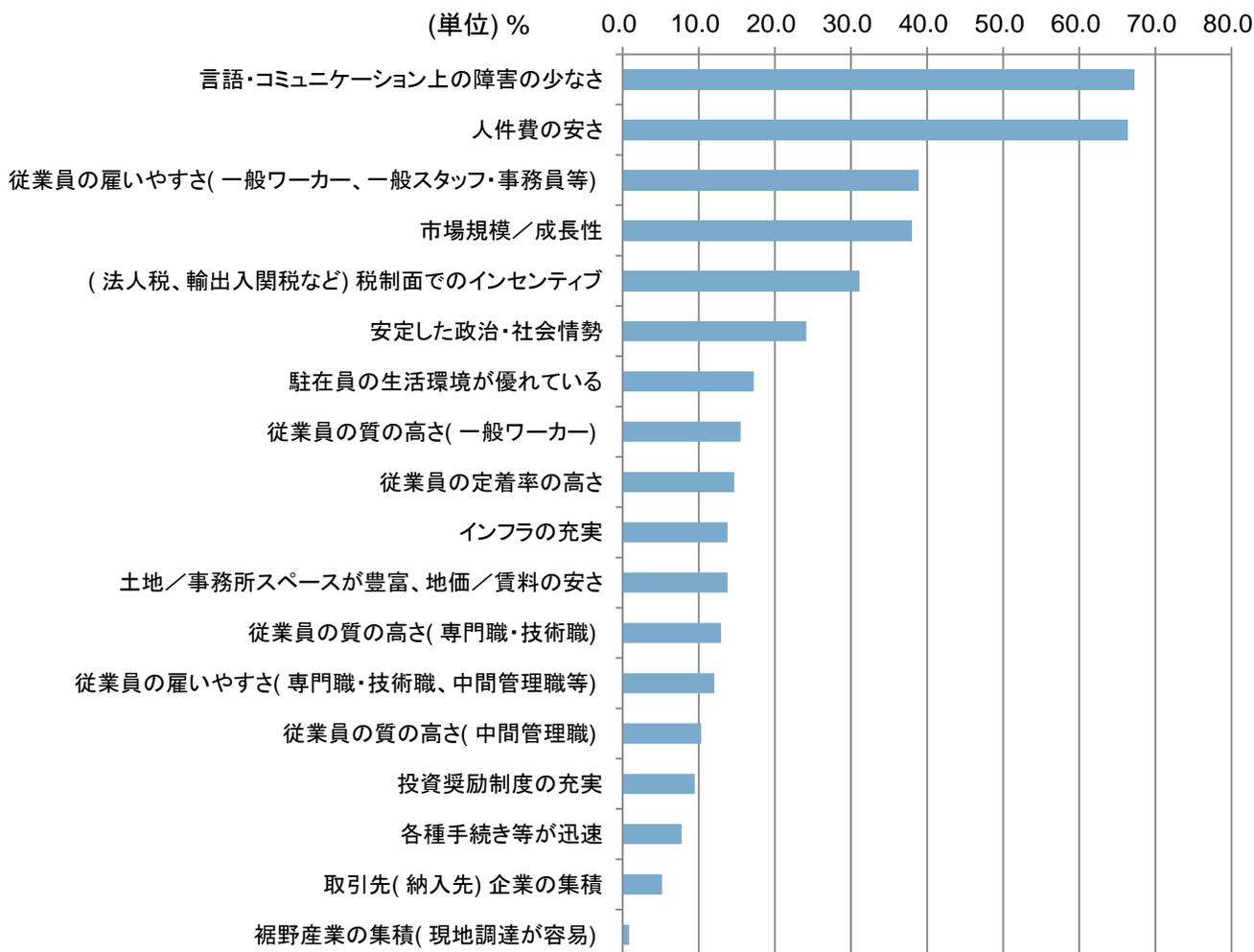
- 空港、港湾、道路などの整備に係る政策実行能力の低さが課題として挙げられている。
- 中でもアジアで最も高い水準の電力料金が問題視されている。

○行政手続き、税務手続きの煩雑さ

- 政策の急な変更や、新規制によりコストを負うことがある。また、担当官により判断が変わることがあり要注意。
 - 例①右ハンドルの中古車が全面的に輸入禁止になるなどの変更
 - 例②マニラ港でのコンテナトラック渋滞緩和のため、利用を時間により有料化するなどの新規制を課すなどの変更

フィリピンに拠点を置く日系企業は、フィリピンの労働資源の良さを主に掲げている。

フィリピンにおける投資環境面でのメリット



○英語人材が豊富

- ・英語でのコミュニケーションが可能のため、技術移転が早い
- ・法律・公文書などは英語で公表
→英語でビジネスが可能

○人件費が安い

- ・人件費上昇が緩やか
- ・最低賃金からの雇用が可能
- ・労働争議がほぼ皆無(日系企業の場合)

○労働者供給が十分

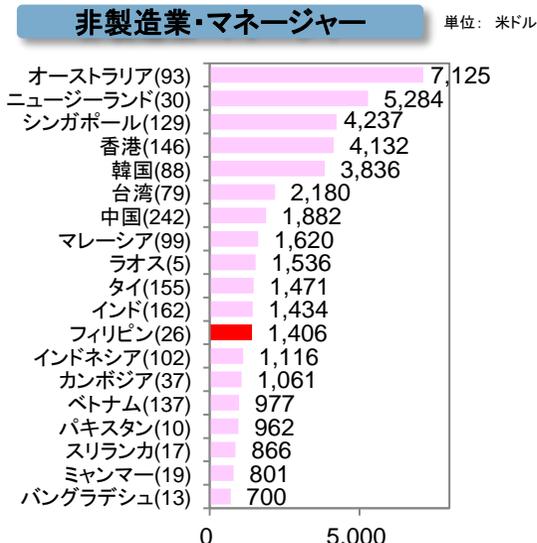
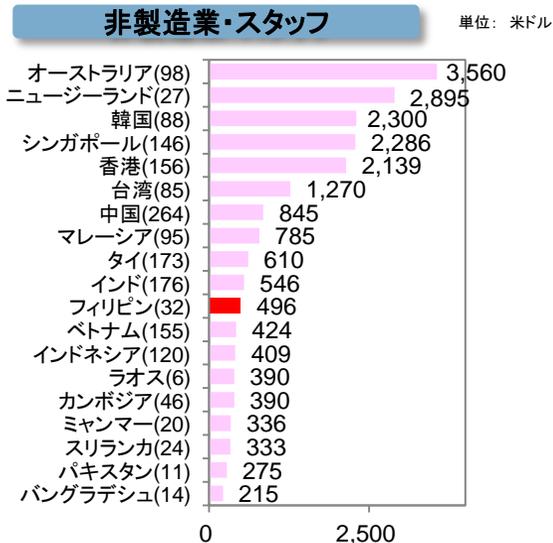
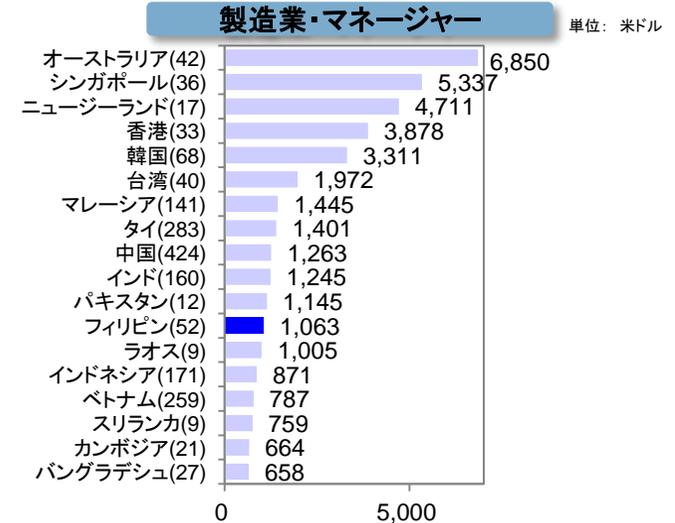
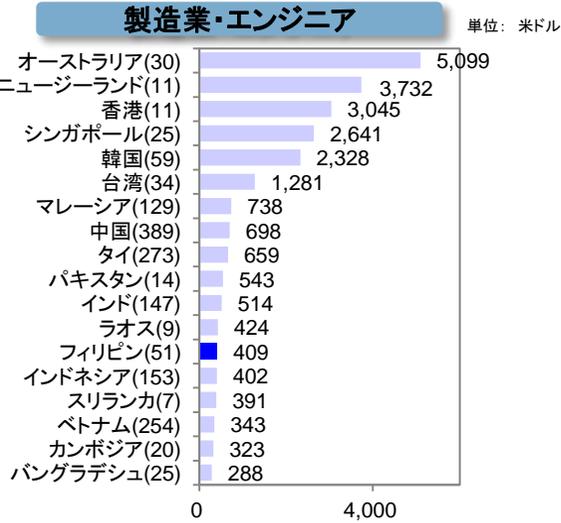
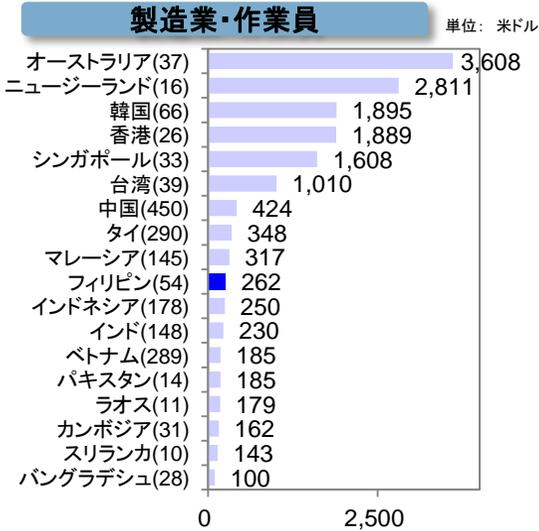
- ・労働者を雇いやすい

○国民性・気質

- ・対日感情の良さ
- ・明るく楽観的な気質を有する国民が多い
- ・ホスピタリティのある気質を有する国民が多い

7. 日本企業のビジネスチャンスと課題 | フィリピン市場全般

フィリピンの労働市場においては、労働者の基本給は他国と比較して割安感がある。



基本給: 諸手当を除いた給与、2015年10月時点。

※グラフ中のカッコ内は回答企業数を指す。

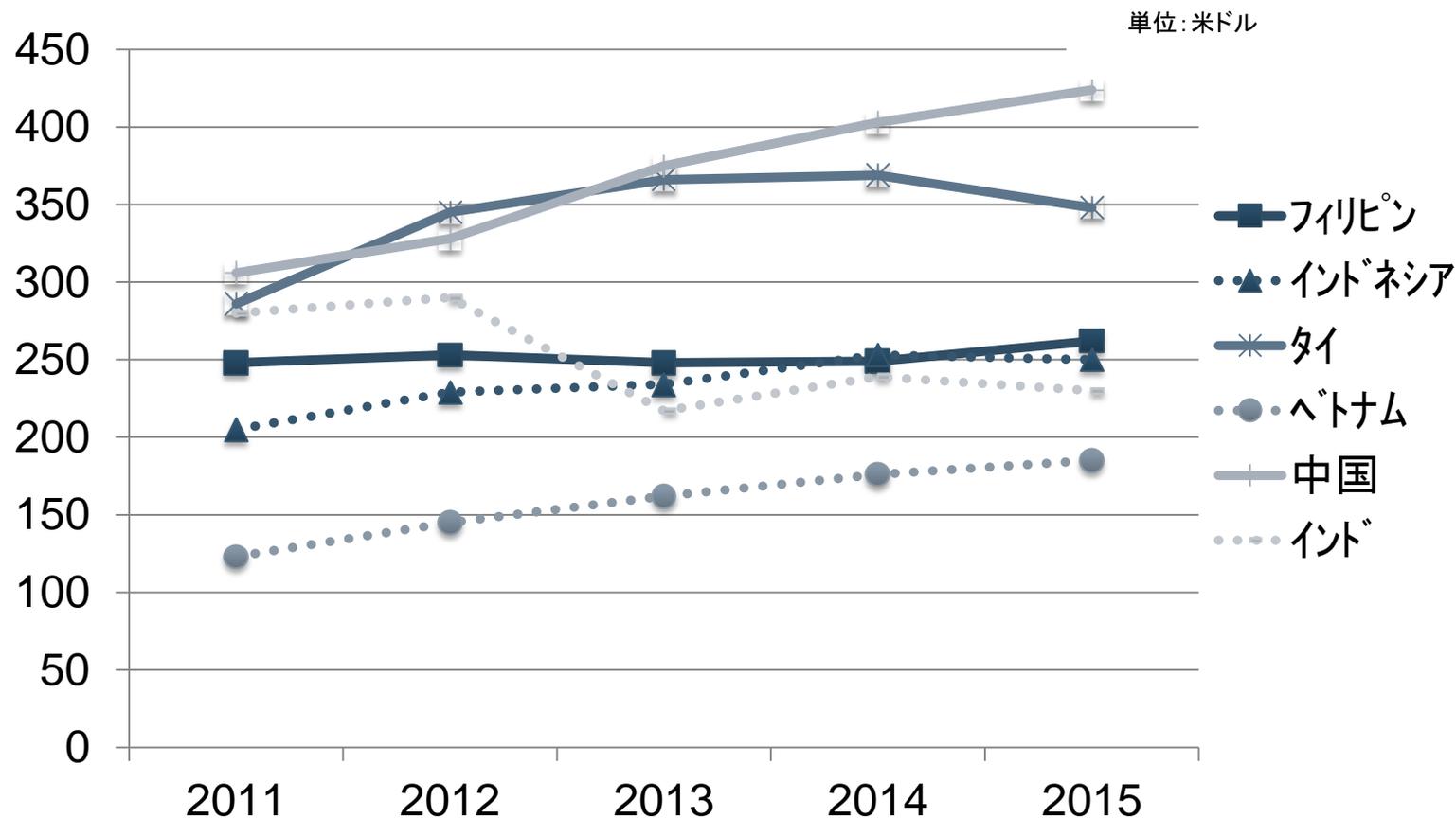
- ・作業員: 正規雇用の一般職種で実務経験3年程度の場合。請負労働者および試用期間中の作業員を除く。
- ・エンジニア: 正規雇用の中堅技術者で専門学校もしくは大卒以上、かつ実務経験5年程度の場合。
- ・マネージャー(製造業): 正規雇用の営業担当課長クラスで大卒以上、かつ実務経験10年程度の場合。
- ・スタッフ: 正規雇用の一般職種で実務経験3年程度の場合。ただし派遣社員および試用期間中の社員は除く。
- ・マネージャー(非製造業): 正規雇用の営業担当課長クラスで大卒以上、かつ実務経験10年程度の場合。

注: カンボジア以外の国・地域については、回答は自国・地域通貨建て(ただし、ミャンマーは自国通貨建て、米ドル建ての選択式)。各職種の自国・地域通貨建て賃金の平均値を、2015年10月の平均為替レート(各国・地域中央銀行発表、中国は外貨管理局発表)で米ドルに換算。ミャンマーは、回答企業によって通貨が異なる(自国通貨建てまたは米ドル建て)ため、自国通貨建ての企業の回答を米ドルに換算した上で平均をとった。

7. 日本企業のビジネスチャンスと課題 | フィリピン市場全般

経年でのアジア各国との比較をみても基本給月額は安定して推移している。

日系製造企業における従業者基本月額額の平均値推移



7. 日本企業のビジネスチャンスと課題 | (参考)フィリピンにおける支援体制

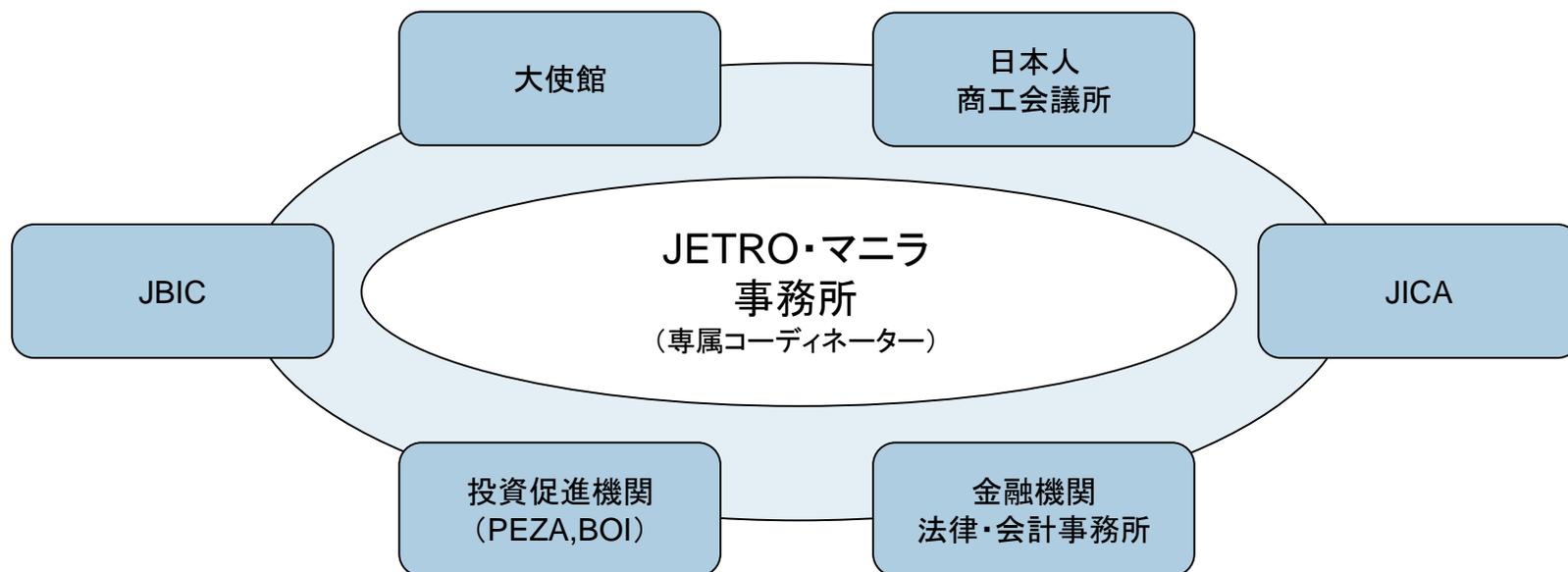
JETRO・マニラ事務所では、フィリピンにおける中小企業のビジネス展開のための支援プラットフォームを整備・構築している。

海外展開に係る幅広い相談に対して
一元的に対応

- 専属コーディネーターを配置し各種情報提供、個別相談への対応を一層強化。
- さらに当地の官民支援機関とのネットワークを通じて幅広い相談に対応。

個別課題に対して適切な専門家に
連携

- 相談に応じて、企業設立、金融、工場立地、オフィス立地、採用支援、法務、労務、税務、会計などの専門家を紹介。



7. 日本企業のビジネスチャンスと課題 | (参考)その他の動向

医療関連の問題点や今後のニーズに関する関係者の声

類型	内容
医療機器の保守及びシステム関連	<p>メンテナンス体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none">フィリピンにはモニター、テスト、メンテナンス業者がないため、10年前に導入した機器が今も正しく機能しているという保証がないのが現状である。 <p>医療ITインフラの整備</p> <ul style="list-style-type: none">Philhealth(フィリピン健康保険公社)からの給付は、手続きに3か月~6か月経ないと支払いを受けられない。また、各病院で別々のITシステムを使っている。この点でのIT対応が重要である。
医療人材の育成と配置	<p>医療従事者に係る格差</p> <ul style="list-style-type: none">今後は医療人材の育成と確保に取り組む必要がある。遠隔医療で、地方を都市の医師と繋げるアイデアもある。医療従事者の配分の不均衡が問題である。医療従事者の給料は、地方と都市、国内と国外で格差がある。解決に効く切り札はないが、Philhealth(フィリピン健康保険公社)の財源からインセンティブが増すと考えられる。

7. 日本企業のビジネスチャンスと課題 | (参考)その他の動向

日本の医療機器企業による進出可能性・留意点に関する関係者の声

類型	内容
医療ツーリズム振興に伴う需要の増加	<ul style="list-style-type: none">民間病院においては、グアムやサモアなど英語圏からの人々を医療ツーリズムで受け入れており、ここでは高度な医療機器の需要もある。現在、国際的医療評価機関(JCI:Joint Commission International)の認定を受けている病院は、マカティメディカルやメディカルシティ、セントルーク病院など10施設もない。今後認定病院の増加が期待できると、医療機器需要も増えるであろう。
進出方法の検討	<ul style="list-style-type: none">フィリピン政府は公的病院の近代化に注力しており、医療機器の需要が増加すると見込まれる。したがって日本の医療機器企業にとって、進出の大きなチャンスであると考えられる。医療機器は多岐にわたるため、製品によって製造工場を建設するか、販売拠点を設置し輸出先とする、現地パートナーと提携する等、進出形態は異なると考えられる。また、アジア諸国のなかでフィリピンの戦略的位置づけも検討が必要である。まずは、JICAやJETROの支援プログラム等を活用しながら現地を見てみることも考えられる。
更なるPRの必要性	<ul style="list-style-type: none">民間病院においても、日本製品の品質の良さは認識されているところであるが、製品の認知度、製品へのアクセスの機会が欧米と比べてまだまだ低い。

7. 日本企業のビジネスチャンスと課題 | (参考)その他の動向

投資環境や経済動向に関する関係者の声

類型	内容
比較的低額な労働賃金	<ul style="list-style-type: none">賃金について、労働力が豊富であり、かつ失業率が高止まり(2012年で7.1%)であるためASEAN諸国の中では賃金は低く、上昇率も年5%位にとどまっている。
高額な電気料金	<ul style="list-style-type: none">電気料金は高い。日本、シドニー、マニラはともに一般用で1KWh当たり、0.30米ドルほどである。これと比較すると、ジャカルタは0.08米ドル、ホーチミン及びハノイは0.09米ドル、上海0.13米ドルであり、東南アジアにおいてマニラの高さが際立っている。BOI(投資委員会)がいろいろな税優遇措置、インセンティブを提供している。
最近の医療関係の動向	<ul style="list-style-type: none">(2015年2月4日のマニラ新聞記事) フィリピン国内最大手の製薬会社、ユナイテッド・ラボラトリー社は、メディカル・センター・マニラなど首都圏近郊の中堅病院を買収した。医薬品販売が低調となったことへの対応策とみられる。(The Daily NNA フィリピン版、2014年10月) フィリピン保健省は、PPPを通じて民間企業の技術と資金を活用し、老朽化が進み、収容能力が限界に達する公立病院を生まれ変わらせる。(The Daily NNA フィリピン版、2014年5月) 国際協力機構(JICA)の官民パートナーシップ(PPP)方式インフラ事業の実施に向けた「協力準備調査」に、日本企業が計画するフィリピンの「外来手術センター・病院開発事業」が採択された。 →フィージビリティスタディが終了した状態であり、今後の動向は未定である。

7. 日本企業のビジネスチャンスと課題 | (参考)その他の動向

医療関連分野の問題点に関する関係者の声

類型	内容
政策面	<p>医療政策における中央及び地方政府の意識ギャップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健省は、病院や産院等の保健分野に力を入れているがLGU(地方政府)では保健分野のプライオリティーは必ずしも高くなく、病院の改善が難しい。 <p>医療分野におけるPPPの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 現政権は、病院の経営、設備、薬局の向上に力を入れているが、病院の近代化には近代的医療機器が必要であり、維持管理の面でもPPPのスキームが必要である。 PPPスキームの活用に関して、政府は否定的ではないが、現状注目すべきプロジェクトは進行していない。
国民皆保険制度	<p>費用負担に係る制度の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> Philhealthの給付は、医薬品については病院が出したものに給付が行われ、病院外で購入するものには適用されない仕組みである。しかし、病院内給付の実施状況がよくない。医師によっては、病院に在庫がないといって出さず、自分の持つ薬局で高めの薬を買わせるといったことがある。 No Balance System(公的病院における、貧困者に対する支払い免除制度)がうまく行っていない。公的病院への不信から、民間病院にかかるためわずかな財産を売って貧困が深刻化する例もある。 <p>民間病院における診療・治療報酬制度整備の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間病院での手術のプロフェッショナル・フィーには定額がない。例えば、盲腸ならこの金額などと一定にする標準価格が必要であるが、そうするには時間が掛かる。

参考

主要出所一覧(1/3)

	主要出所名	URL
政策・計画・ 政府刊行物	フィリピン政府HP	http://www.gov.ph/
	保健省 (Department of Health)	http://www.doh.gov.ph/
	国家経済開発庁 (National Economic and Development Authority(NEDA))	http://www.neda.gov.ph/
	予算行政管理省 (Department of Budget and Management (DBM))	http://www.dbm.gov.ph/
	財務省 (Department of Finance)	http://www.dof.gov.ph/
	社会福祉開発省 (Department of Social Welfare and Development)	http://www.dswd.gov.ph/
	労働雇用省 (Department of Labor and Employment)	https://www.dole.gov.ph/
	貿易工業省 (Department of Trade and Industry)	http://www.dti.gov.ph/
	Food and Drug Administration	http://www.fda.gov.ph/
	Health Facilities Development Bureau	http://www.doh.gov.ph/node/684
	General Appropriations Act, 2011, 2016, 2017	http://www.dbm.gov.ph/?page_id=14556
	Aquino Health Agenda	http://www.doh.gov.ph/sites/default/files/basic-page/aquino-health-agenda-universal-health-care.pdf
	National Objectives 2011-2016	http://www.doh.gov.ph/sites/default/files/publications/noh2016.pdf
	Sin Tax Law Incremental Revenue for Health Annual Report2016	http://www.doh.gov.ph/sites/default/files/publications/2016%20DOH%20Sin%20Tax%20Report.pdf
	INFORMATION SYSTEMS STRATEGIC PLAN(2015-2017)	http://uhmis.doh.gov.ph/index.php/downloads/146-information-system-strategic-plan-2015-2017
	Philippine Medical Tourism Program	http://www.doh.gov.ph/philippine-medical-tourism-program
	Philippine Health Agenda2016-2022	http://www.doh.gov.ph/philippine_health_agenda
	DOH「Administrative order NO.2012-0012」	http://hfsrb.doh.gov.ph/images/Hospital/issuances/ao2012-0012.pdf
	Philippines Statistical Yearbook 2011-2015	https://www.psa.gov.ph/tags/philippine-statistical-yearbook
	PhilHealth	https://www.philhealth.gov.ph/
	PhilHealth「List of Accredited Hospitals as of March 31, 2015」	https://www.coursehero.com/file/21252862/hospitals-032015pdf/
	DOH「Annual Report」	http://www.doh.gov.ph/node/6645
	THE 2016 REVISED IMPLEMENTING RULES AND REGULATINOS OF REPUBLIC ACT NO. 9184, OTHERWISE KNOWN AS THE GOVERNMENT PROCUREMENT REFORM ACT	http://www.gov.ph/images/uploads/20160826-IRR-RA-9184-procurement-reform.pdf
	Insurance Commission	http://www.insurance.gov.ph/
	BY THE PRESIDENT OF THE PHILIPPINES EXECUTIVE ORDER NO.184 「PROMULGATING THE TENTH REGULAR FOREIGN INVESTMENT NEGATIVE LIST」	http://www.sec.gov.ph/wp-content/uploads/2015/08/EONo.-184-The-Tenth-Regular-Foreign-Investment-Negative-List.pdf
	Board of Investment : BOI	http://www.boi.gov.ph/
	Republic of the Philippines Social security system	https://www.sss.gov.ph/
WAGE ORDER NO. NCR-19	http://www.nwpc.dole.gov.ph/pages/ncr/Download/reg%20ncr%20-%20wo%2019.pdf	
Commission of Audit「Annual Financial Report2015」	http://www.coa.gov.ph/index.php/reports/annual-financial-report	
Health Facilities Enhancement Program (HFEP)	http://www.doh.gov.ph/node/5878	
Philippine Government Electronic Procurement System (PHILGEPS)	https://www.philgeps.gov.ph/	

主要出所一覧(2/3)

	主要出所名	URL
ホームページ	METRO PACIFIC INVESTMENTS	https://www.mpic.com.ph/
	Dr. Jose Fabella Memorial Hospital	http://fabella.doh.gov.ph/
	East Avenue Medical Center	http://eamc.doh.gov.ph/
	Vicente Sotto Memorial Medical Center	http://vsmmc.doh.gov.ph/
	San Lazaro Hospital	http://www.slh.doh.gov.ph/
	Philippine General Hospital	http://www.pgh.gov.ph/en/
	Cagayan Valley Medical Center	http://cvmc.doh.gov.ph/
	Association of Medical Device Regulatory Affairs Professionals	https://pamdrap.org
	Pharmaceutical and Healthcare Association of the Philippines : PHAP	http://www.phap.org.ph/
	The Filipino Doctor.com	http://www.thefilipinodoctor.com/
	De Los Santos Medical center	http://delossantosmed.ph/
	Zuellig Pharma Holdings Pte. Ltd.	https://www.zuelligpharma.com/
	Metro Drug, Inc.	https://www.metrodrug.com.ph/
	United Laboratories, Inc.	http://pana.com.ph/directories/united-laboratories-inc/
	Sun Life of Canada (Philippines), Inc.	http://www.sunlife.com.ph/
	Philippine AXA Life Insurance Corp.	https://www.axa.com.ph/
	Philippine American Life and General Insurance Co.	http://www.philamlife.com/
	BPI Philam Life Assurance Corp.	https://www.bpi-philam.com/en/index.html
	Pru Life Insurance Corp. of UK	https://www.prulifeuk.com.ph/corp/prudential_en_ph/
	Sony Life Insurance Philippines Corporation	http://www.sonylife.com.ph/
	Maxicare Healthcare Corp.	https://www.maxicare.com.ph/
	Medicard Philippines, Inc.	https://www.medicardphils.com/
	Asianlife & General Assurance Corp.	https://www.asianlife.com.ph/asianlife/
	Caritas Health Shield, Inc.	http://www.caritashealthshield.com.ph/
	Prudential Guarantee and Assurance, Inc.	http://www.prudentialguarantee.com/
	Abbott Laboratories Philippines	http://www.abbott.com.ph/index.html
	Fujifilm Philippines Inc.	http://fujifilm.com.ph/Default.aspx
	GE Philippines, Inc.	http://www.ge.com/ph/
	Johnson & Johnson (Phils.) Inc.	http://www.jnj.ph/
	Kodak Philippines, Ltd.	http://www.kodak.com
	Philips Philippines Inc.	http://www.philips.com.ph/
	Roche (Philippines) Inc.	http://www.roche.com/careers/country/philippines.htm
	Siemens, Inc. (Philippines)	http://www.siemens.com.ph/
Sysmex Philippines Inc.	http://www.sysmex.com.ph/	
Terumo Marketing Philippines, Inc.	http://www.terumo.com/	

主要出所一覧(3/3)

	主要出所名	URL
統計データベース	Philippine Statistics Authority Global Trade Atlas	http://psa.gov.ph/ https://www.gtis.com/gta/
その他文献等	フィリピン共和国UHC情報収集・確認調査(JICA)	http://open_jicareport.jica.go.jp/980/980/980_118_12268223.html
	海外における医療ニーズ等及び国内企業の海外進出状況等調査及び分析業務報告書(厚生労働省)	http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000074947_3.pdf
	フィリピンにおける医療機器市場動向(2016年12月)(JETRO)	https://www.jetro.go.jp/world/reports/2016/02/4ad22943a3fc775b.html
	フィリピン 外資に関する奨励(JETRO)	https://www.jetro.go.jp/world/asia/ph/invest_03.html
	{フィリピン官民ミッション座談会}資料(JICA)	-
	フィリピン医療セクター進出を検討する企業のためのガイド(JICA)	-
	フィリピンの経済動向と日系企業の動き(JETRO)	-
	2015年度アジア・オセアニア進出日系企業実態調査(JETRO)	https://www.jetro.go.jp/world/reports/2016/01/6f26fd5b57ac7b26.html
	2015年海外情勢報告「第4節 フィリピン共和国」(厚生労働省)	http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kaigai/16/
	UN, World Population Prospects The 2015 Revision 2015	https://esa.un.org/Unpd/wpp/Publications/Files/Key_Findings_WPP_2015.pdf
	Philippine Medical Association.pdf	https://www.philippinemedicalassociation.org/downloads/pma-codes/FINAL-PMA-CODEOFETHICS2008.pdf
	Pharmaceutical Regulation in the Philippines and the Impact of ASEAN Harmonization.pdf	http://www.idcphalal.com/downloadable/PharmaceuticalRegulationinthePhilippinesandtheImpactofASEANHarmonization.pdf
	Hospital Governance Reforms in the Philippines : Four Case Studies	http://www.forum2015.org
PERFORMANCE BUDGETING IN THE PHILIPPINES	http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/j.1754-7121.1963.tb00483.x/abstract	
E.Public hospital governance in th Philippines	http://www.wpro.who.int/asia_pacific_observatory/country_comparative_studies/ccs_public_hospital_6_phl.pdf	

ヒアリング実施機関

分類	属性	実施数
現地	現地政府機関	4
	公的医療機関	2
	民間医療機関	-
	代理店	1
	その他(保険会社)	-
外資	外資医療機器メーカー	-
日系	日系政府機関	3
	日系医療機器メーカー	2
合計		12

※民間医療機関については、本調査以外で提供された資料を活用